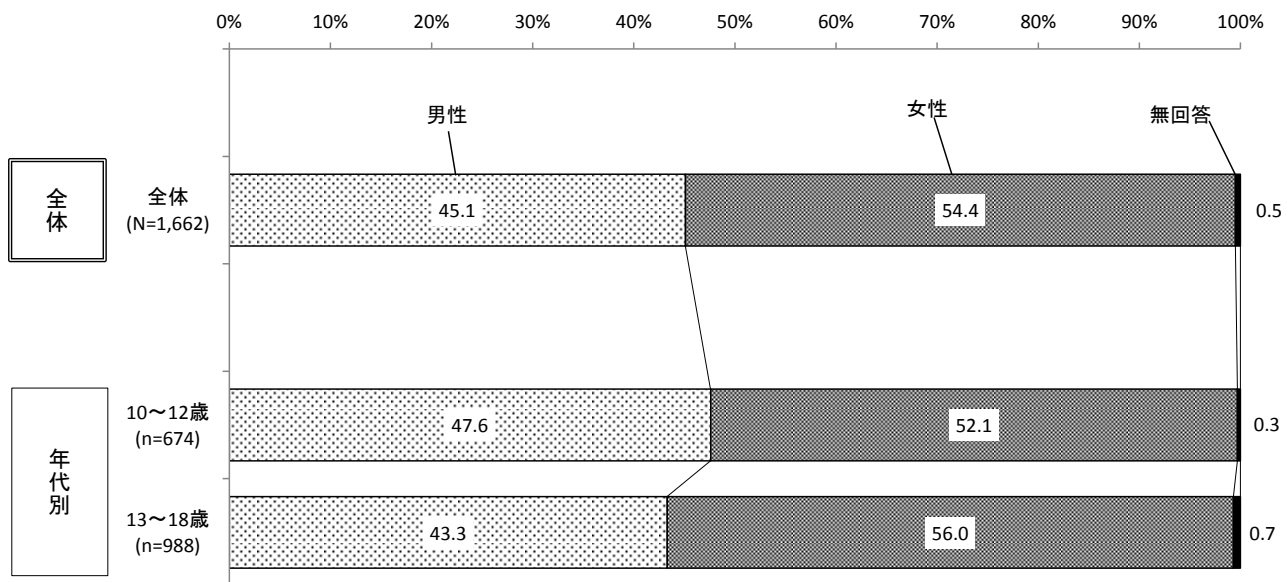


調 査 結 果

【 子 ども 】

<性別>

問1 あなたの性別に○をつけてください。(単一回答)

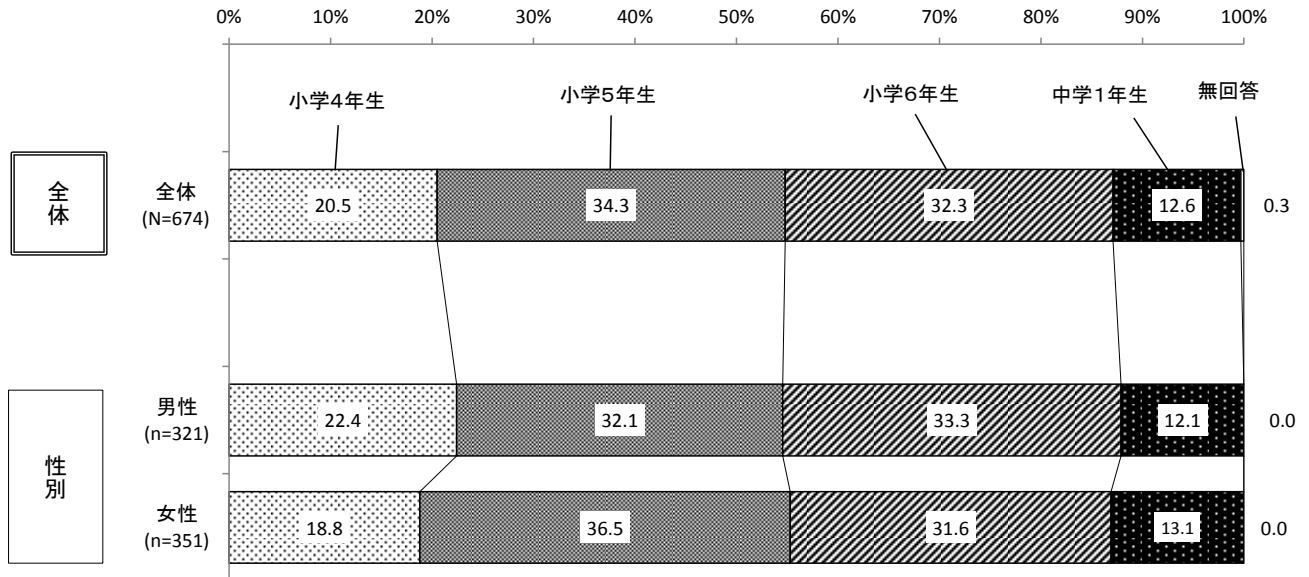


全体では、「男性」が45.1%、「女性」が54.4%となっている。

<学年等>

【10～12歳】

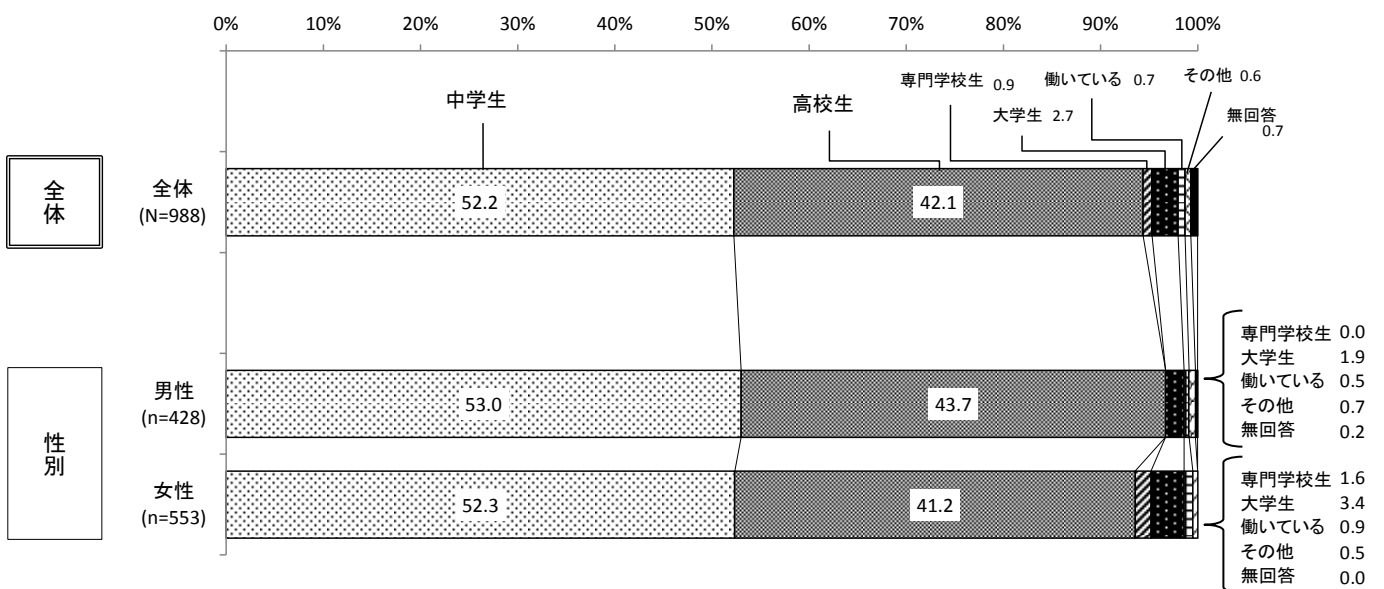
問2 あなたの学年に○をつけてください。(単一回答)



全体では、「小学5年生」(34.3%)が最も多く、次いで「小学6年生」(32.3%)、「小学4年生」(20.5%)、「中学1年生」(12.6%)となっている。

【13～18歳】

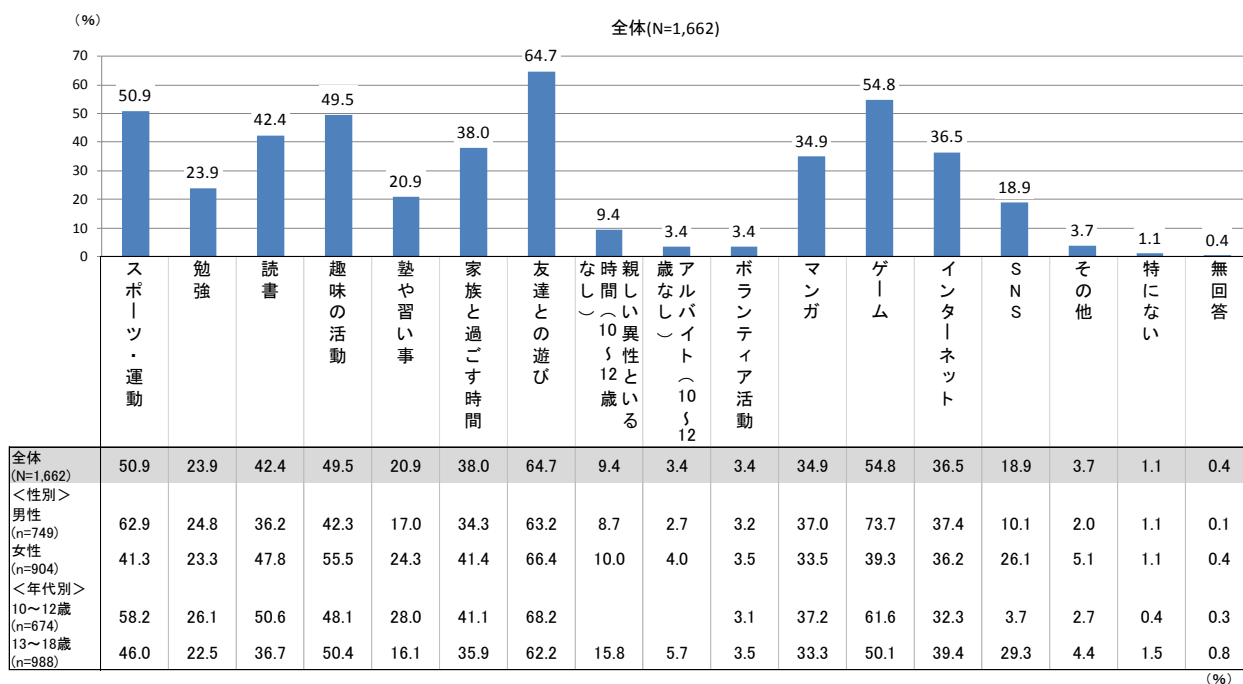
問2 あなたの今の状況に○をつけてください。(単一回答)



全体では、「中学生」(52.2%)が最も多く、次いで「高校生」(42.1%)、「大学生」(2.7%)、「専門学校生」(0.9%)、「働いている」(0.7%)となっている。

<夢中になれること・充実していること>

問3 あなたが、夢中になれること、充実していると感じることは何ですか。あてはまるものにもいくつか○をつけてください。（複数回答）



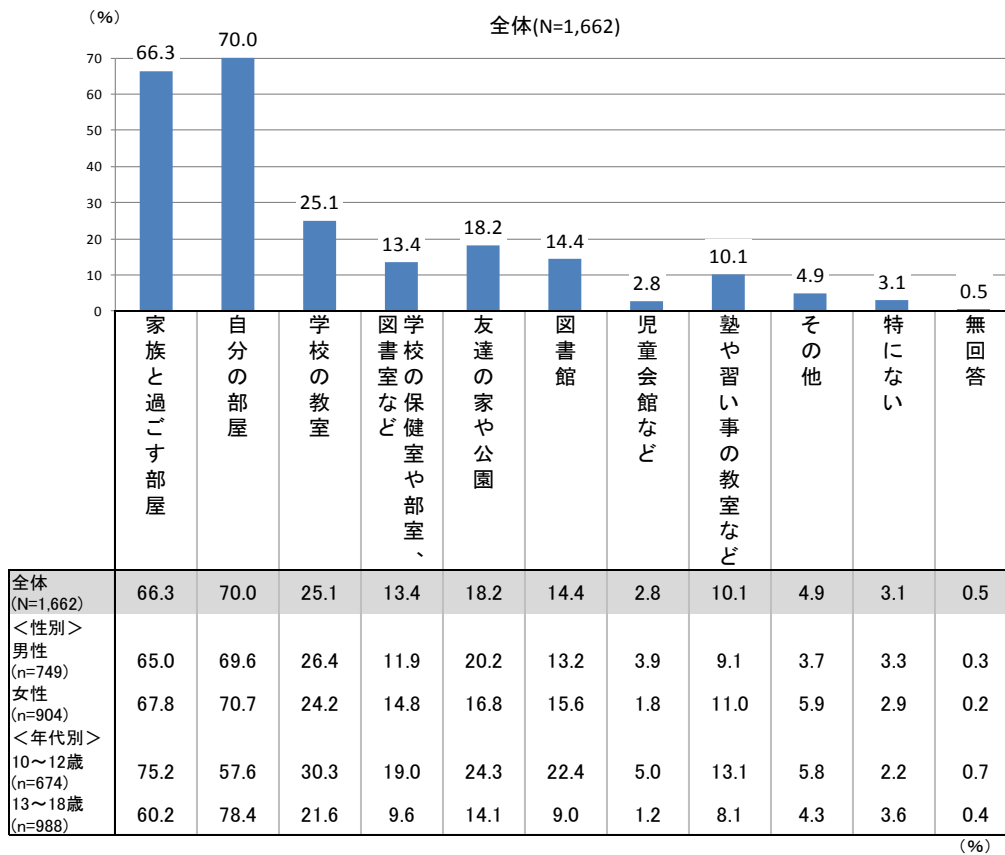
全体では、「友達との遊び」(64.7%)が最も多く、次いで「ゲーム」(54.8%)、「スポーツ・運動」(50.9%)、「趣味の活動」(49.5%)となっている。なお、「特にない」は1.1%となっている。

性別で見ると、男性では「ゲーム」(73.7%)が最も多く、次いで「友達との遊び」(63.2%)、「スポーツ・運動」(62.9%)となっている一方、女性では「友達との遊び」(66.4%)が最も多く、次いで「趣味の活動」(55.5%)、「読書」(47.8%)となっている。

年代別で見ると、10～12歳では「友達との遊び」(68.2%)が最も多く、次いで「ゲーム」(61.6%)、「スポーツ・運動」(58.2%)となっている一方、13～18歳では「友達との遊び」(62.2%)、次いで「趣味の活動」(50.4%)、「ゲーム」(50.1%)となっている。

<安心していられる場所>

問4 あなたがふだんの生活の中で、ホッとでき、安心していられる場所はどこですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(複数回答)



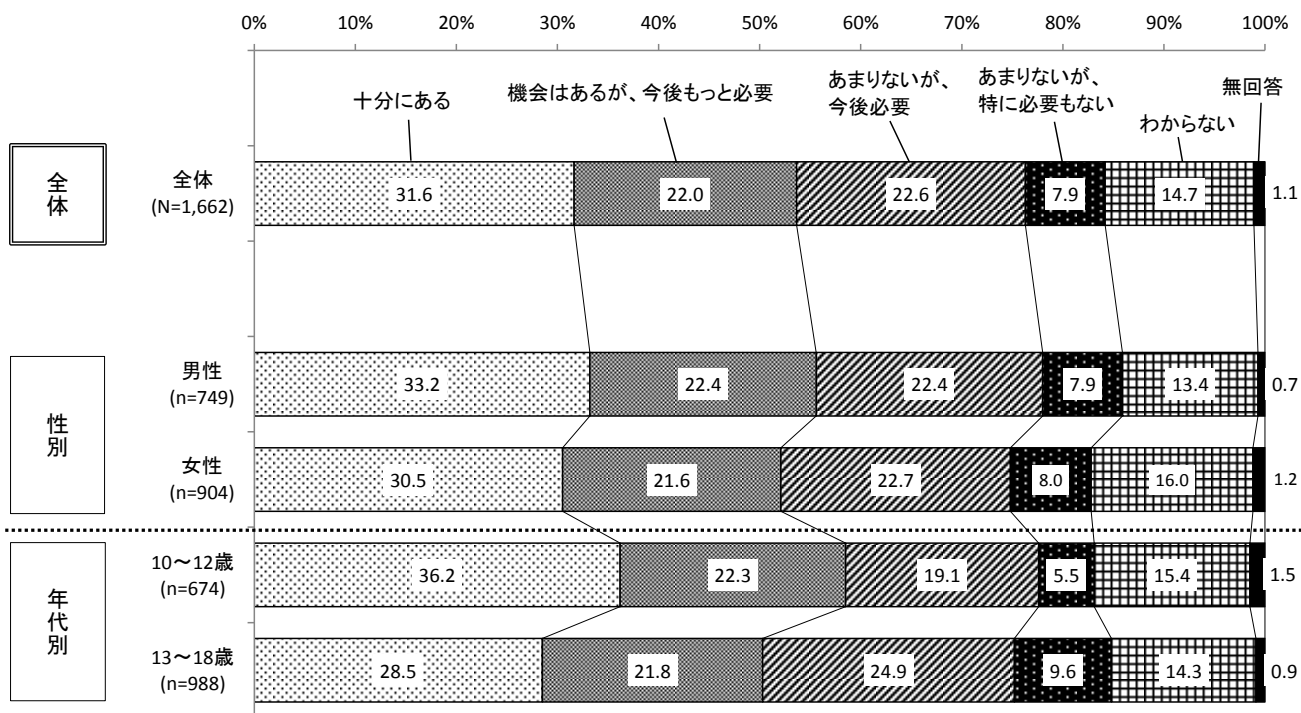
全体では、「自分の部屋」(70.0%)が最も多く、次いで「家族と過ごす部屋」(66.3%)、「学校の教室」(25.1%)、「友達の家や公園」(18.2%)となっている。

年代別で見ると、10~12歳では「家族と過ごす部屋」(75.2%)が最も多く、次いで「自分の部屋」(57.6%)となっている一方、13~18歳では「自分の部屋」(78.4%)が最も多く、次いで「家族と過ごす部屋」(60.2%)となっている。

<子どもが自然・社会・文化体験をする機会> ①

問5 あなたは、今の札幌での暮らしが子どもにとって、以下の自然・社会・文化体験をする機会が十分あると思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

①自然体験



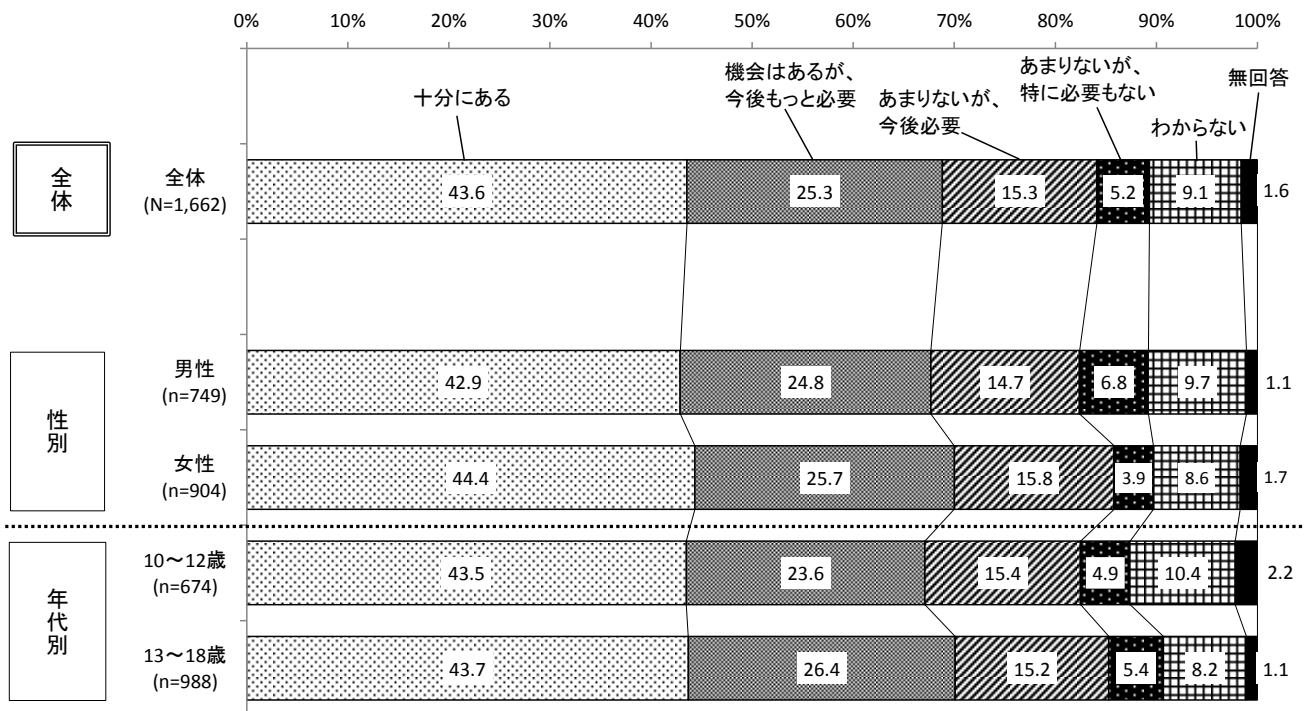
全体では、『ある』（「十分にある」＋「機会はあるが、今後もっと必要」）が 53.6%、「あまりないが、今後必要」が 22.6%となっている。

年代別で見ると、『ある』の割合は10～12歳（58.5%）が13～18歳（50.3%）より高くなっている。

<子どもが自然・社会・文化体験をする機会> ②

問5 あなたは、今の札幌での暮らしが子どもにとって、以下の自然・社会・文化体験をする機会が十分あると思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

②文化・芸術の鑑賞（音楽、美術、映画など）

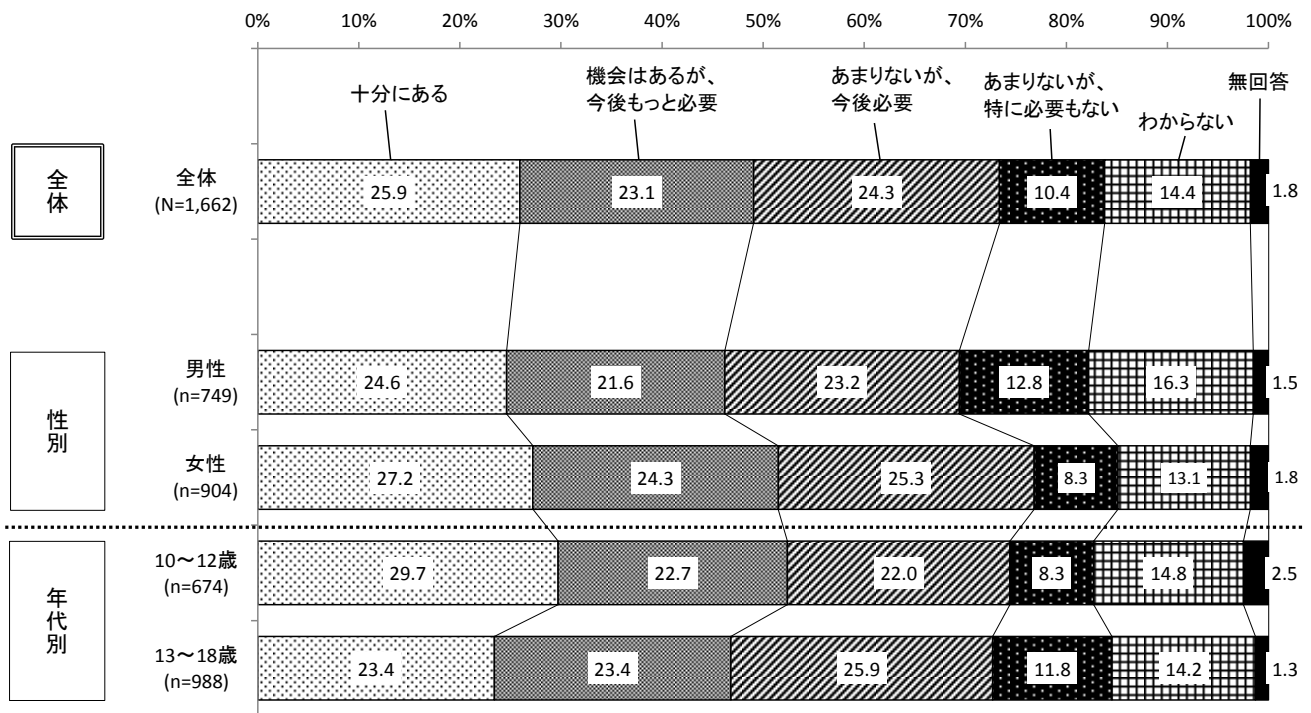


全体では、『ある』（「十分にある」＋「機会はあるが、今後もっと必要」）が 68.9%、「あまりないが、今後必要」が 15.3%となっている。

<子どもが自然・社会・文化体験をする機会> ③

問5 あなたは、今の札幌での暮らしが子どもにとって、以下の自然・社会・文化体験をする機会が十分あると思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

③文化・芸術活動への参加体験（演奏、工芸体験、映像や彫刻作品の制作など）

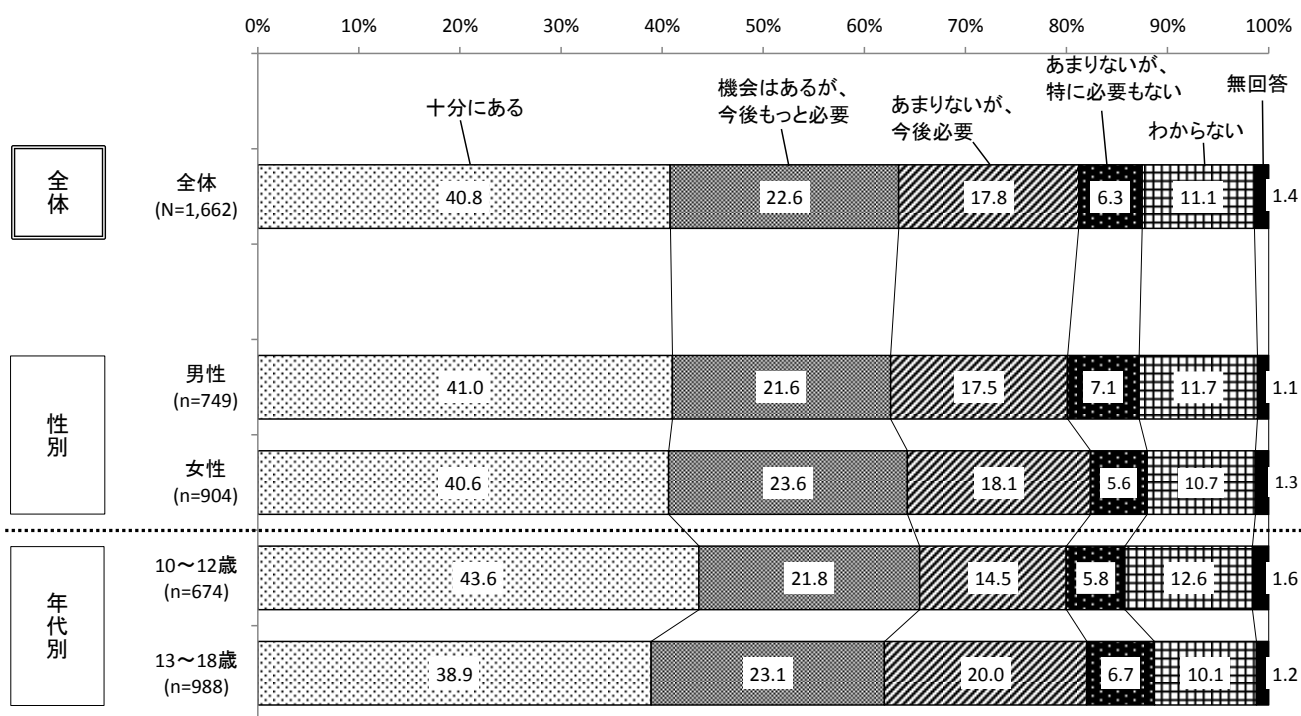


全体では、『ある』（「十分にある」＋「機会はあるが、今後もっと必要」）が 49.0%、「あまりないが、今後必要」が 24.3%となっている。

<子どもが自然・社会・文化体験をする機会> ④

問5 あなたは、今の札幌での暮らしが子どもにとって、以下の自然・社会・文化体験をする機会が十分あると思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

④読書の体験

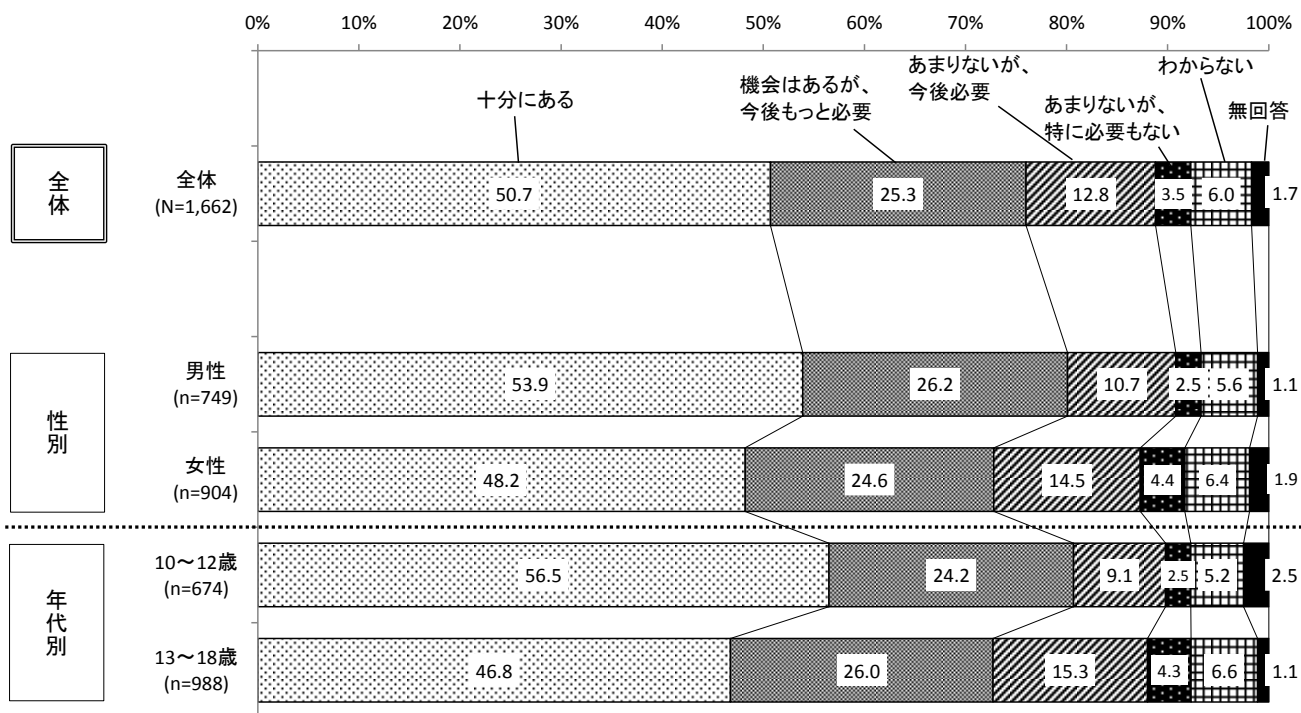


全体では、『ある』（「十分にある」＋「機会はあるが、今後もっと必要」）が 63.4%、「あまりないが、今後必要」が 17.8%となっている。

<子どもが自然・社会・文化体験をする機会> ⑤

問5 あなたは、今の札幌での暮らしが子どもにとって、以下の自然・社会・文化体験をする機会が十分あると思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑤スポーツ・運動



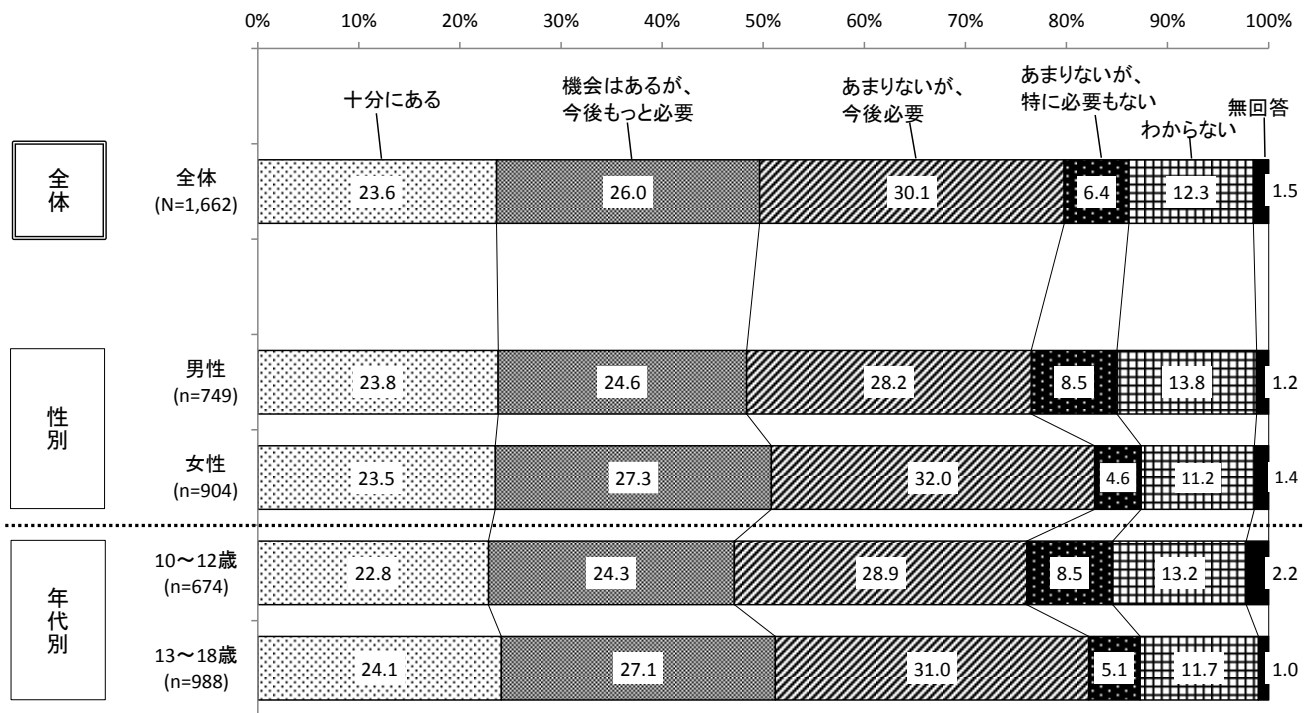
全体では、『ある』（「十分にある」＋「機会はあるが、今後もっと必要」）が 76.0%、「あまりないが、今後必要」が 12.8%となっている。

年代別で見ると、『ある』の割合は 10~12 歳（80.7%）が 13~18 歳（72.8%）より高くなっている。

<子どもが自然・社会・文化体験をする機会> ⑥

問5 あなたは、今の札幌での暮らしが子どもにとって、以下の自然・社会・文化体験をする機会が十分あると思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑥ボランティア活動への参加（募金やゴミ拾いなど）

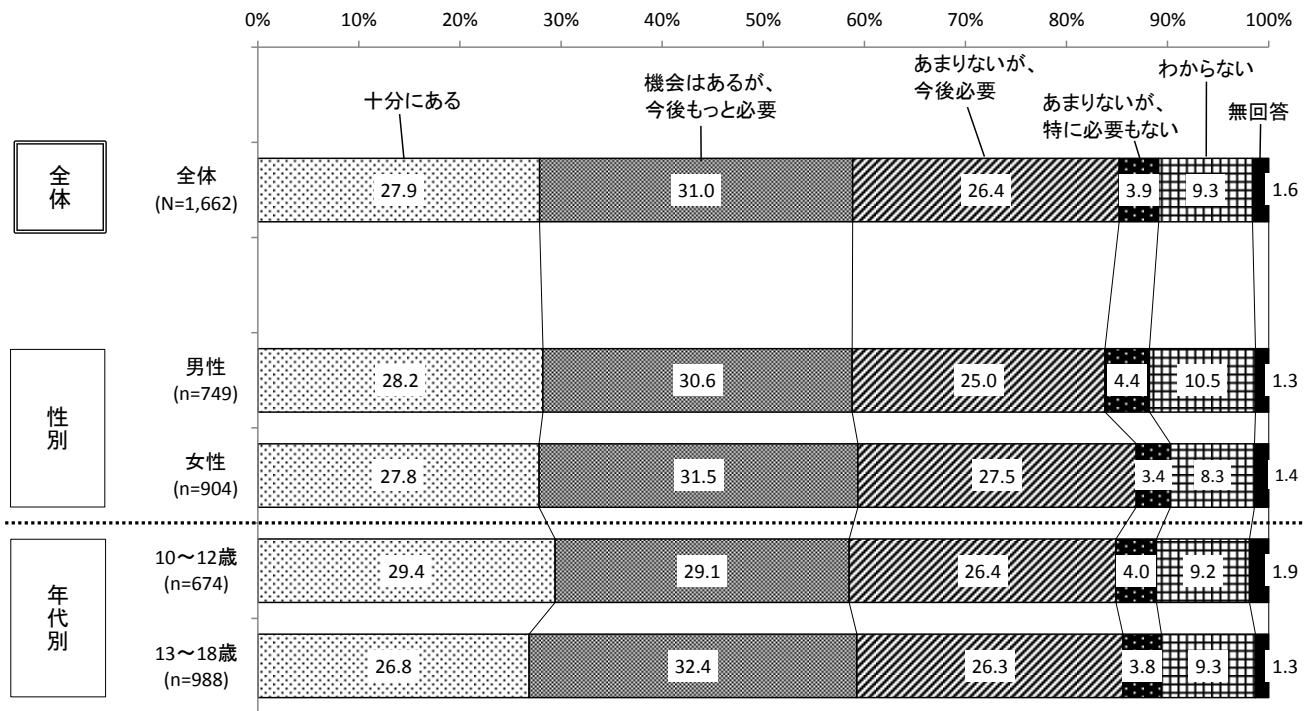


全体では、『ある』（「十分にある」＋「機会はあるが、今後もっと必要」）が 49.6%、「あまりないが、今後必要」が 30.1%となっている。

<子どもが自然・社会・文化体験をする機会> ⑦

問5 あなたは、今の札幌での暮らしが子どもにとって、以下の自然・社会・文化体験をする機会が十分あると思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑦色々な職業や社会のしくみを学ぶ体験

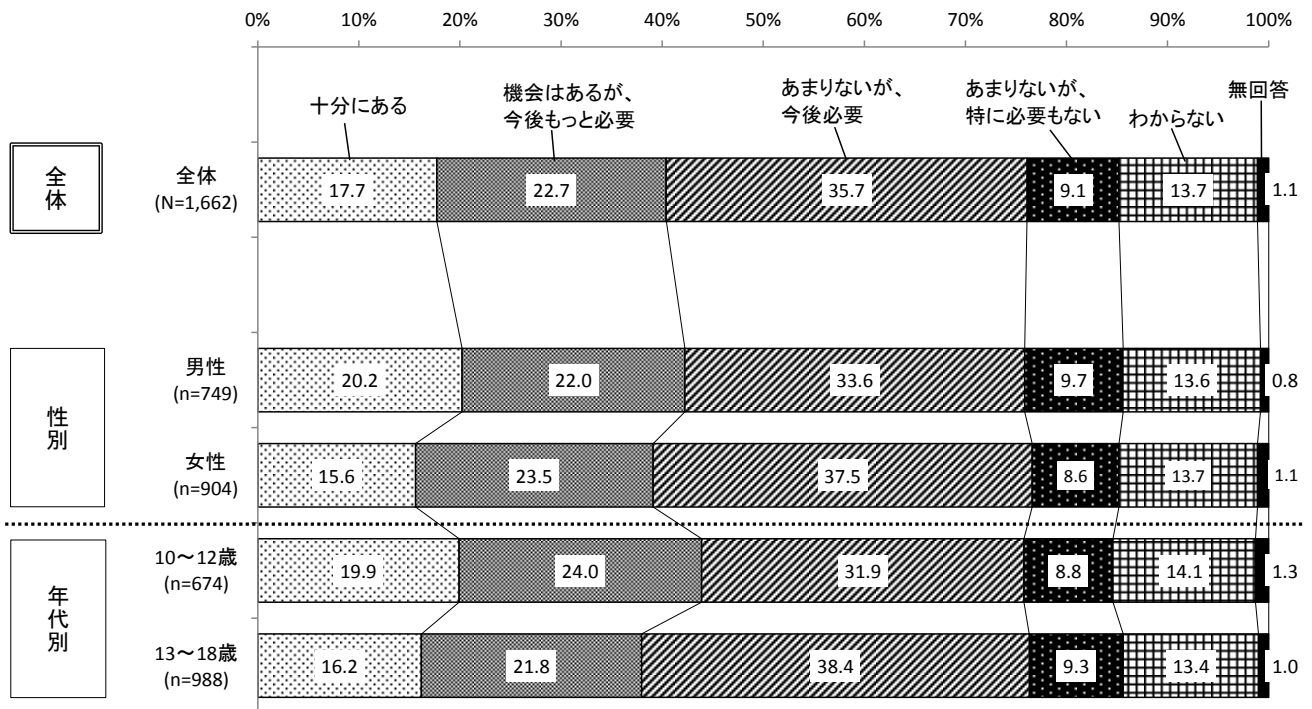


全体では、『ある』（「十分にある」＋「機会はあるが、今後もっと必要」）が58.9%、「あまりないが、今後必要」が26.4%となっている。

<子どもが自然・社会・文化体験をする機会> ⑧

問5 あなたは、今の札幌での暮らしが子どもにとって、以下の自然・社会・文化体験をする機会が十分あると思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑧高齢の方など大人との交流（多世代交流）

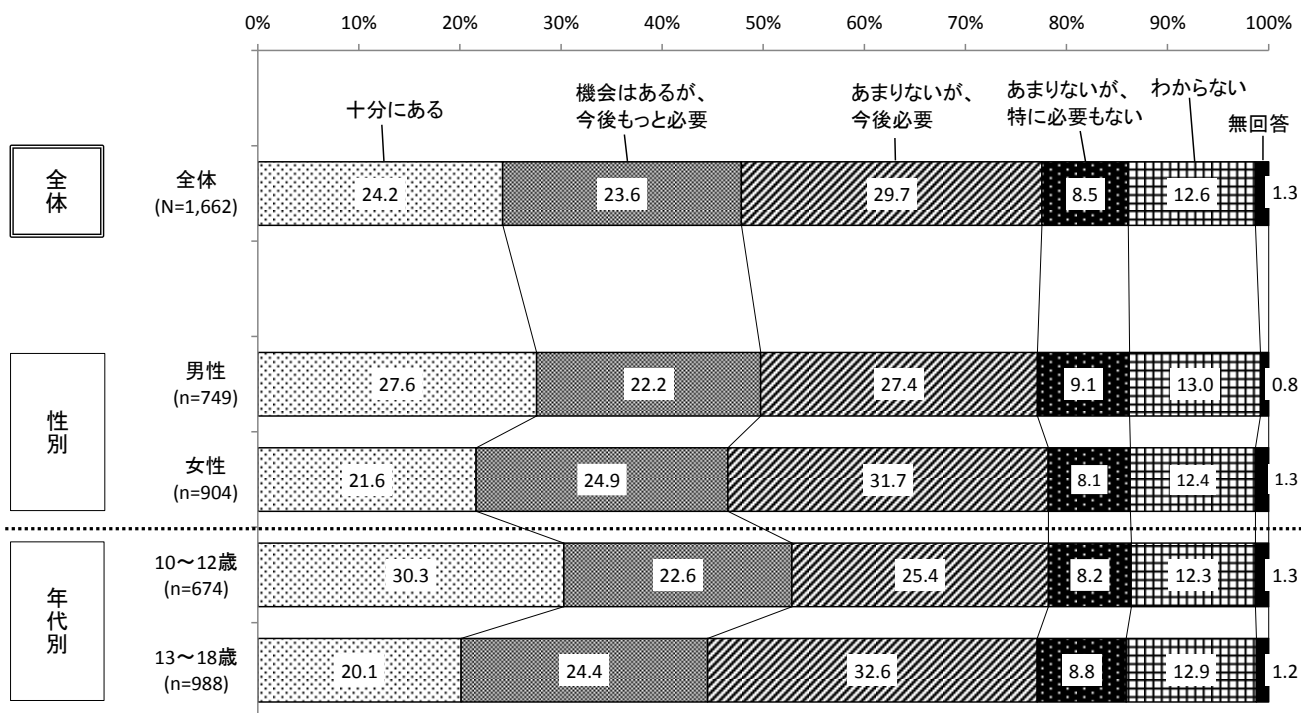


全体では、『ある』（「十分にある」＋「機会はあるが、今後もっと必要」）が 40.4%、「あまりないが、今後必要」が 35.7%となっている。

<子どもが自然・社会・文化体験をする機会> ⑨

問5 あなたは、今の札幌での暮らしが子どもにとって、以下の自然・社会・文化体験をする機会が十分あると思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑨近所や地域とのつながり

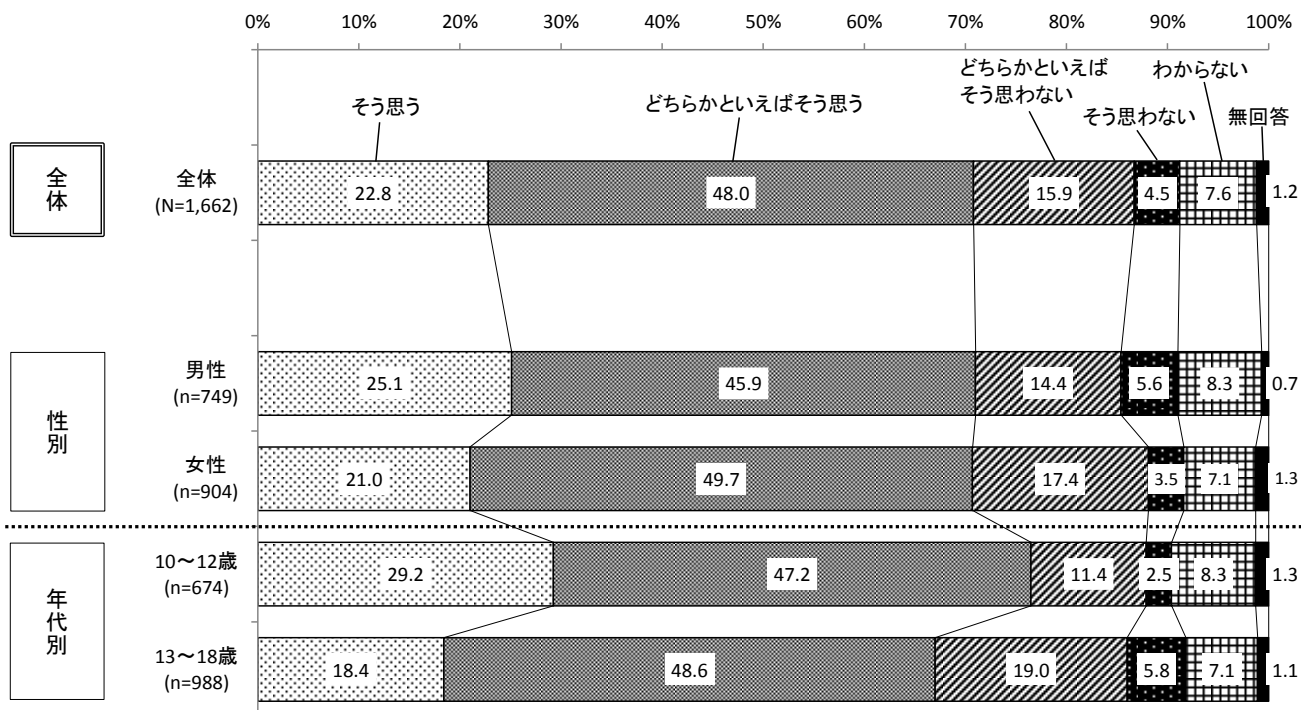


全体では、『ある』（「十分にある」＋「機会はあるが、今後もっと必要」）が 47.9%、「あまりないが、今後必要」が 29.7%となっている。

年代別で見ると、『ある』の割合は10～12歳（52.8%）が13～18歳（44.5%）より高くなっている。

<子どもが自然・社会・文化体験しやすい環境か>

問6 あなたは、今の札幌での暮らしが全体的に、子どもが自然や文化、芸術などに触れ親しんだり、社会のしくみなどを学んだり、体験したりしやすい環境だと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。（単一回答）

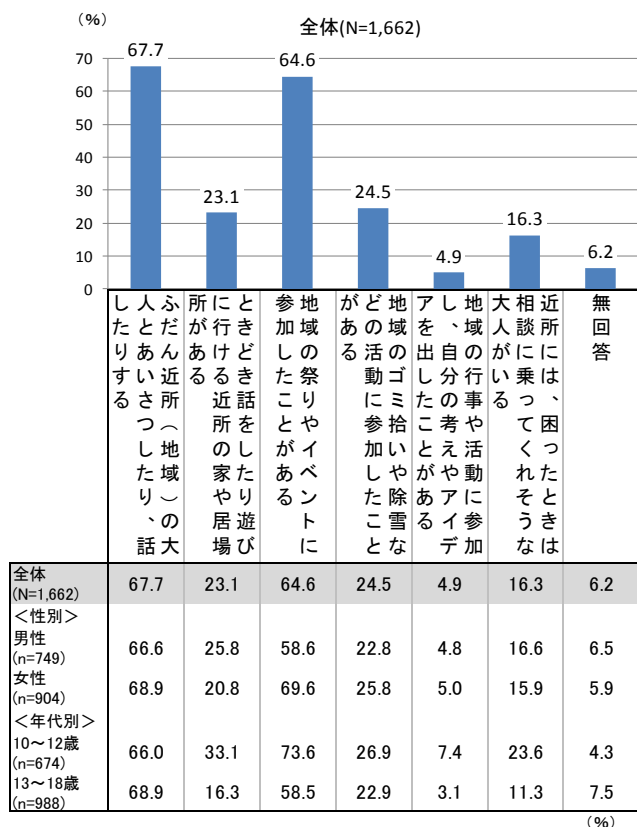


全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が70.8%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が20.4%となっている。

年代別で見ると、『思う』の割合は10～12歳（76.4%）が13～18歳（67.0%）より高くなっている。

<近所（地域）の人たちとの関わり>

問7 あなたには、近所（地域）の人たちとどのような関わりがありますか。あてはまるものにもいくつか○をつけてください。（複数回答）

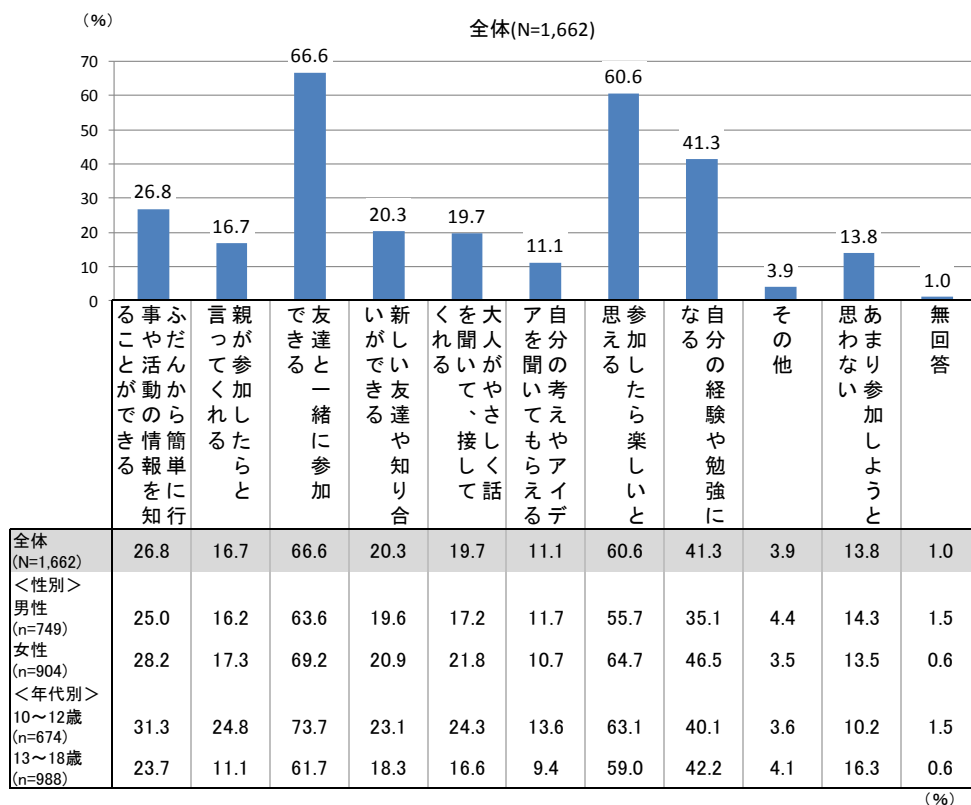


全体では、「ふだん近所（地域）の大人とあいさつしたり、話したりする」（67.7%）が最も多く、次いで「地域の祭りやイベントに参加したことがある」（64.6%）、「地域のゴミ拾いや除雪などの活動に参加したことがある」（24.5%）となっている。

年代別で見ると、10～12歳では「地域の祭りやイベントに参加したことがある」（73.6%）が最も多く、次いで「ふだん近所（地域）の大人とあいさつしたり、話したりする」（66.0%）となっている一方、13～18歳では「ふだん近所（地域）の大人とあいさつしたり、話したりする」（68.9%）、「地域の祭りやイベントに参加したことがある」（58.5%）の順になっている。なお、「ときどき話をしたり遊びに行ける近所の家や居場所がある」の割合は10～12歳（33.1%）が13～18歳（16.3%）より高く、「近所には、困ったときは相談に乗ってくれそうな大人がいる」の割合も10～12歳（23.6%）が13～18歳（11.3%）より高くなっている。

<地域の行事や活動に参加しようと思う理由>

問8 あなたは、どんなことがあれば地域の行事や活動に参加しようと思いますか。あてはまるものはいくつでも○をつけてください。(複数回答)



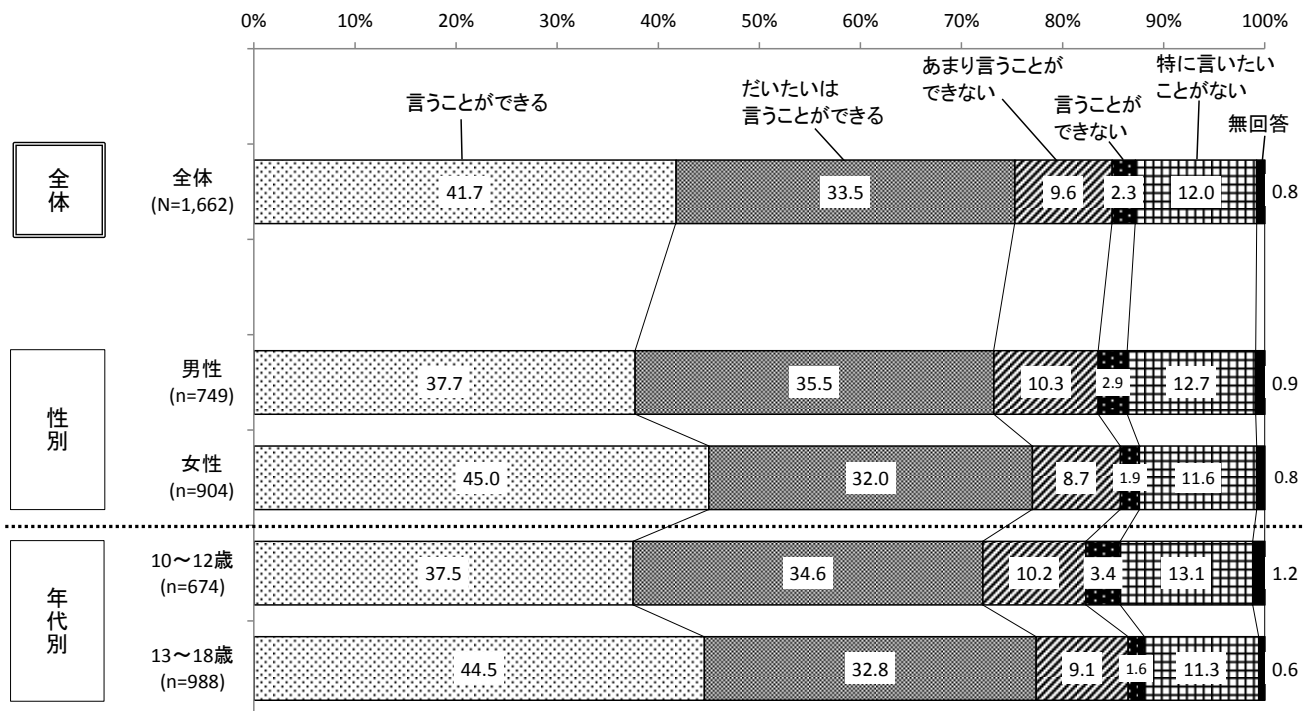
全体では、「友達と一緒に参加できる」(66.6%)が最も多く、次いで「参加したら楽しいと思える」(60.6%)、「自分の経験や勉強になる」(41.3%)、「ふだんから簡単に行事や活動の情報を知ることができる」(26.8%)となっている。なお、「あまり参加しようと思わない」は13.8%となっている。

年代別で見ると、「友達と一緒に参加できる」の割合は10～12歳(73.7%)が13～18歳(61.7%)より高くなっている。

<意見表明や参加の機会> ①

問9 あなたは、次のことについて自分の考えや思いがあるときに、それを言える機会がありますか。
それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

①家庭における大事な物事やルールについて

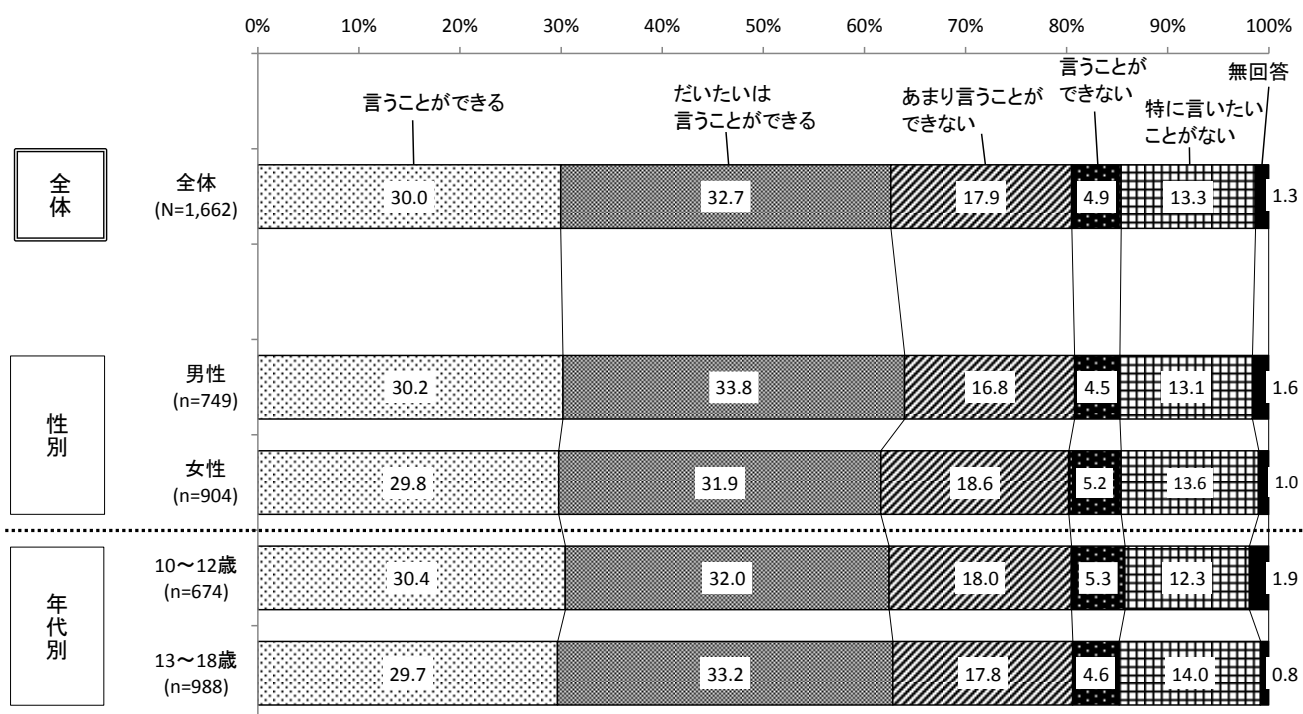


全体では、『できる』（「言うことができる」＋「だいたいと言うことができる」）が 75.2%、『できない』（「あまり言うことができない」＋「言うことができない」）が 11.9%となっている。

<意見表明や参加の機会> ②

問9 あなたは、次のことについて自分の考えや思いがあるときに、それを言える機会がありますか。
それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

②学校行事・イベントの企画や運営について

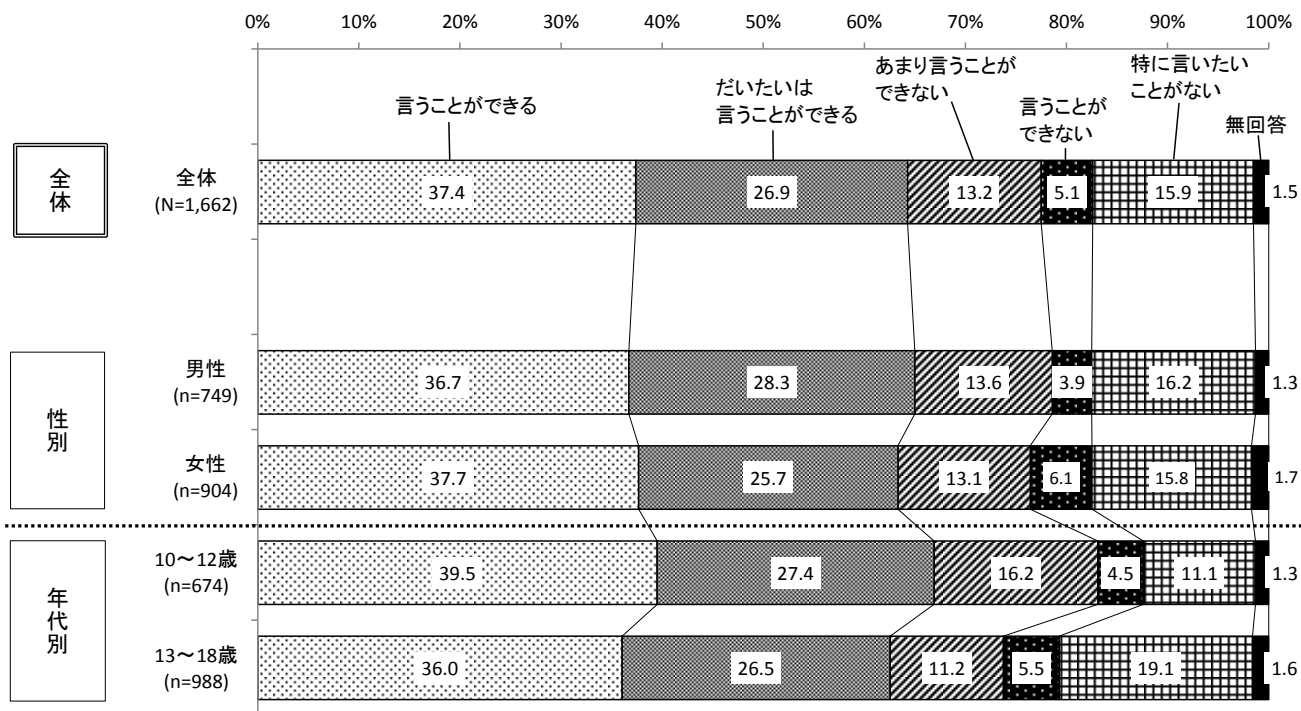


全体では、『できる』（「言うことができる」＋「だいたいと言うことができる」）が 62.7%、『できない』（「あまり言うことができない」＋「言うことができない」）が 22.7%となっている。

<意見表明や参加の機会> ③

問9 あなたは、次のことについて自分の考えや思いがあるときに、それを言える機会がありますか。
それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

③学校の部活動やクラブの活動内容について

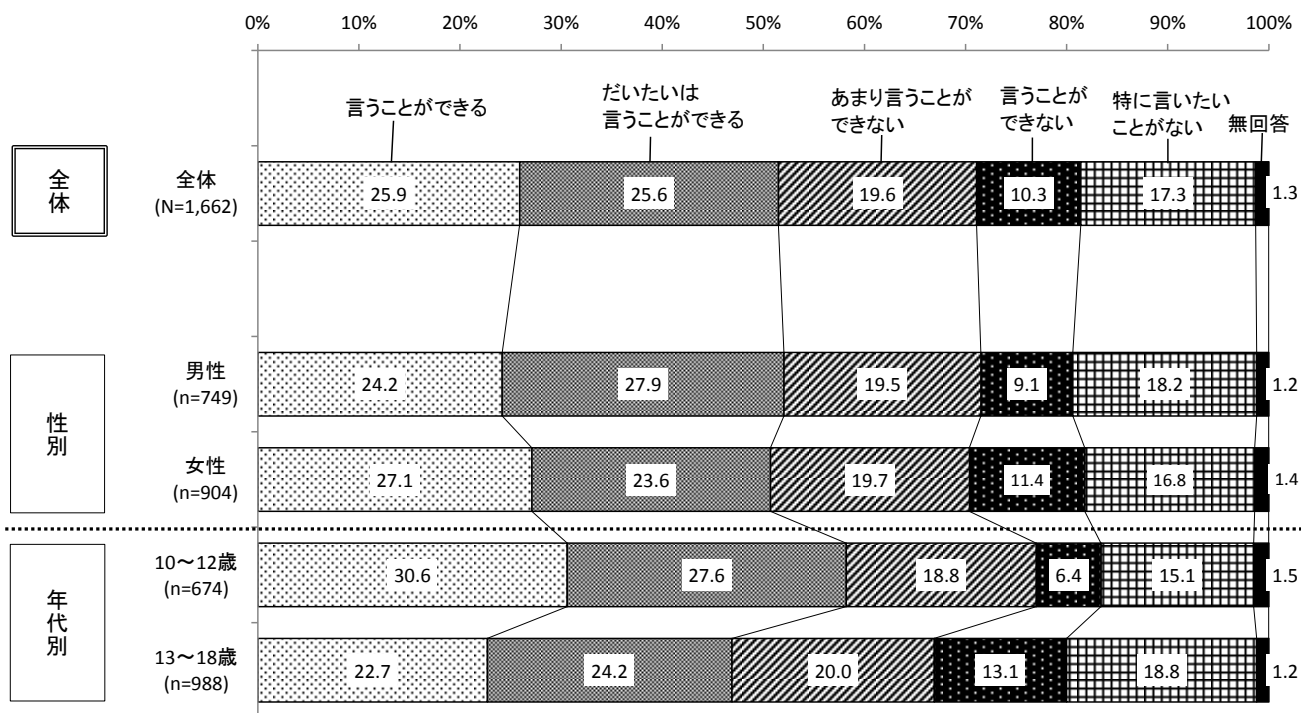


全体では、『できる』（「言うことができます」＋「だいたいはいうことができます」）が 64.3%、『できない』（「あまり言うことができない」＋「言うことができない」）が 18.3%となっている。

<意見表明や参加の機会> ④

問9 あなたは、次のことについて自分の考えや思いがあるときに、それを言える機会がありますか。
それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

④学校の決まりごとについて



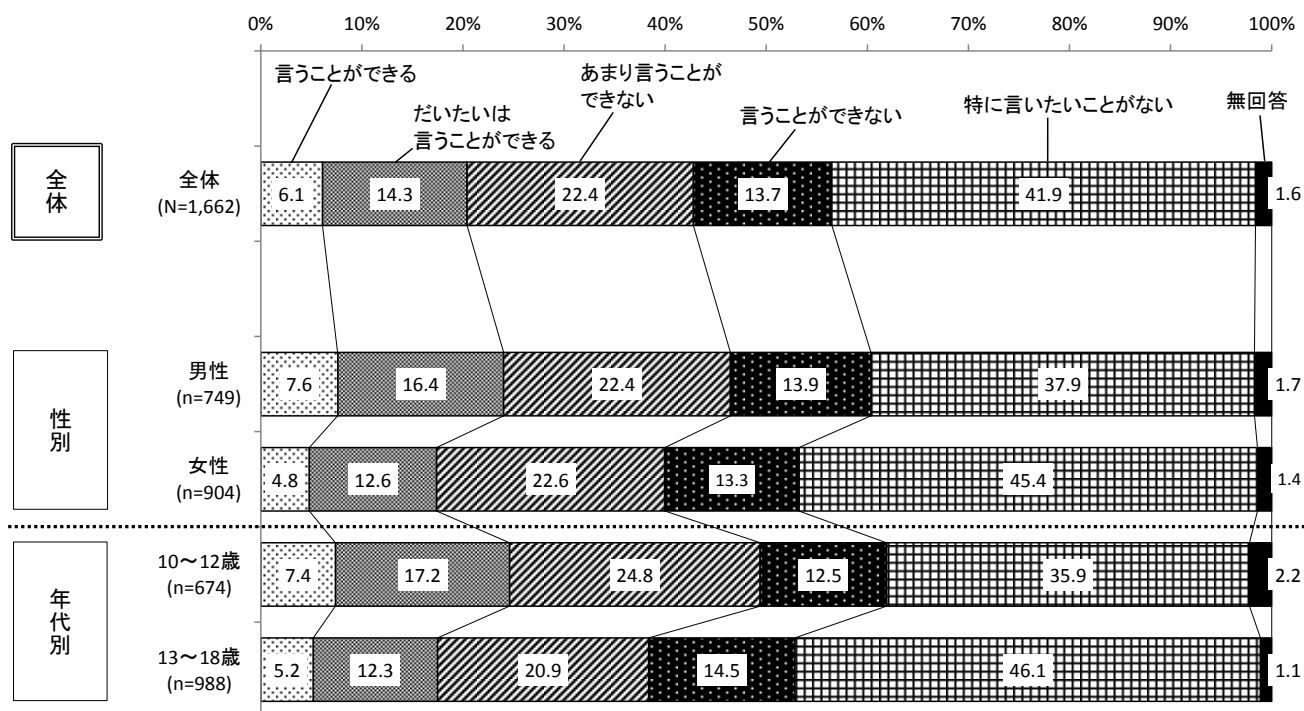
全体では、『できる』（「言うことができる」＋「だいたいと言うことができる」）が 51.4%、『できない』（「あまり言うことができない」＋「言うことができない」）が 29.9%となっている。

年代別で見ると、『できる』の割合は 10~12 歳 (58.2%) が 13~18 歳 (46.9%) より高くなっている。

<意見表明や参加の機会> ⑤

問9 あなたは、次のことについて自分の考えや思いがあるときに、それを言える機会がありますか。
それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

⑤地域で行われている行事などの取組について



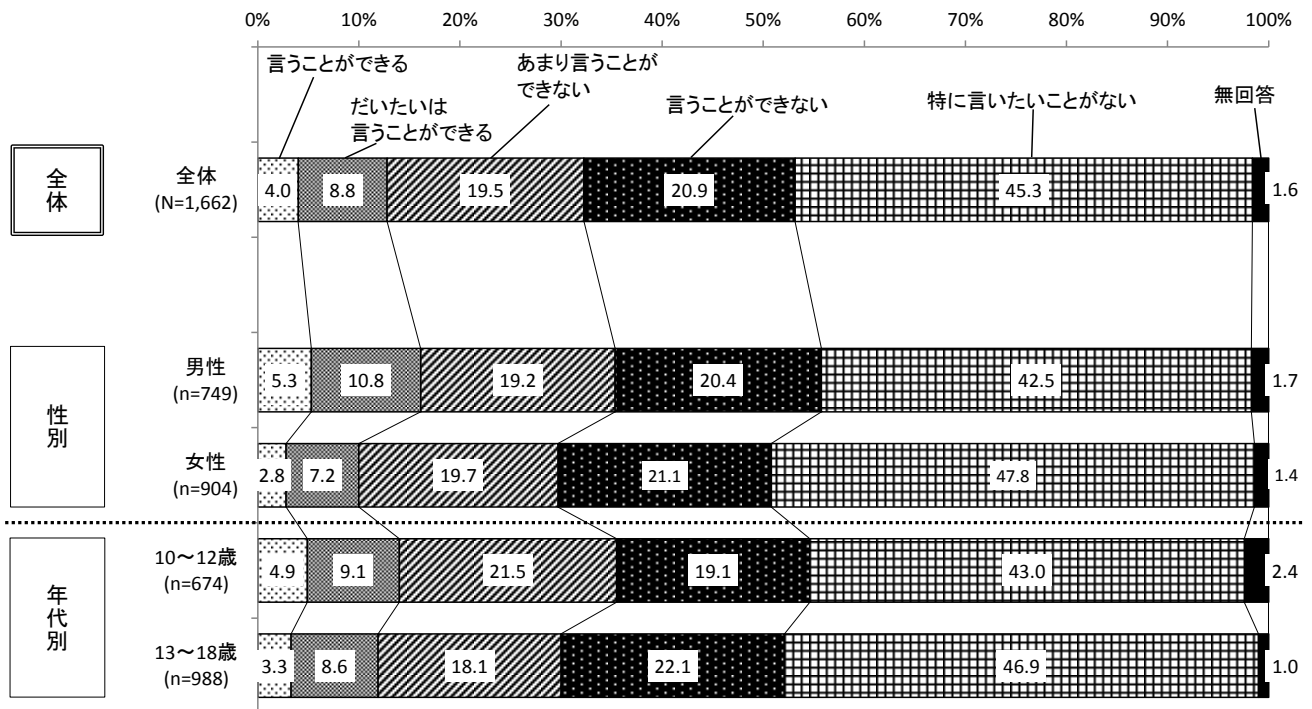
全体では、『できる』（「言える」＋「言える(希望)」）が 20.4%、『できない』（「言えない(希望)」＋「言えない」）が 36.1%、「特に言いたいことはない」が 41.9%となっている。

年代別で見ると、『できる』の割合は 10~12 歳 (24.6%) が 13~18 歳 (17.5%) より高く、「特に言いたいことはない」の割合は 13~18 歳 (46.1%) が 10~12 歳 (35.9%) より高くなっている。

<意見表明や参加の機会> ⑥

問9 あなたは、次のことについて自分の考えや思いがあるときに、それを言える機会がありますか。
 それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

⑥札幌市政（札幌市のまちづくりや市役所の仕事）について

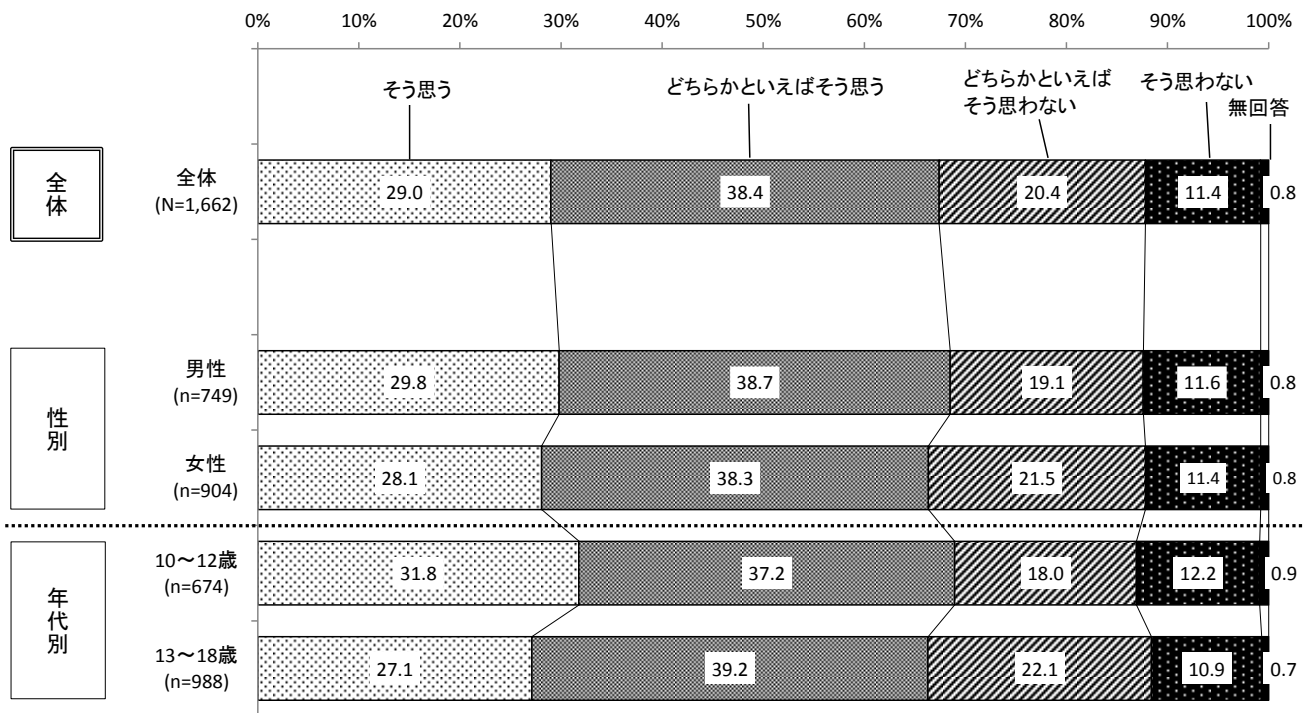


全体では、『できる』（「言うことができる」＋「だいたいと言うことができる」）が 12.8%、『できない』（「あまり言うことができない」＋「言うことができない」）が 40.4%、「特に言いたいことがない」が 45.3%となっている。

<自分自身についてどう思うか> ①

問10 あなたは、自分自身のことについて、どのように思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

①良いところばかりではないが、自分のことが好きだ

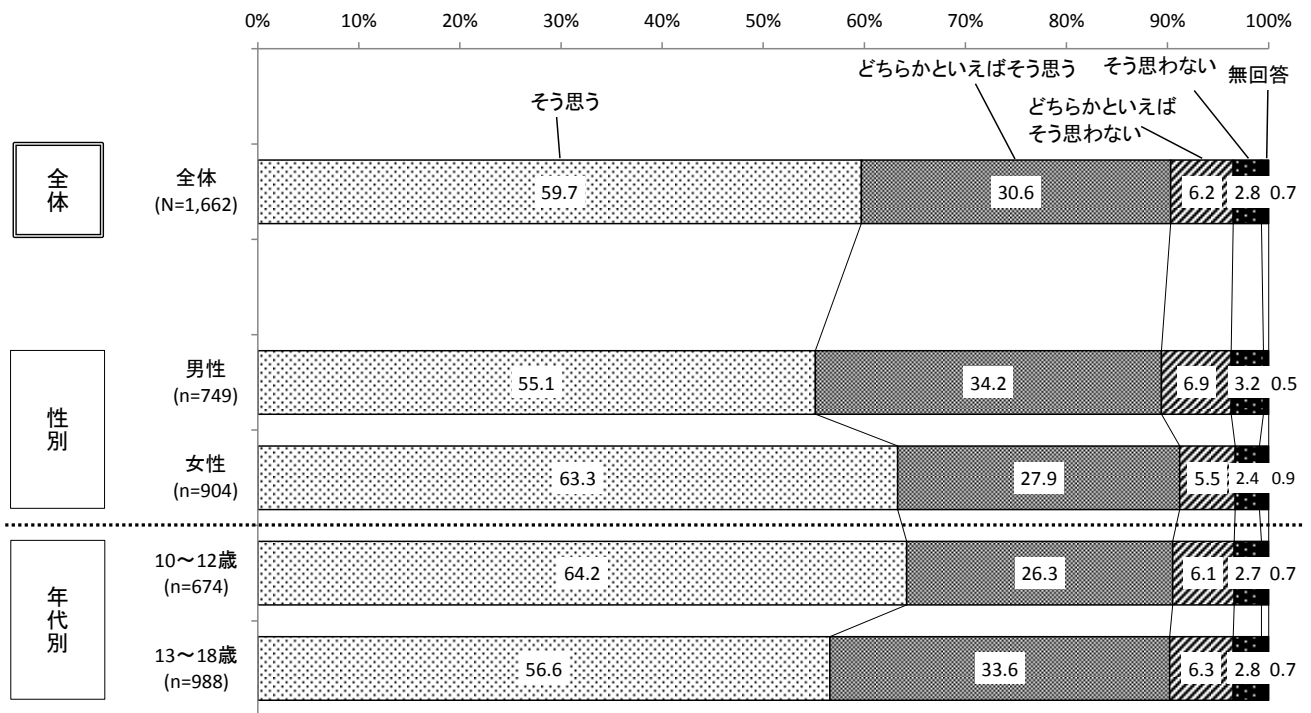


全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が67.4%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が31.8%となっている。

<自分自身についてどう思うか> ②

問10 あなたは、自分自身のことについて、どのように思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

②自分を大切に思ってくれる人がいる

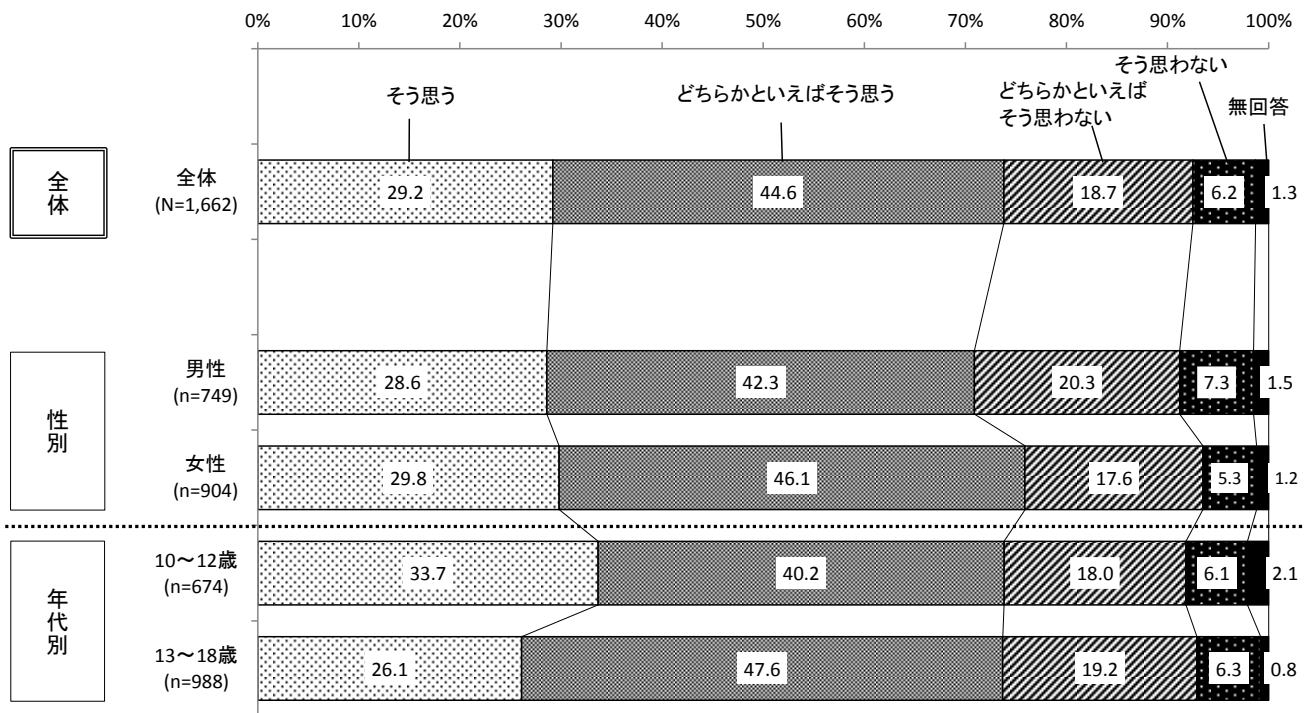


全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が90.3%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が9.0%となっている。

＜自分自身についてどう思うか＞ ③

問10 あなたは、自分自身のことについて、どのように思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

③自分は人から必要とされている

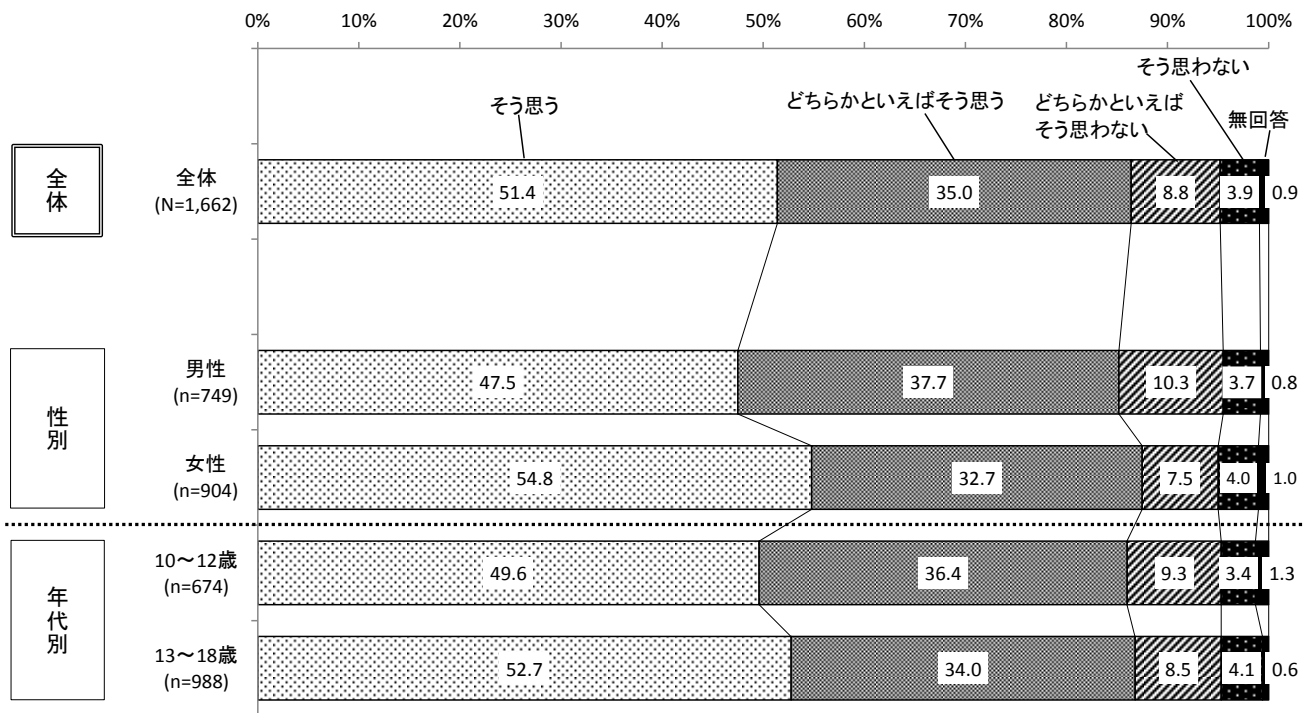


全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が73.8%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が24.9%となっている。

<自分自身についてどう思うか> ④

問10 あなたは、自分自身のことについて、どのように思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

④ほかのだれかや社会のために何かをしてあげたい

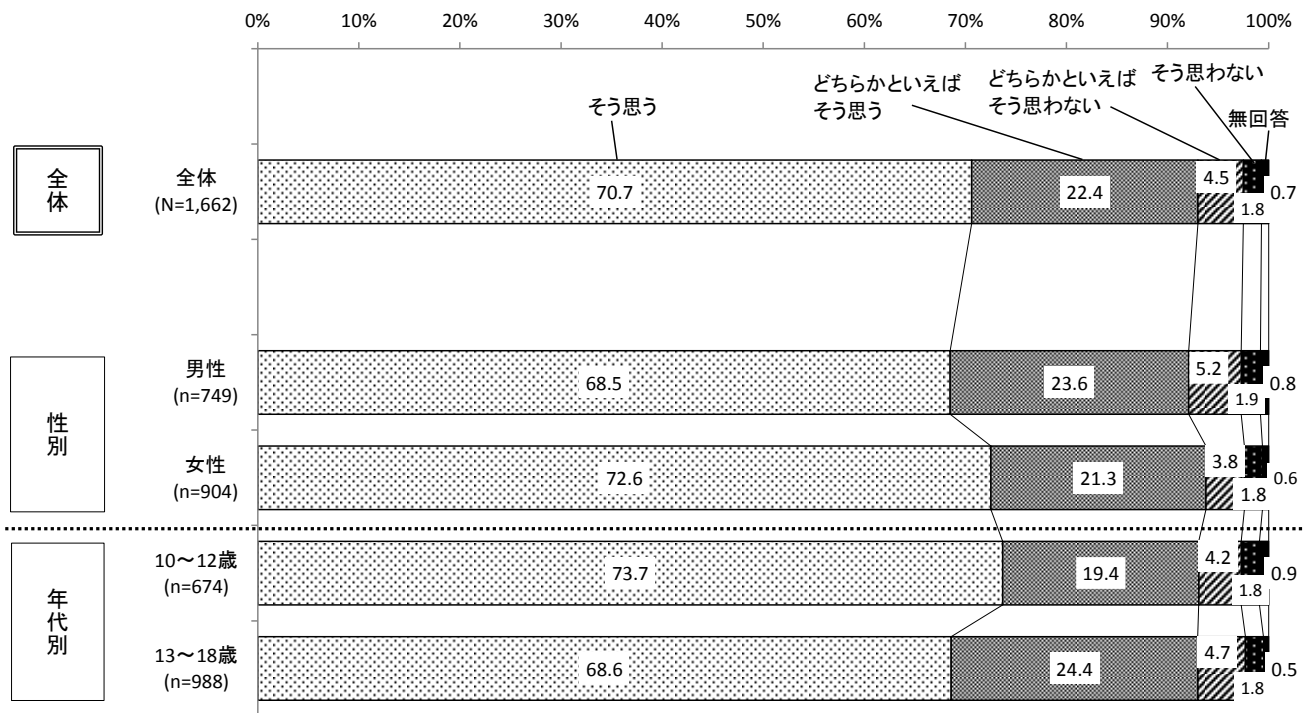


全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が86.4%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が12.7%となっている。

<自分自身についてどう思うか> ⑤

問10 あなたは、自分自身のことについて、どのように思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑤これからもうれしいことやいいことはあると思う

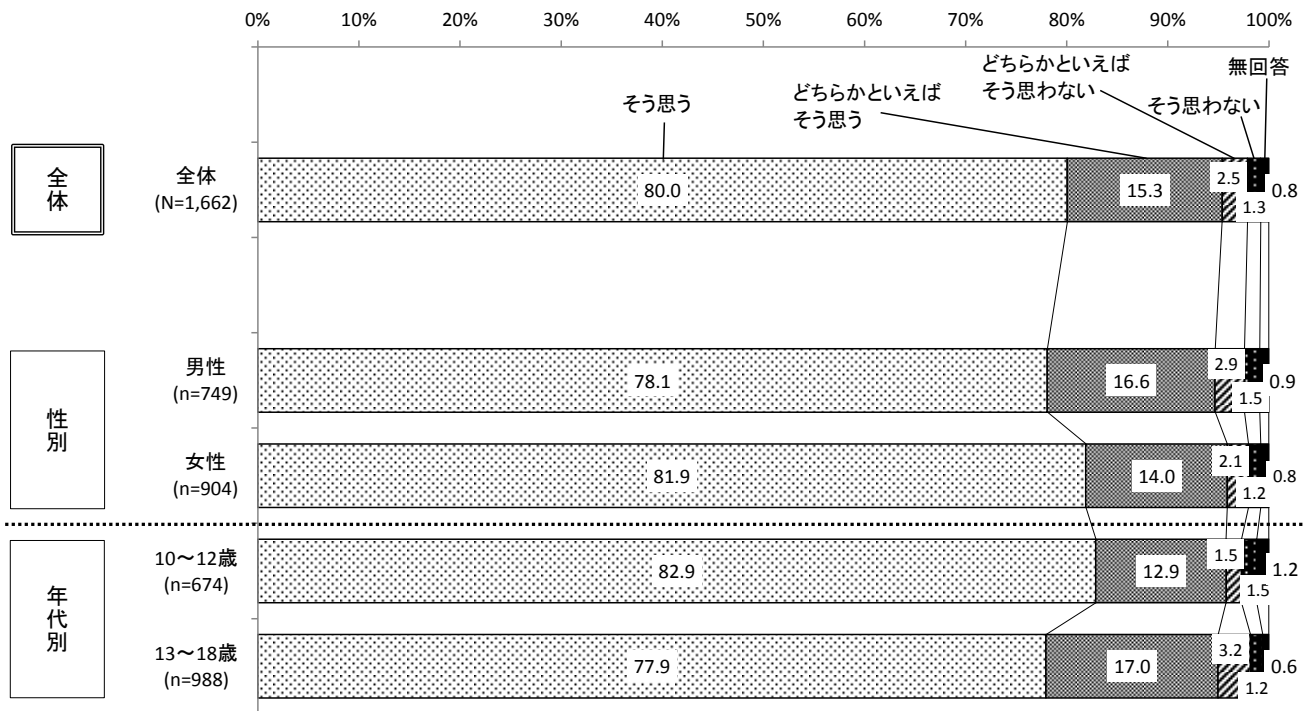


全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が93.1%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が6.3%となっている。

<自分自身についてどう思うか> ⑥

問10 あなたは、自分自身のことについて、どのように思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑥何かをやり遂げてうれしかったことがある

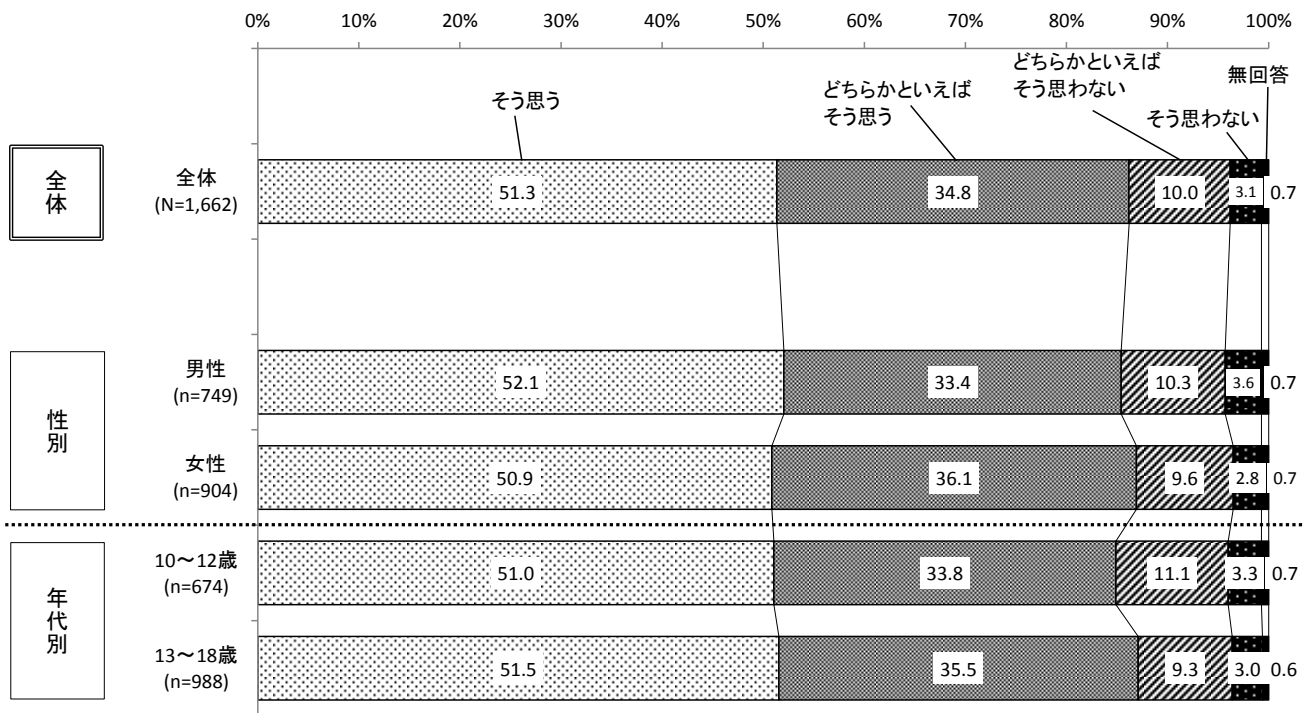


全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が95.3%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が3.9%となっている。

<自分自身についてどう思うか> ⑦

問10 あなたは、自分自身のことについて、どのように思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑦ものごとを調べたり考えたりすることは楽しいと思う

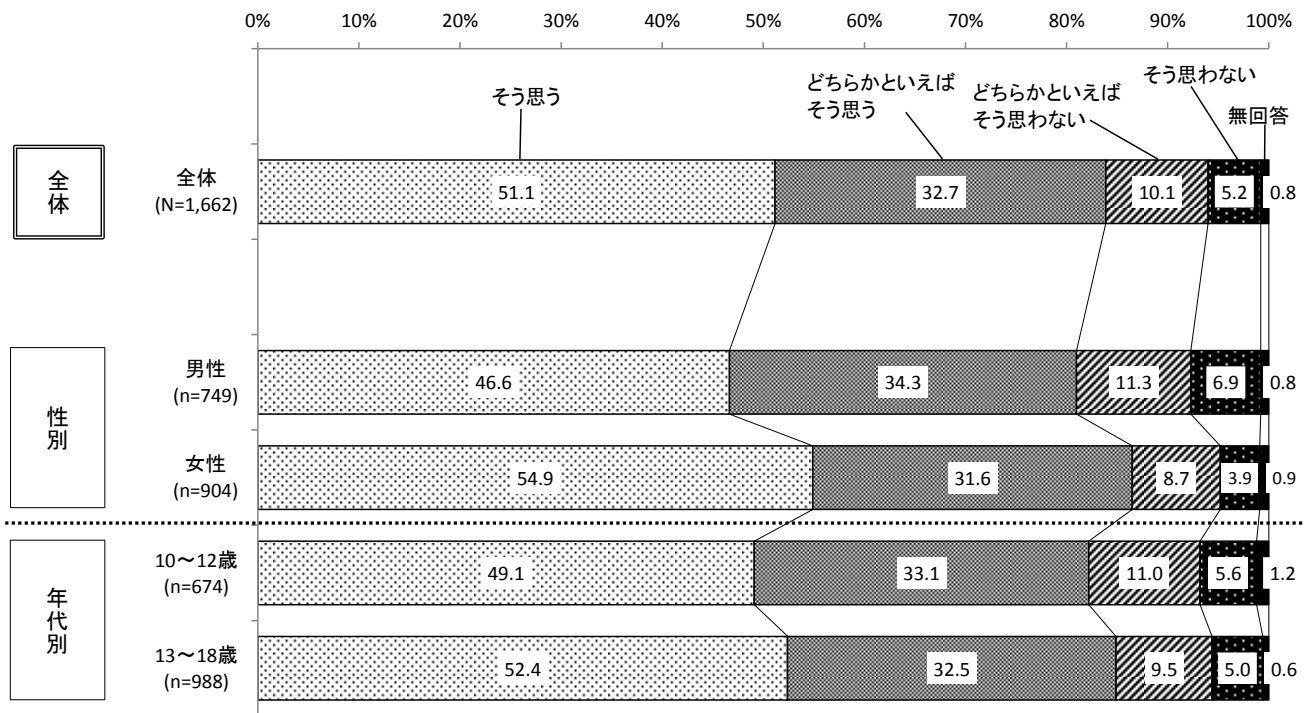


全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が86.2%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が13.2%となっている。

<自分自身についてどう思うか> ⑧

問10 あなたは、自分自身のことについて、どのように思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑧自分の考えや意見を聞いてもらってうれしかったことがある

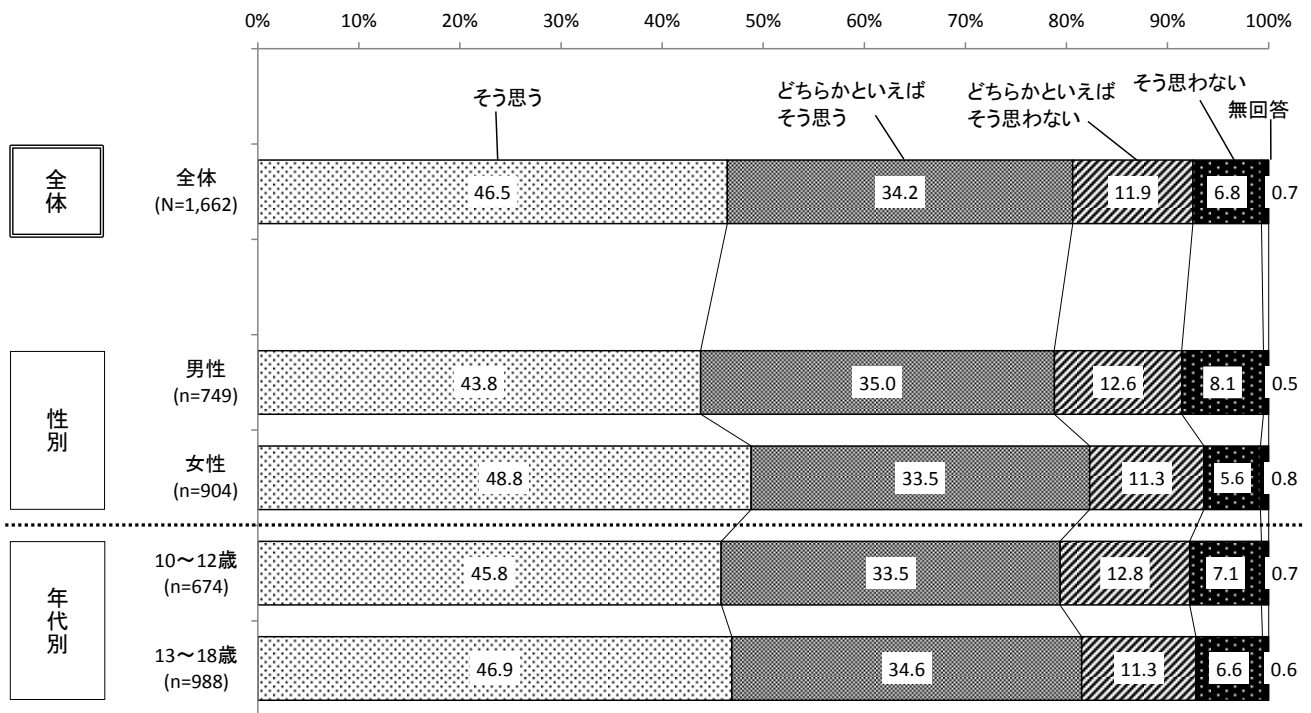


全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が83.8%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が15.3%となっている。

<自分自身についてどう思うか> ⑨

問10 あなたは、自分自身のことについて、どのように思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑨ 困ったことがあってもいずれ何とかかなると思う

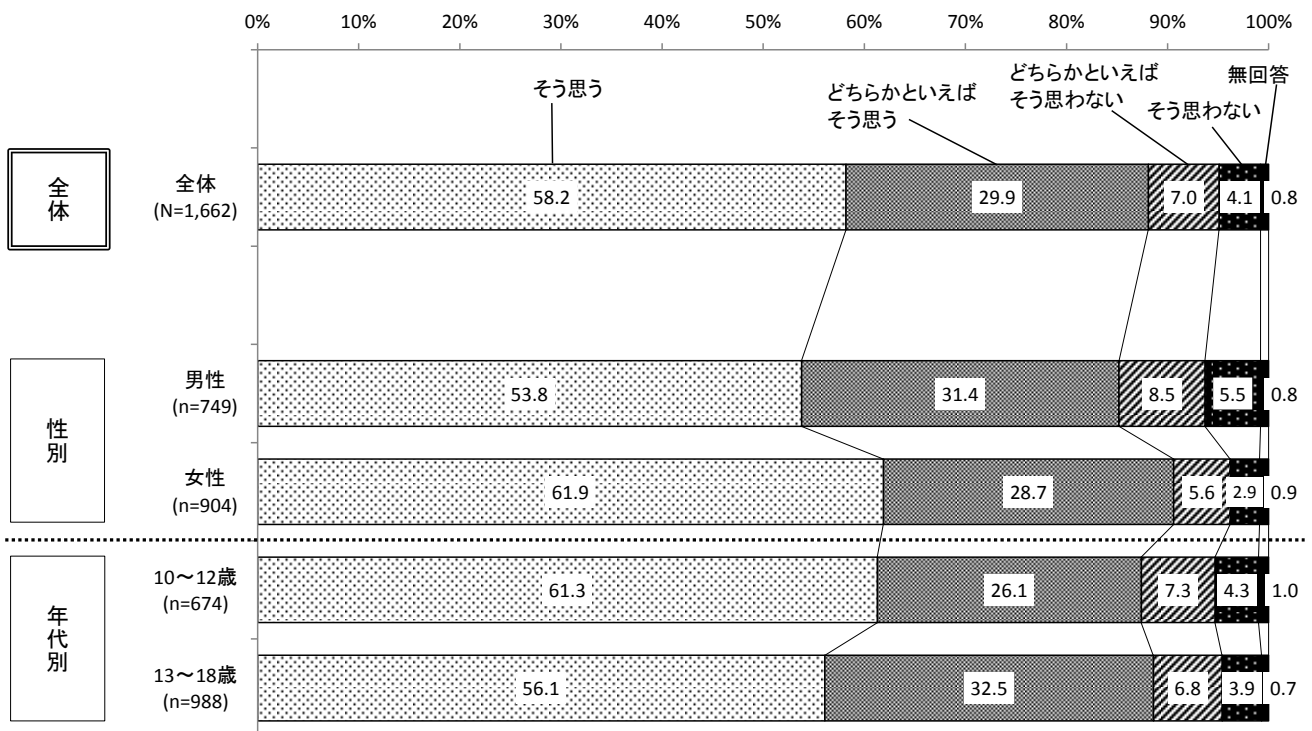


全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が80.6%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が18.7%となっている。

<自分自身についてどう思うか> ⑩

問10 あなたは、自分自身のことについて、どのように思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

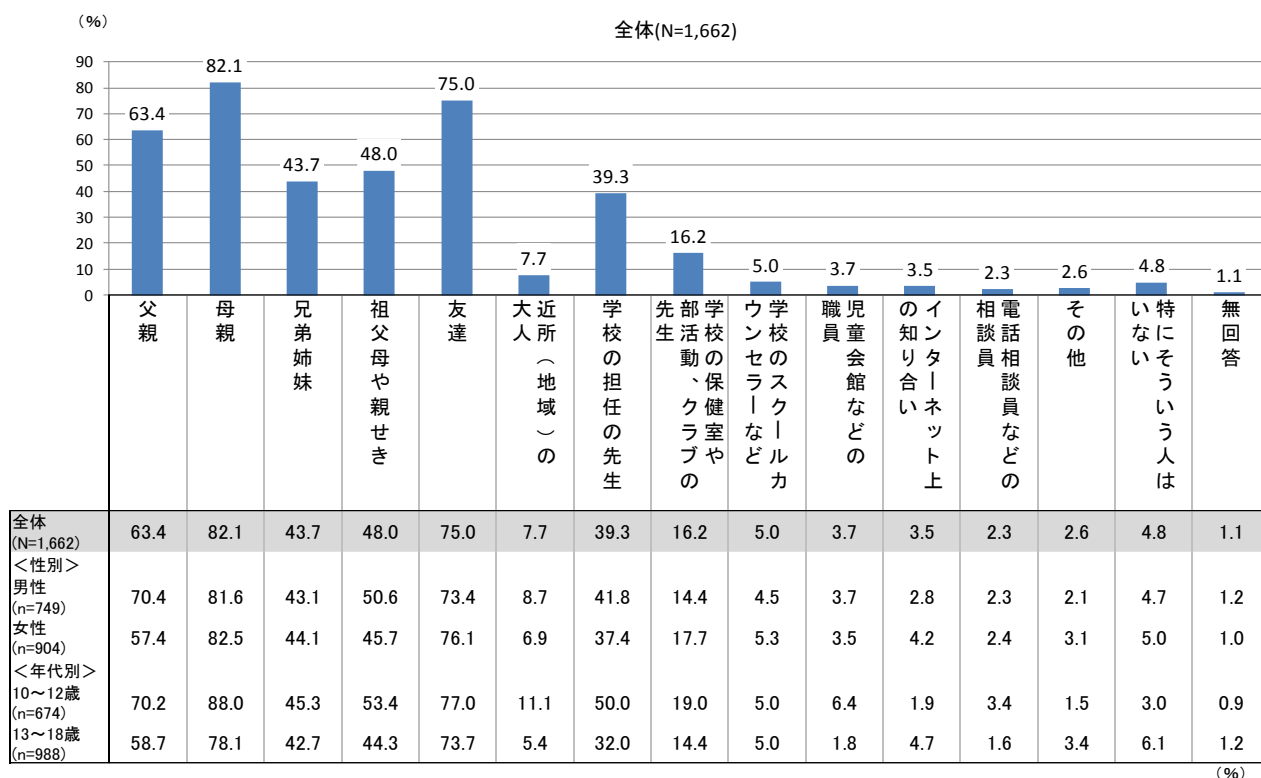
⑩困ったときは人に相談してみるのも大事だと思う



全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が88.1%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が11.1%となっている。

<自分を理解してくれる人>

問11 あなたのことを理解してくれると思う人はだれですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。（複数回答）



全体では、「母親」(82.1%)が最も多く、次いで「友達」(75.0%)、「父親」(63.4%)、「祖父母や親せき」(48.0%)、「兄弟姉妹」(43.7%)となっている。なお、「特にそういう人はいない」は4.8%となっている。

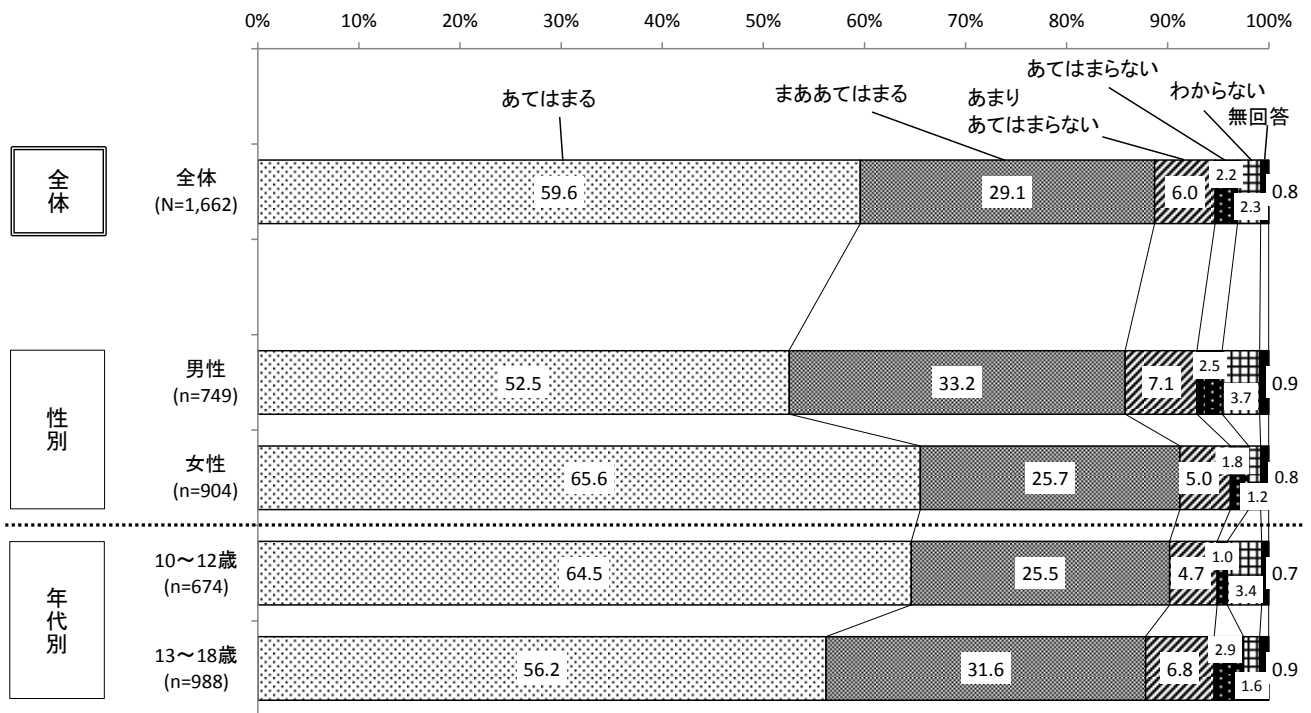
性別で見ると、「父親」の割合は男性(70.4%)が女性(57.4%)より高くなっている。

年代別で見ると、大半の項目で10~12歳が13~18歳より割合が高くなっている一方、「特にそういう人はいない」の割合は13~18歳(6.1%)が10~12歳(3.0%)より高くなっている。

<保護者の自分への関わり> ①

問12 保護者の方（親）のあなたへの関わりについてどのように感じますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

①ふだんの行き先や誰と一緒にかなどを知っている

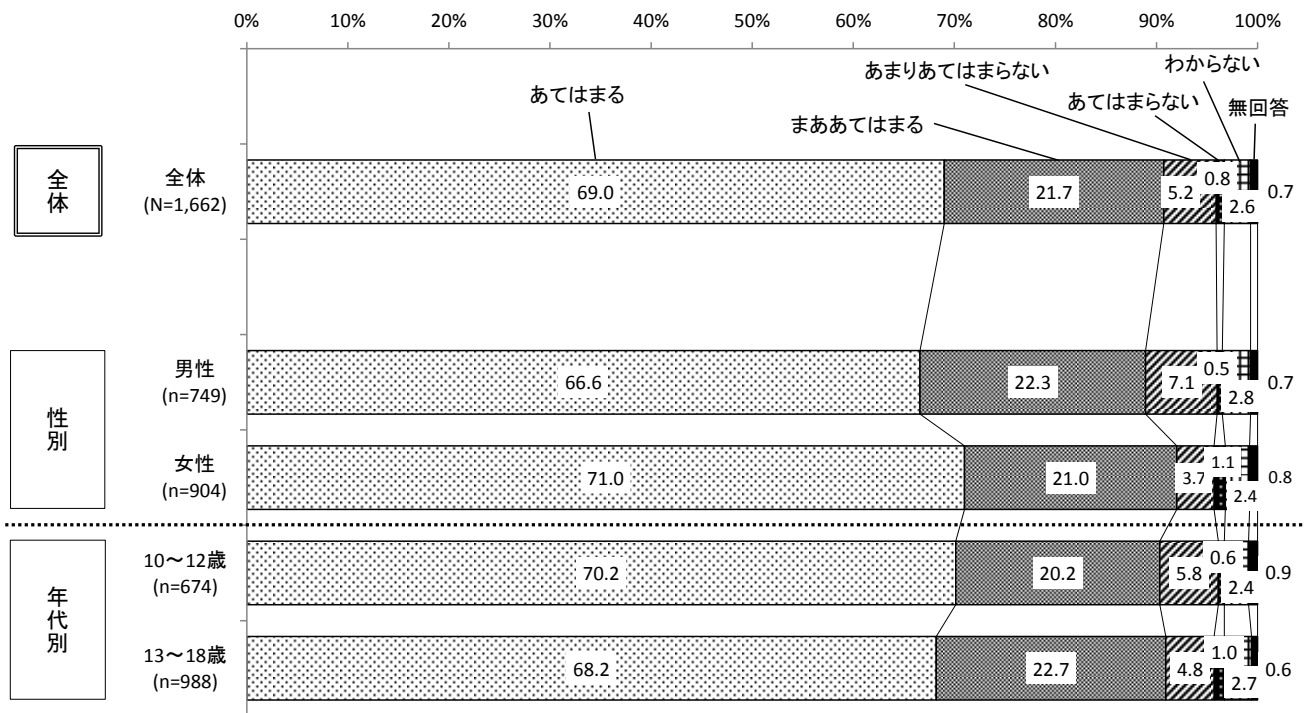


全体では、『あてはまる』（「あてはまる」＋「まああてはまる」）が 88.7%、『あてはまらない』（「あまりあてはまらない」＋「あてはまらない」）が 8.1%となっている。

<保護者の自分への関わり> ②

問12 保護者の方（親）のあなたへの関わりについてどのように感じますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

②まじめな話はちゃんと聞いてくれる

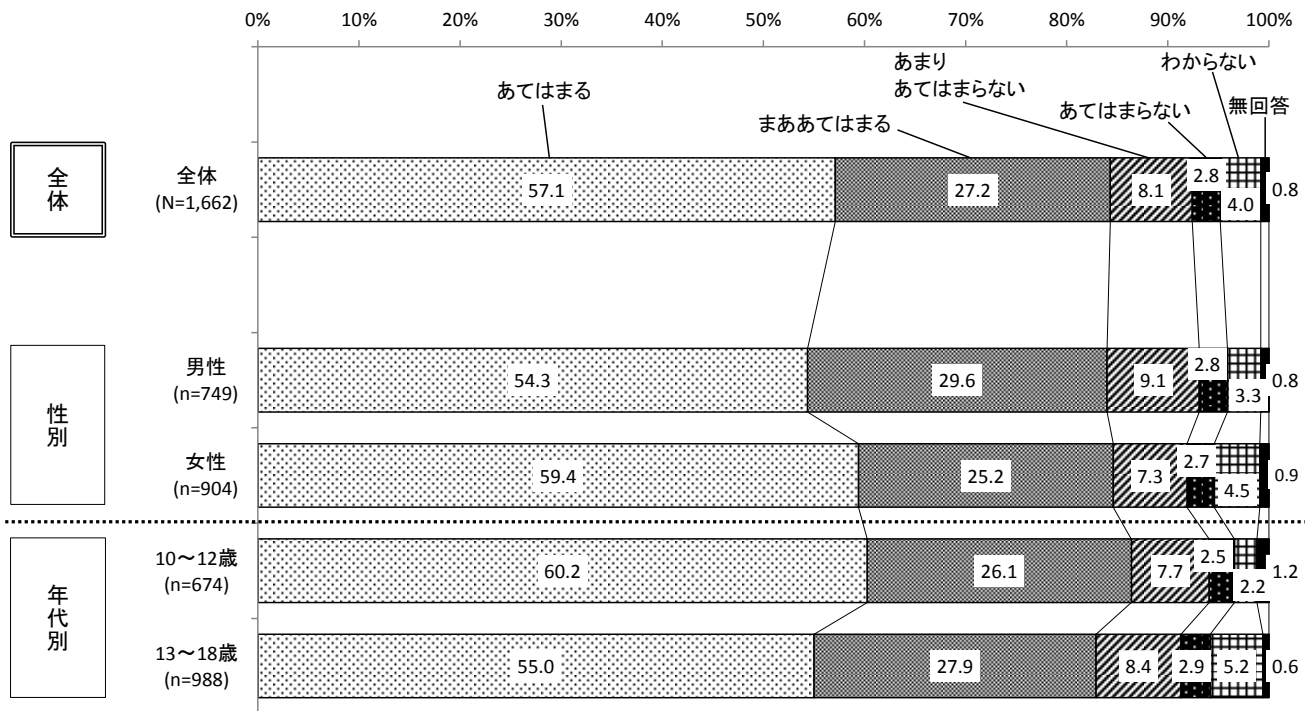


全体では、『あてはまる』（「あてはまる」＋「まああてはまる」）が 90.7%、『あてはまらない』（「あまりあてはまらない」＋「あてはまらない」）が 6.0%となっている。

<保護者の自分への関わり> ③

問12 保護者の方（親）のあなたへの関わりについてどのように感じますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

③困ったときはなぐさめたり、背中を押してくれる

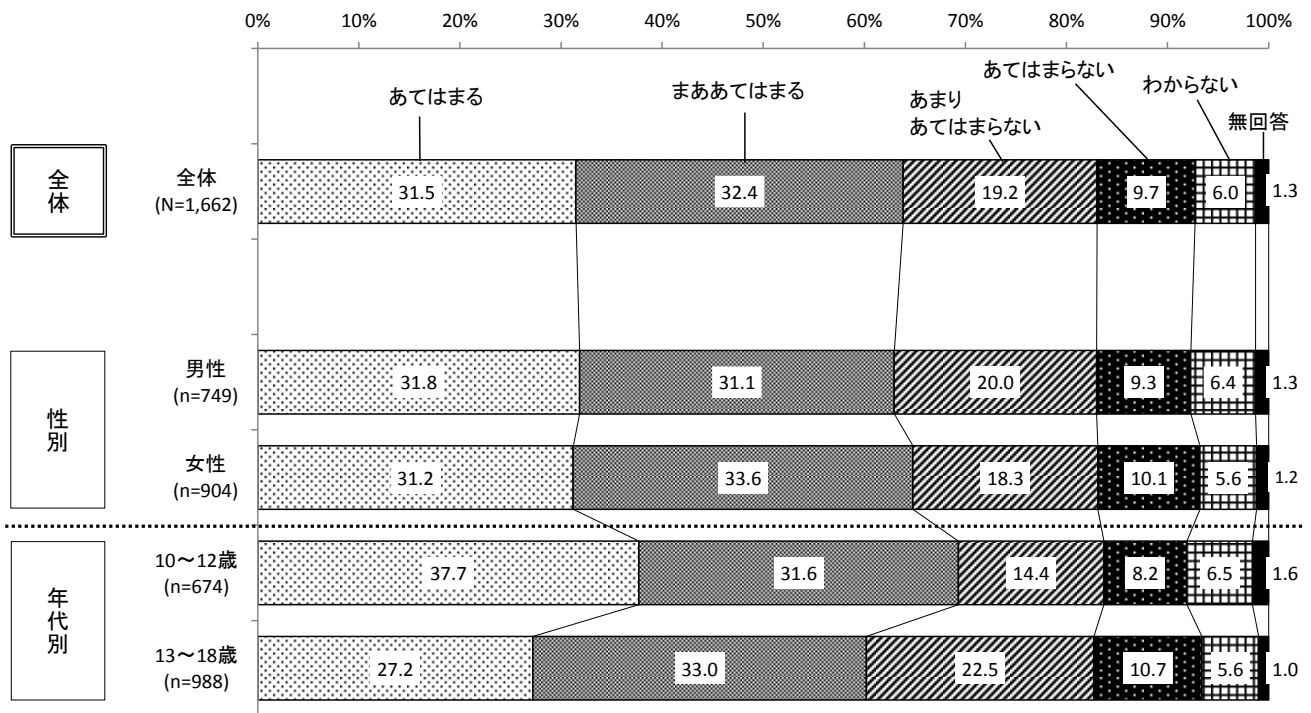


全体では、『あてはまる』（「あてはまる」＋「まああてはまる」）が84.3%、『あてはまらない』（「あまりあてはまらない」＋「あてはまらない」）が10.9%となっている。

<保護者の自分への関わり> ④

問12 保護者の方（親）のあなたへの関わりについてどのように感じますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

④色々な活動や交流への参加をうながしてくれる



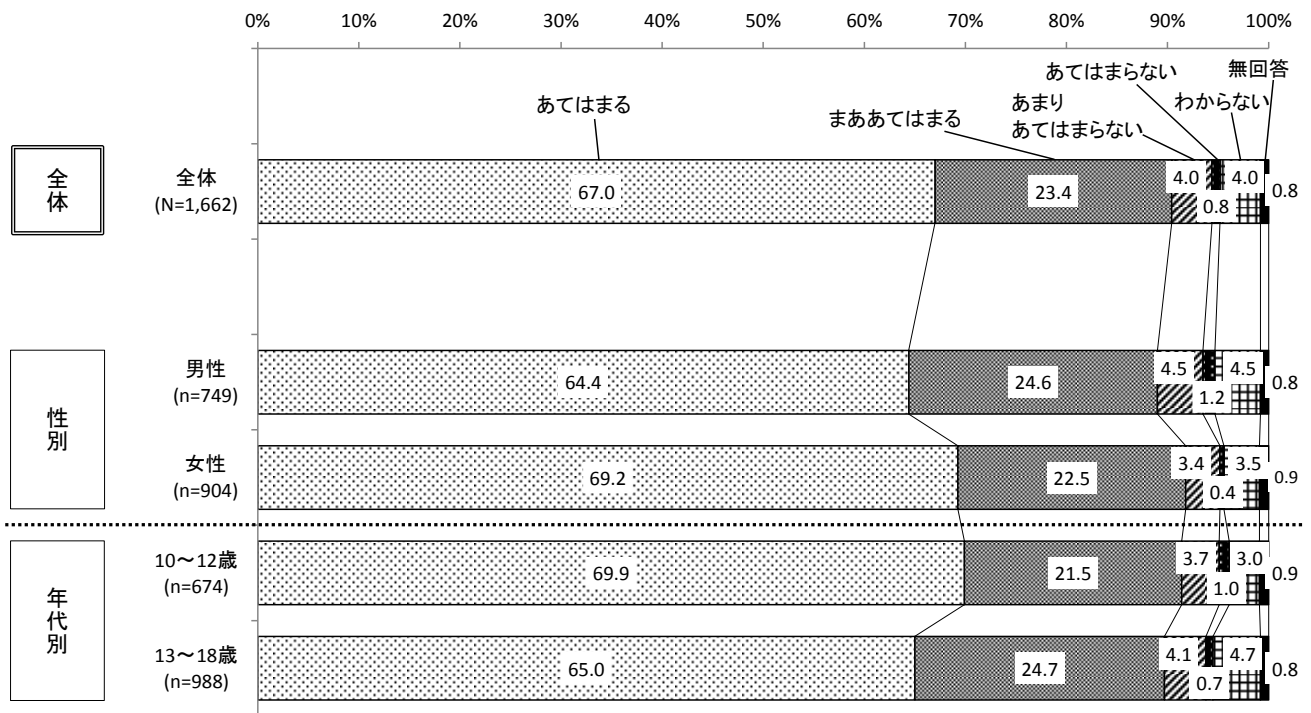
全体では、『あてはまる』（「あてはまる」＋「まああてはまる」）が 63.9%、『あてはまらない』（「あまりあてはまらない」＋「あてはまらない」）が 28.9%となっている。

年代別で見ると、『あてはまる』の割合は 10~12 歳（69.3%）が 13~18 歳（60.2%）より高くなっている。

<保護者の自分への関わり> ⑤

問12 保護者の方（親）のあなたへの関わりについてどのように感じますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑤自分のことをちゃんと考えてくれる

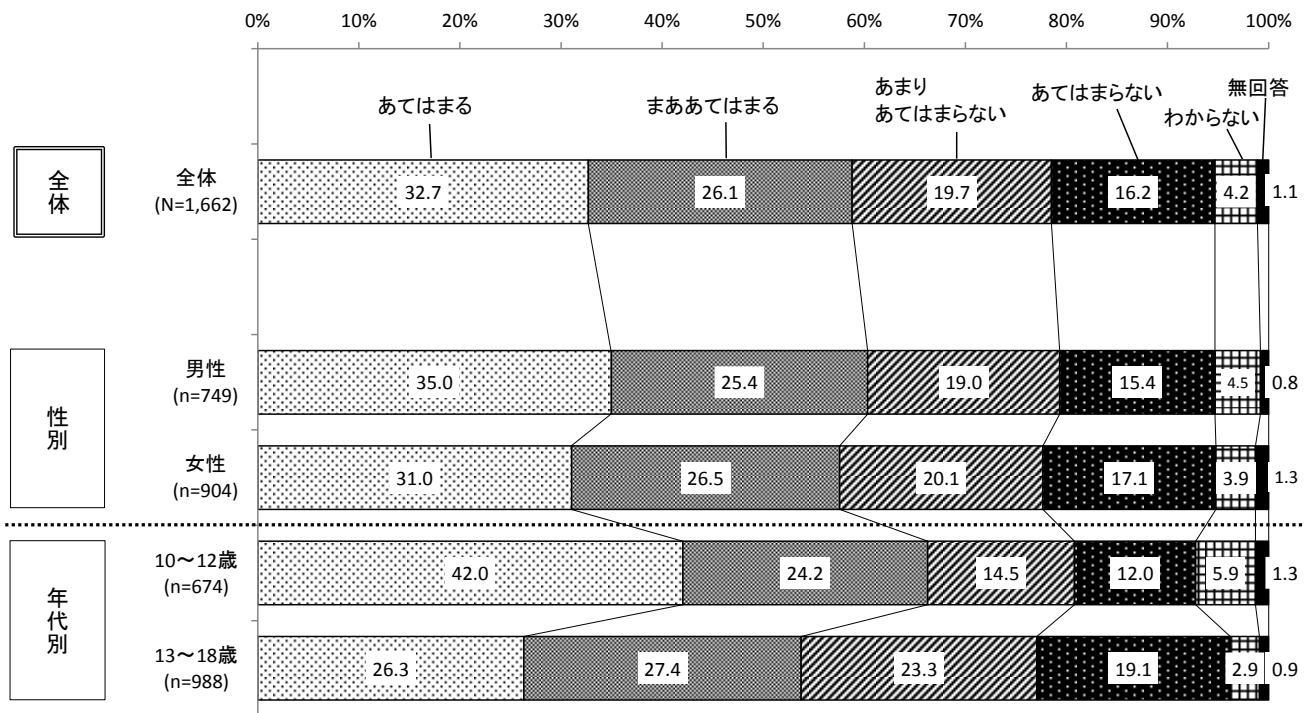


全体では、『あてはまる』（「あてはまる」＋「まああてはまる」）が90.4%、『あてはまらない』（「あまりあてはまらない」＋「あてはまらない」）が4.8%となっている。

<保護者の自分への関わり> ⑥

問12 保護者の方（親）のあなたへの関わりについてどのように感じますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑥態度や服装、友達のことをいろいろ注意される



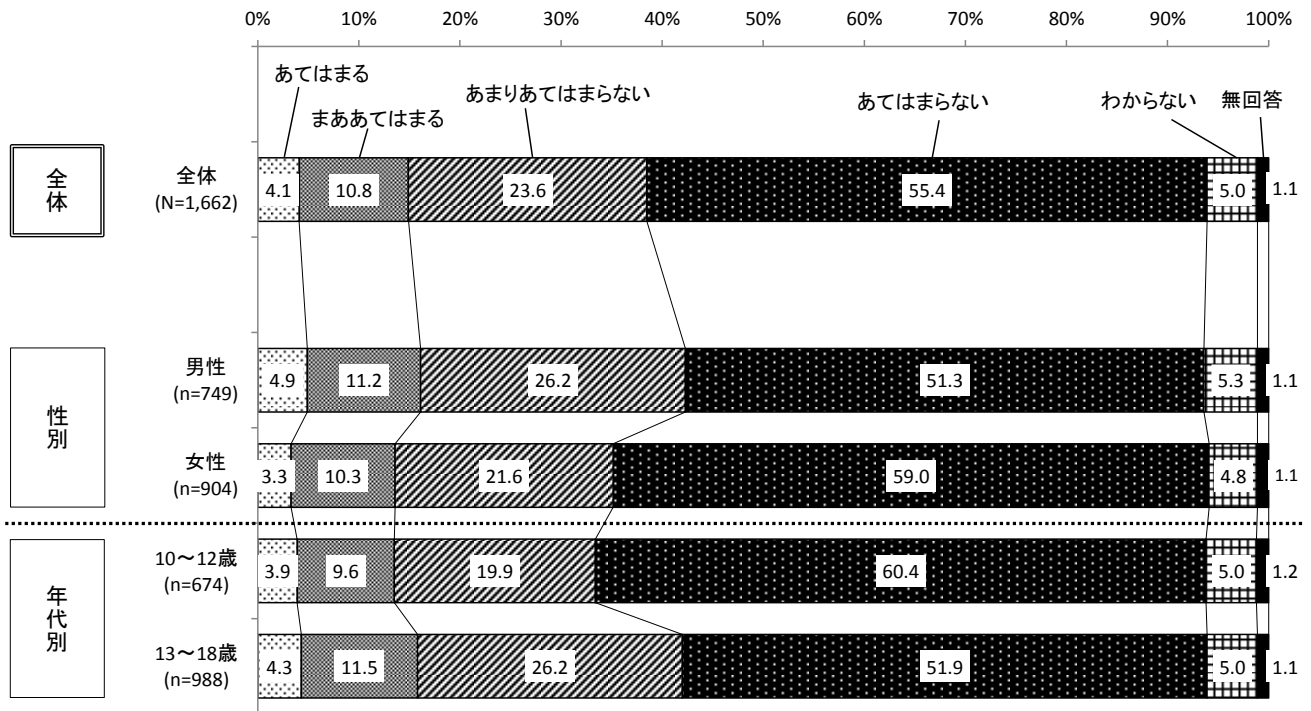
全体では、『あてはまる』（「あてはまる」＋「まああてはまる」）が 58.8%、『あてはまらない』（「あまりあてはまらない」＋「あてはまらない」）が 36.0%となっている。

年代別で見ると、『あてはまる』の割合は 10～12 歳（66.2%）が 13～18 歳（53.7%）より高くなっている。

<保護者の自分への関わり> ⑦

問12 保護者の方（親）のあなたへの関わりについてどのように感じますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑦自分の意見や考えをあまり聞いてくれない

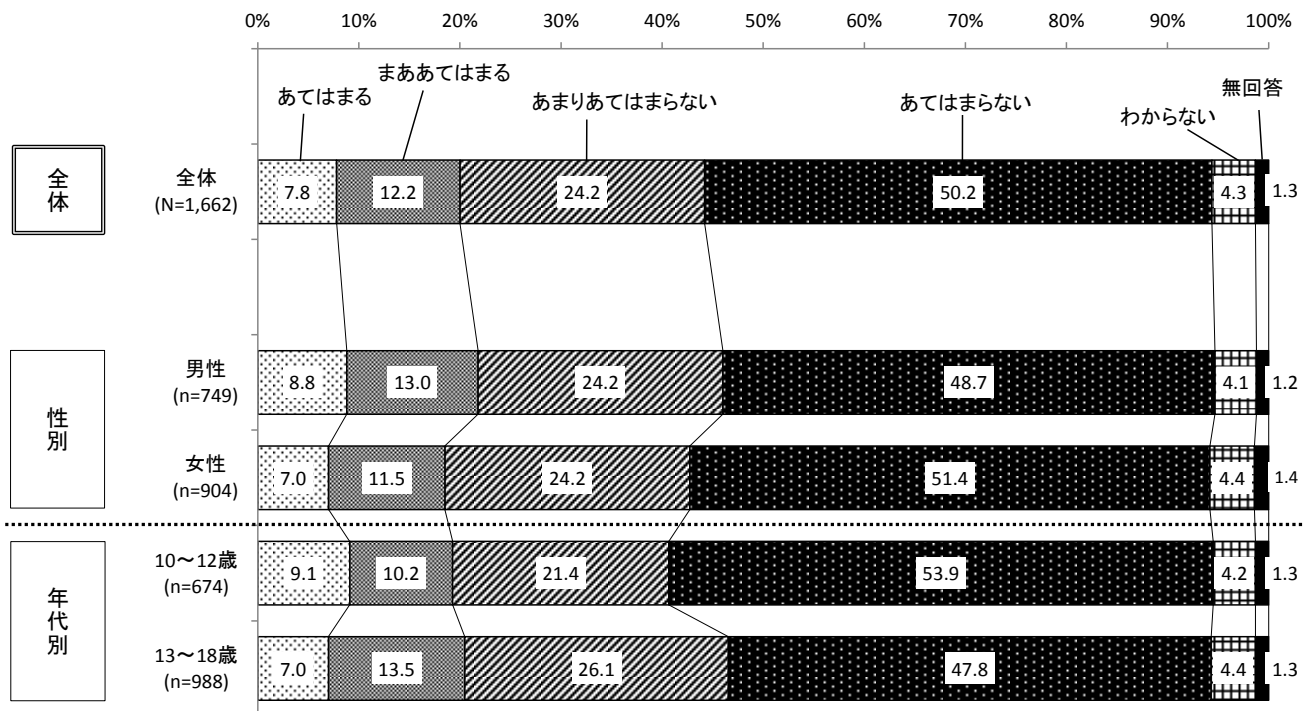


全体では、『あてはまる』（「あてはまる」＋「まああてはまる」）が 14.9%、『あてはまらない』（「あまりあてはまらない」＋「あてはまらない」）が 79.0%となっている。

<保護者の自分への関わり> ⑧

問12 保護者の方（親）のあなたへの関わりについてどのように感じますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑧傷つくことを言われたりされたりすることがある

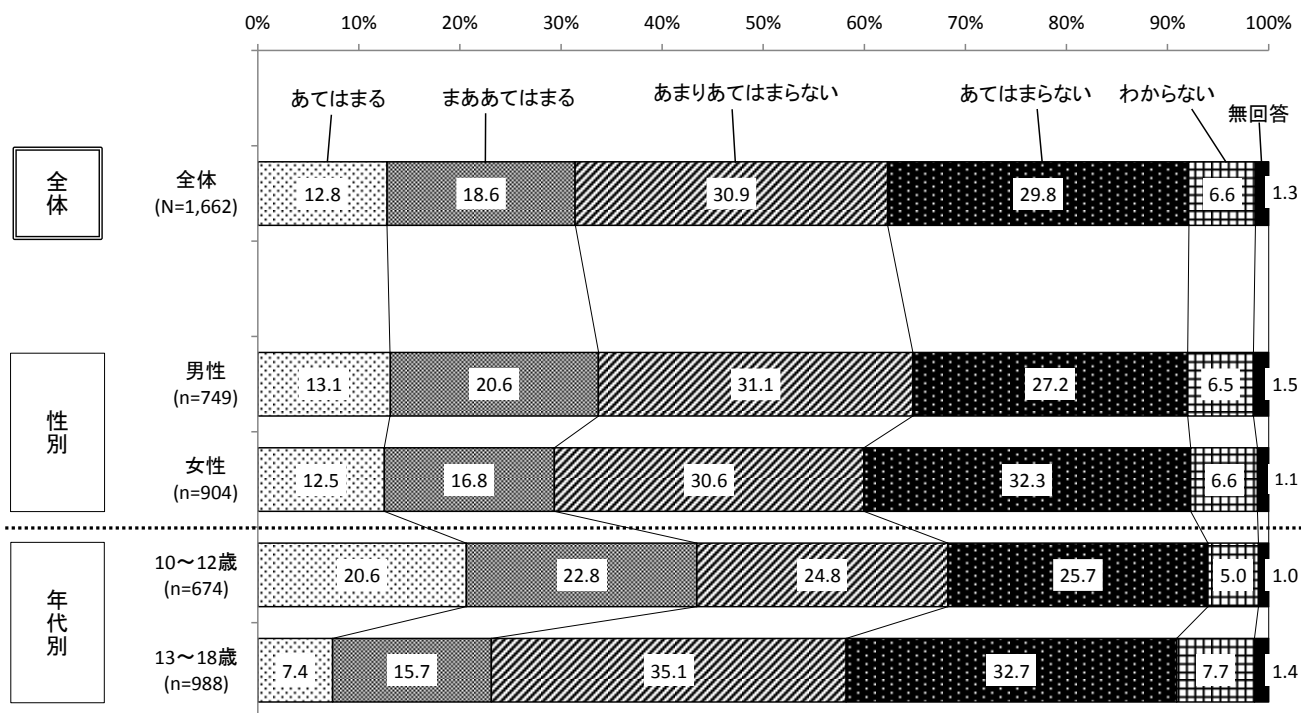


全体では、『あてはまる』（「あてはまる」＋「まああてはまる」）が 20.0%、『あてはまらない』（「あまりあてはまらない」＋「あてはまらない」）が 74.4%となっている。

<保護者の自分への関わり> ⑨

問12 保護者の方（親）のあなたへの関わりについてどのように感じますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑨家族で過ごす時間や関わりをふやしてほしい



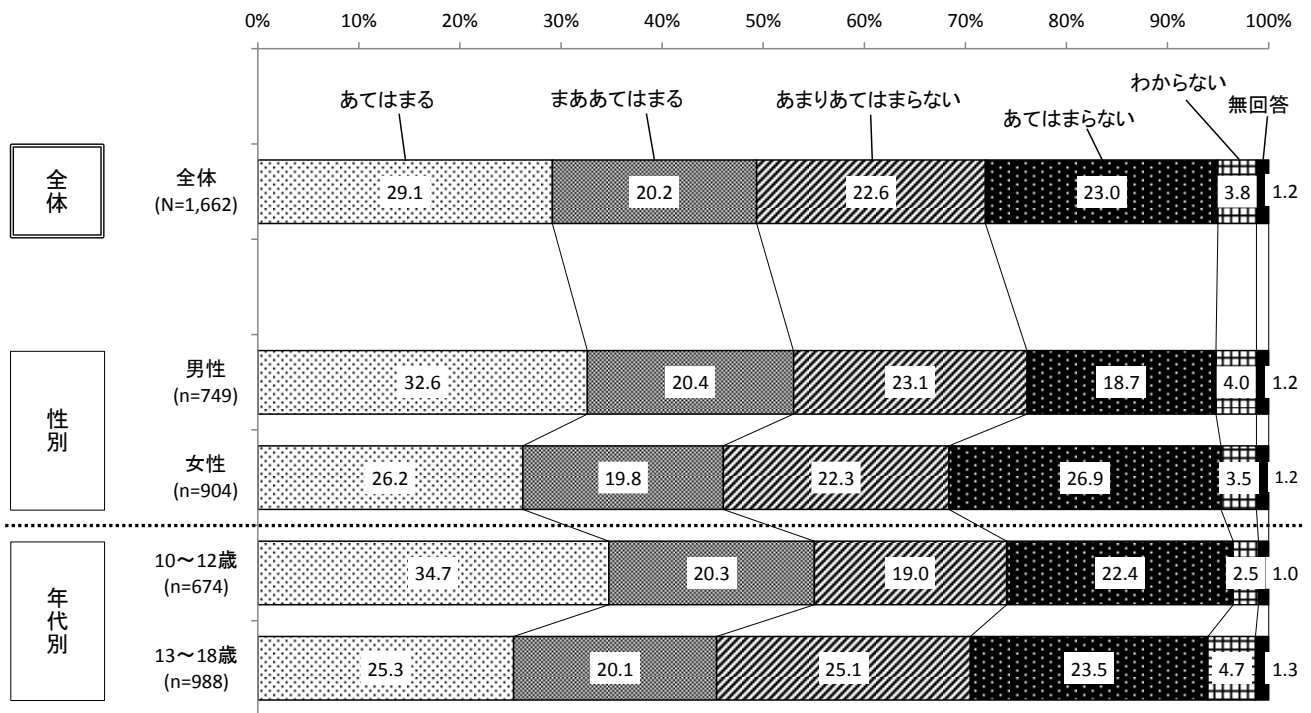
全体では、『あてはまる』（「あてはまる」＋「まああてはまる」）が 31.3%、『あてはまらない』（「あまりあてはまらない」＋「あてはまらない」）が 60.8%となっている。

年代別で見ると、『あてはまる』の割合は 10~12 歳（43.5%）が 13~18 歳（23.1%）より高くなっている。

<保護者の自分への関わり> ⑩

問12 保護者の方（親）のあなたへの関わりについてどのように感じますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑩自分が自由に過ごす時間をふやしてほしい

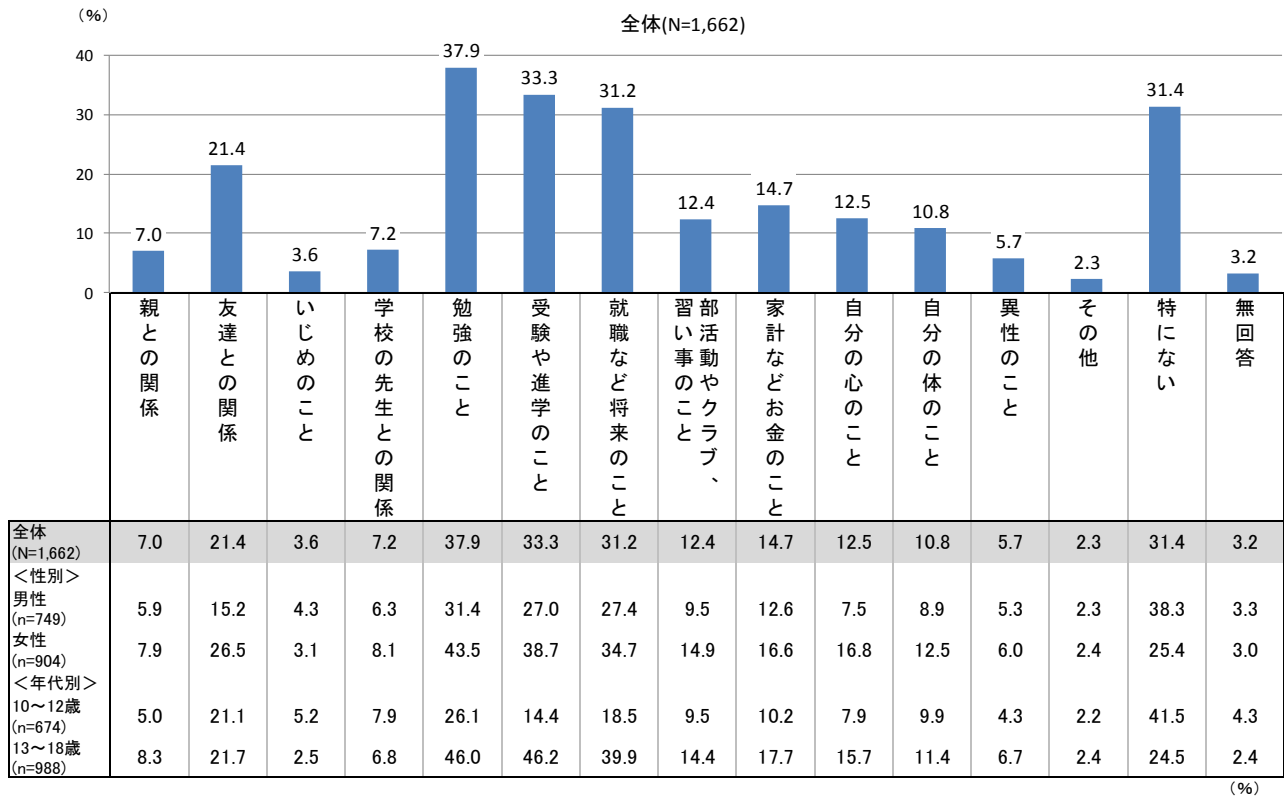


全体では、『あてはまる』（「あてはまる」＋「まああてはまる」）が 49.3%、『あてはまらない』（「あまりあてはまらない」＋「あてはまらない」）が 45.7%となっている。

年代別で見ると、『あてはまる』の割合は 10～12 歳（55.0%）が 13～18 歳（45.4%）より高くなっている。

<困っていることや嫌なこと（悩みごと）>

問13 あなたは、日ごろの生活の中で何か困っていることや嫌なこと（悩みごと）がありますか。あてはまるものはいくつでも○をつけてください。（複数回答）



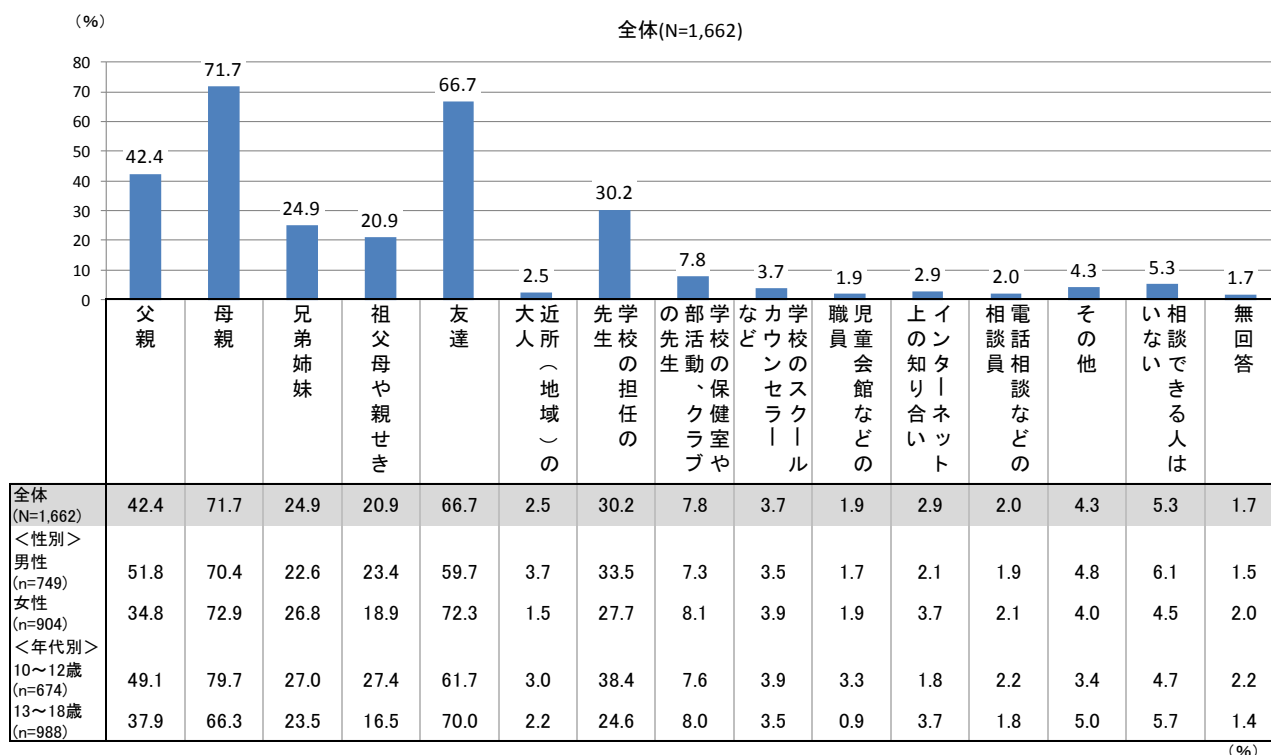
全体では、「勉強のこと」（37.9%）が最も多く、次いで「受験や進学のこと」（33.3%）、「特にない」（31.4%）、「就職など将来のこと」（31.2%）となっている。

性別で見ると、男性では「特にない」（38.3%）が最も多く、次いで「勉強のこと」（31.4%）、「就職など将来のこと」（27.4%）となっている一方、女性では「勉強のこと」（43.5%）が最も多く、次いで「受験や進学のこと」（38.7%）、「就職など将来のこと」（34.7%）となっている。

年代別で見ると、10~12歳では「特にない」（41.5%）が最も多く、次いで「勉強のこと」（26.1%）、「友達との関係」（21.1%）となっている一方、13~18歳では「受験や進学のこと」（46.2%）が最も多く、次いで「勉強のこと」（46.0%）「就職など将来のこと」（39.9%）となっている。

<悩みごとの相談相手>

問14 あなたは、悩みごとがある場合にだれに相談しますか。あてはまるものにもいくつか○をつけてください。（複数回答）



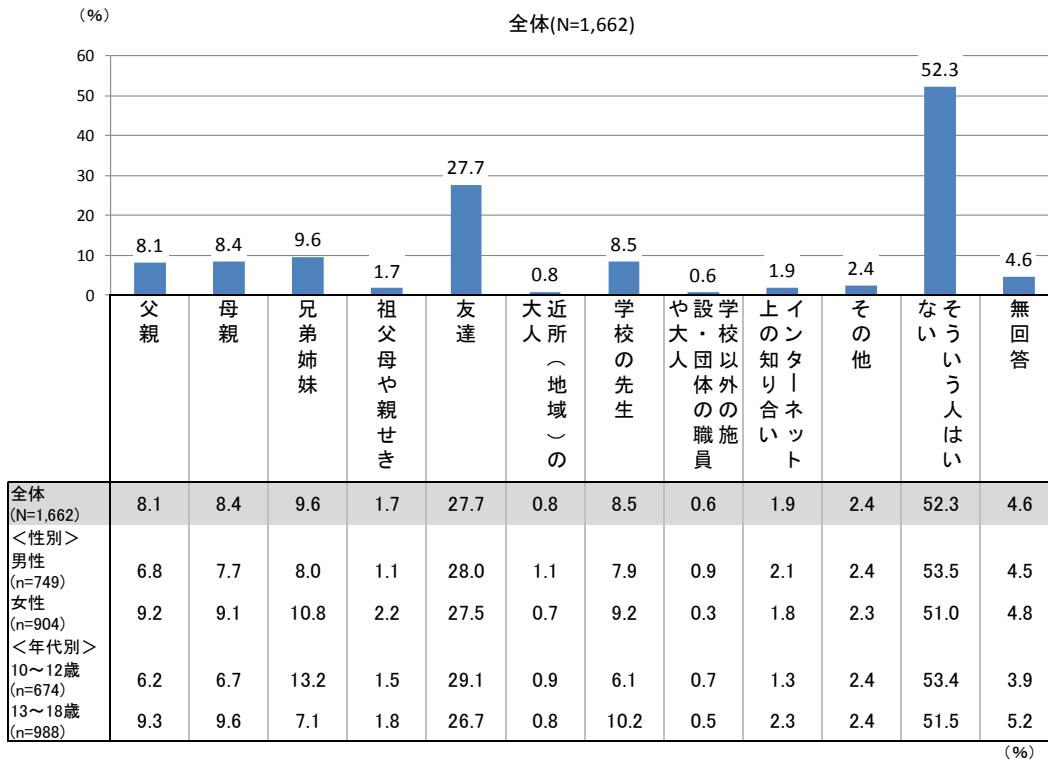
全体では、「母親」（71.7%）が最も多く、次いで「友達」（66.7%）、「父親」（42.4%）、「学校の担任の先生」（30.2%）となっている。なお、「相談できる人はいない」は5.3%となっている。

性別で見ると、「父親」の割合は男性（51.8%）が女性（34.8%）より高く、「友達」の割合は男性（59.7%）が女性（72.3%）より低くなっている。

年代別で見ると、10～12歳では「母親」（79.7%）が最も多く、次いで「友達」（61.7%）、「父親」（49.1%）となっている一方、13～18歳では「友達」（70.0%）が最も多く、次いで「母親」（66.3%）、「父親」（37.9%）となっている。

<自分を言葉や力で傷つけやすいと感じる人>

問15 生活の中で、あなたを言葉や力で傷つけやすいと感じる人はいませんか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。（複数回答）

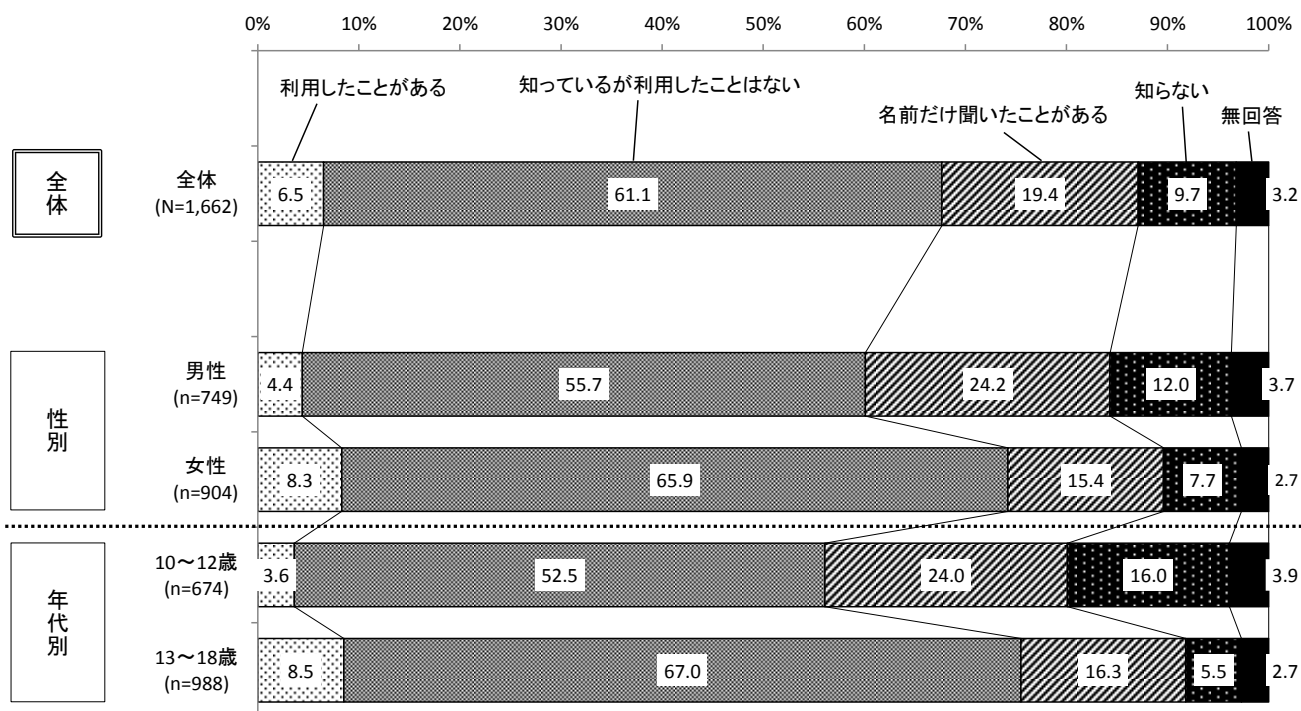


全体では、「そういう人はいない」（52.3%）が最も多く、次いで「友達」（27.7%）、「兄弟姉妹」（9.6%）となっている。

<相談機関の認知度> ①

問16 次の相談機関のうち、あなたが知っているところや利用したところのあるところはありますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

①学校のスクールカウンセラーなど



全体では、「利用したことがある」が6.5%、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』（「利用したことがある」＋「知っているが利用したことはない」＋「名前だけ聞いたことがある」）が87.1%となっている。

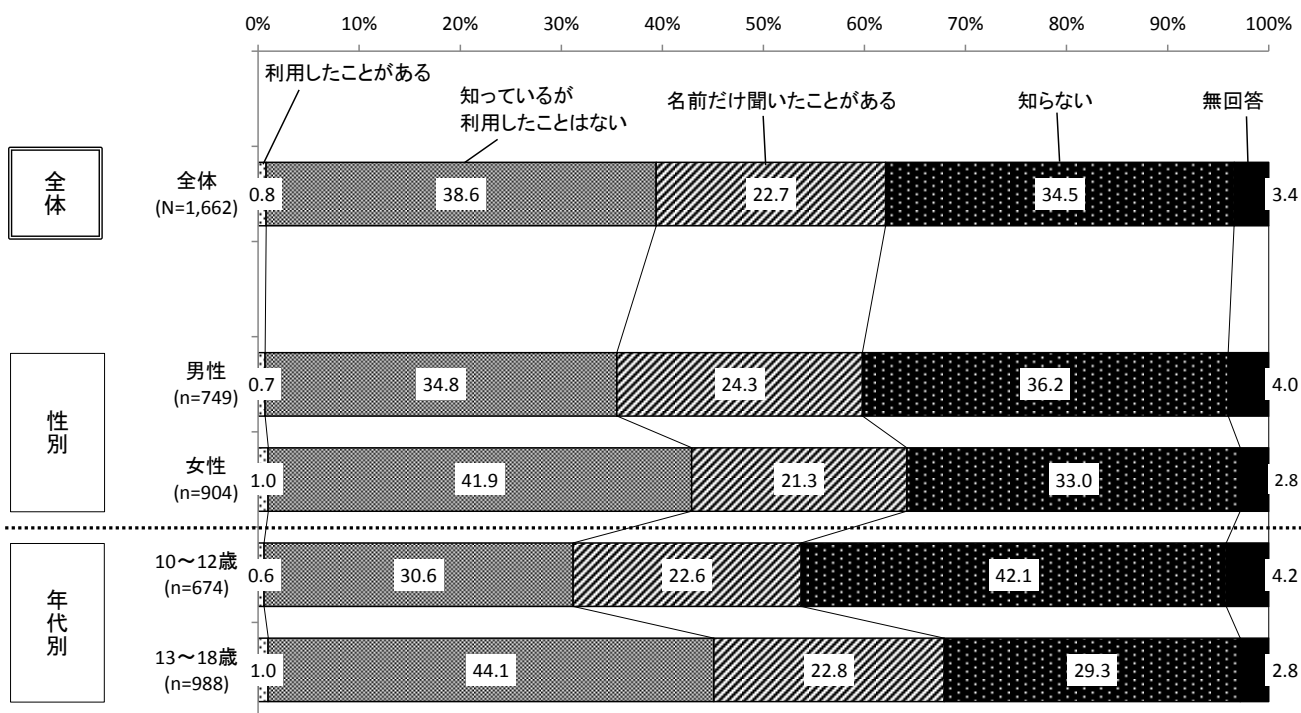
性別で見ると、「利用したことがある」の割合は女性（8.3%）が男性（4.4%）より高く、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』の割合も、女性（89.6%）が男性（84.2%）より高くなっている。

年代別で見ると、「利用したことがある」の割合は13～18歳（8.5%）が10～12歳（3.6%）より高く、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』の割合も、13～18歳（91.8%）が10～12歳（80.1%）より高くなっている。

<相談機関の認知度> ②

問16 次の相談機関のうち、あなたが知っているところや利用したことのあるところがありますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

②子どもアシストセンター（札幌市子どもの権利救済機関）



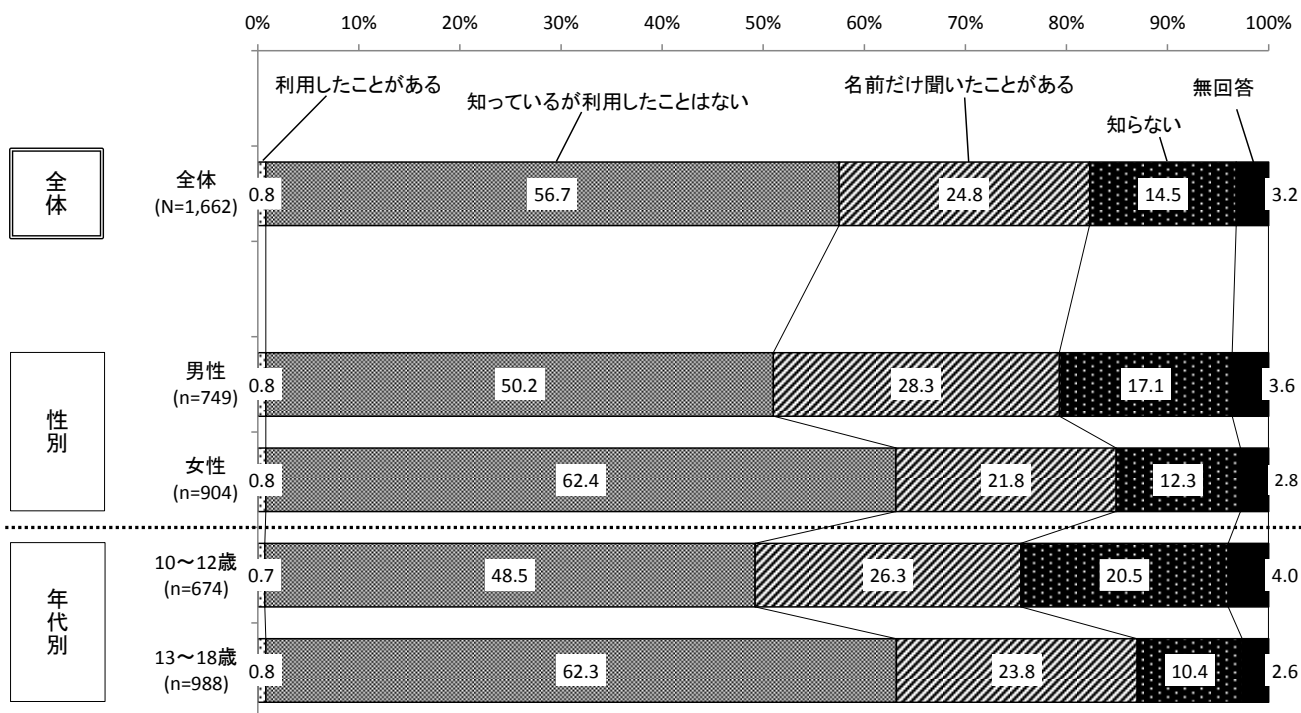
全体では、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』（「利用したことがある」＋「知っているが利用したことはない」＋「名前だけ聞いたことがある」）が 62.2% となっている。

年代別で見ると、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』の割合は 13~18 歳 (67.9%) が 10~12 歳 (53.7%) より高くなっている。

<相談機関の認知度> ③

問16 次の相談機関のうち、あなたが知っているところや利用したところのあるところはありますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

③いじめ電話相談（札幌市教育委員会）



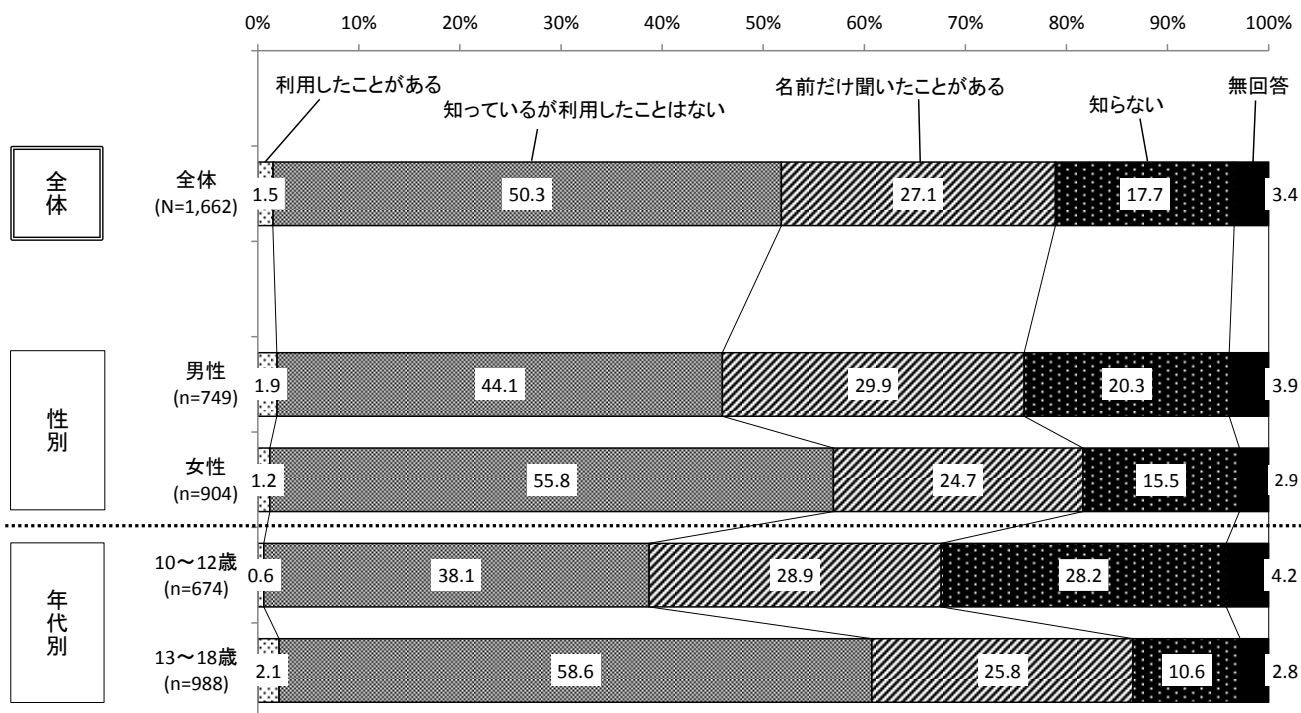
全体では、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』（「利用したことがある」＋「知っているが利用したことはない」＋「名前だけ聞いたことがある」）が82.3%となっている。

年代別で見ると、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』の割合は13～18歳（86.9%）が10～12歳（75.5%）より高くなっている。

<相談機関の認知度> ④

問16 次の相談機関のうち、あなたが知っているところや利用したところのあるところはありますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

④児童相談所



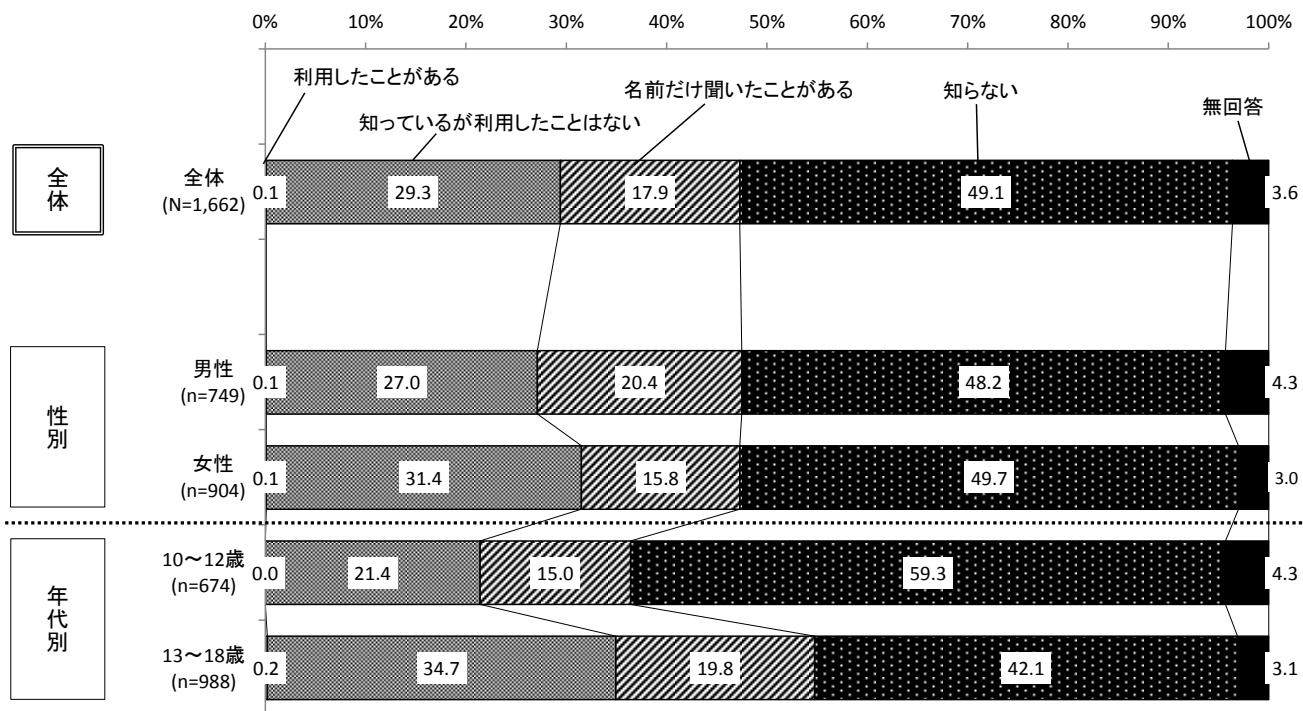
全体では、「利用したことがある」が1.5%、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』（「利用したことがある」＋「知っているが利用したことはない」＋「名前だけ聞いたことがある」）が78.9%となっている。

年代別で見ると、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』の割合は13~18歳(86.5%)が10~12歳(67.7%)より高くなっている。

<相談機関の認知度> ⑤

問16 次の相談機関のうち、あなたが知っているところや利用したところのあるところはありますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑤各区家庭児童相談室（各区保健センター）



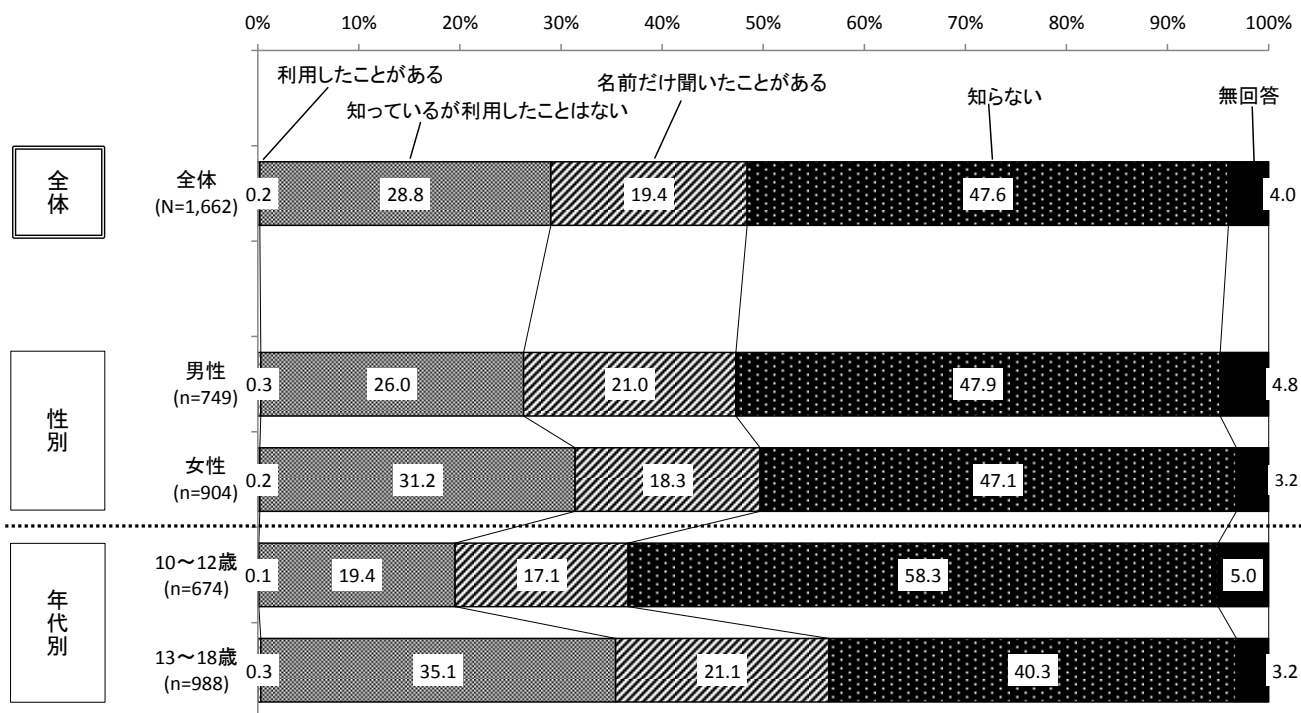
全体では、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』（「利用したことがある」＋「知っているが利用したことはない」＋「名前だけ聞いたことがある」）が47.3%となっている。

年代別で見ると、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』の割合は13～18歳（54.8%）が10～12歳（36.4%）より高くなっている。

<相談機関の認知度> ⑥

問16 次の相談機関のうち、あなたが知っているところや利用したところのあるところはありますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑥児童家庭支援センター



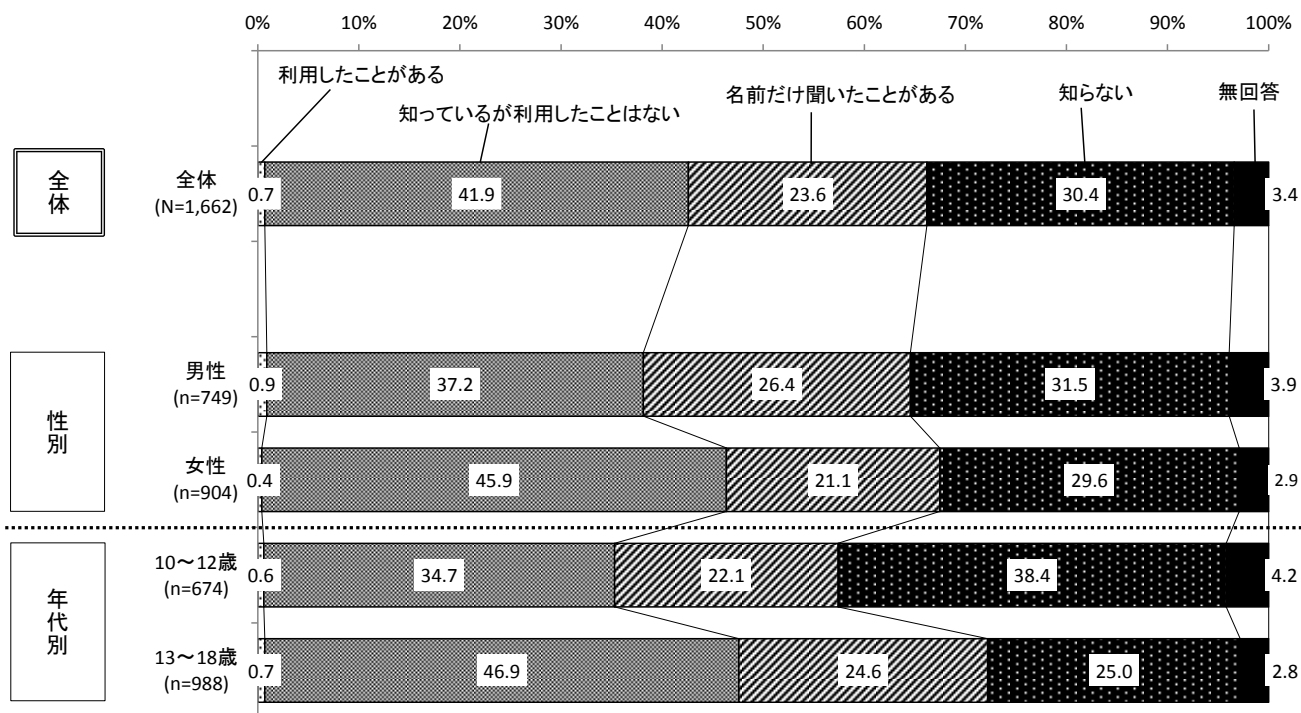
全体では、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』（「利用したことがある」＋「知っているが利用したことはない」＋「名前だけ聞いたことがある」）が48.4%となっている。

年代別で見ると、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』の割合は13~18歳(56.5%)が10~12歳(36.6%)より高くなっている。

<相談機関の認知度> ⑦

問16 次の相談機関のうち、あなたが知っているところや利用したところのあるところはありますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑦子どもの人権110番（札幌法務局）



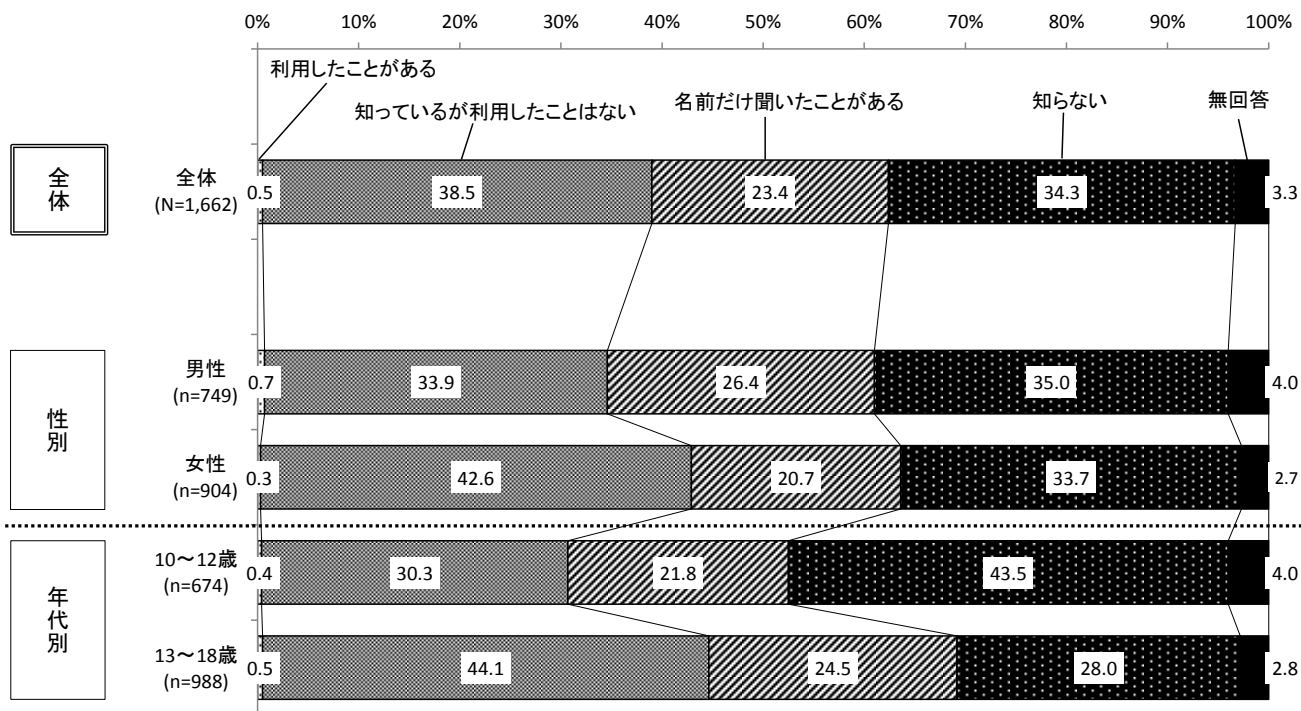
全体では、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』（「利用したことがある」＋「知っているが利用したことはない」＋「名前だけ聞いたことがある」）が66.2%となっている。

年代別で見ると、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』の割合は13～18歳（72.2%）が10～12歳（57.4%）より高くなっている。

<相談機関の認知度> ⑧

問16 次の相談機関のうち、あなたが知っているところや利用したところのあるところがありますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑧子どもの権利110番（札幌弁護士会）



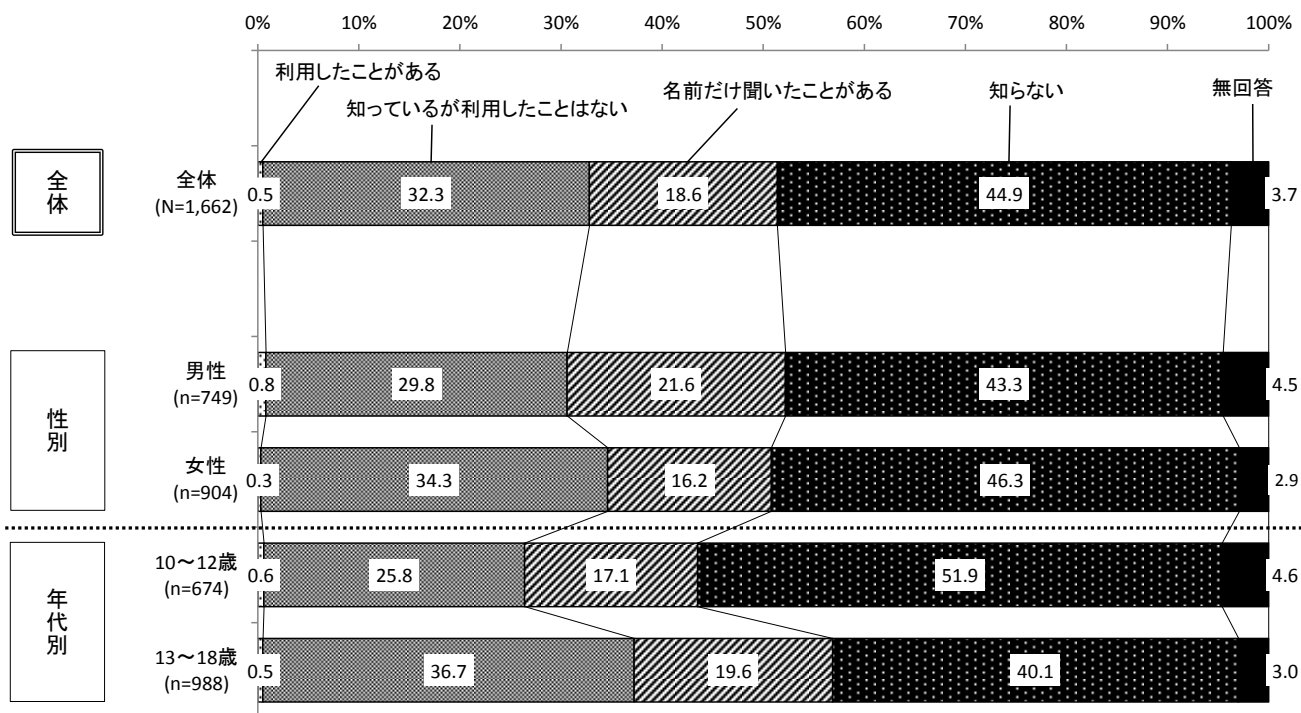
全体では、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』（「利用したことがある」＋「知っているが利用したことはない」＋「名前だけ聞いたことがある」）が62.4%となっている。

年代別で見ると、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』の割合は13～18歳（69.1%）が10～12歳（52.5%）より高くなっている。

<相談機関の認知度> ⑨

問16 次の相談機関のうち、あなたが知っているところや利用したところのあるところはありますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑨少年相談110番（北海道警察少年サポートセンター）



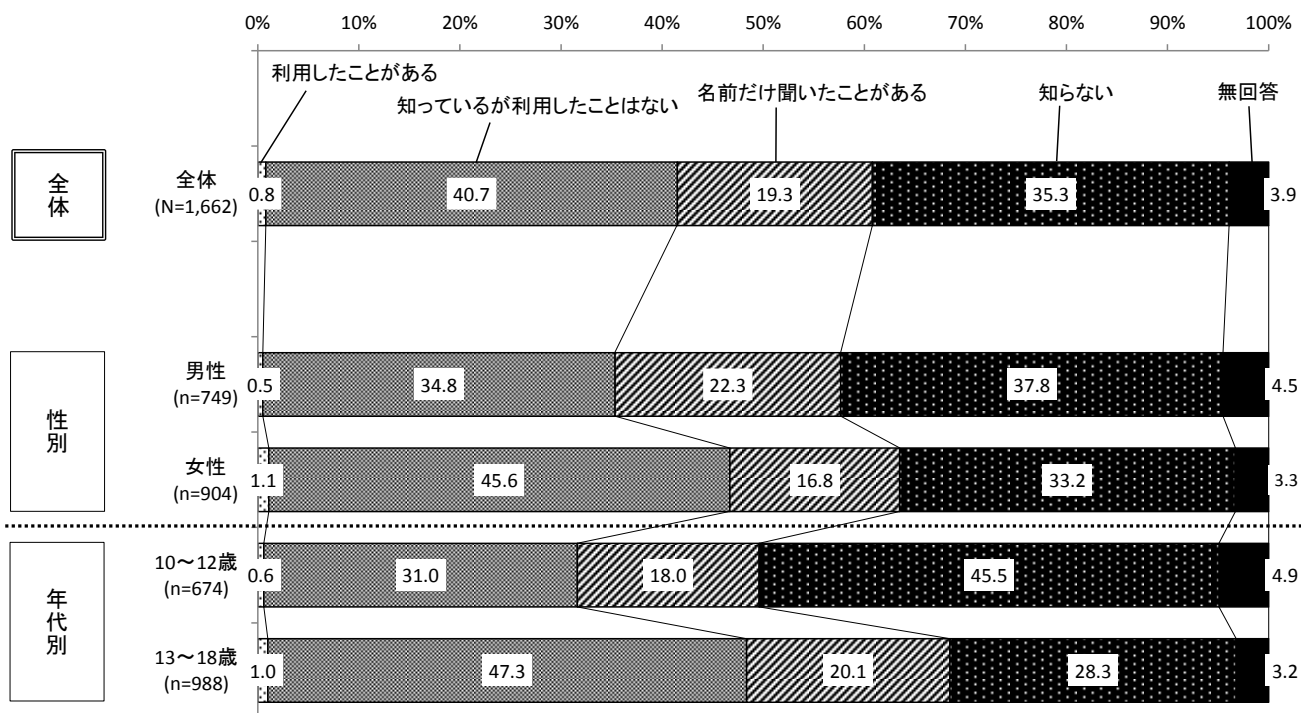
全体では、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』（「利用したことがある」＋「知っているが利用したことはない」＋「名前だけ聞いたことがある」）が51.4%となっている。

年代別で見ると、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』の割合は13～18歳（56.9%）が10～12歳（43.5%）より高くなっている。

<相談機関の認知度> ⑩

問16 次の相談機関のうち、あなたが知っているところや利用したところのあるところはありますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑩チャイルドラインほっかいどう

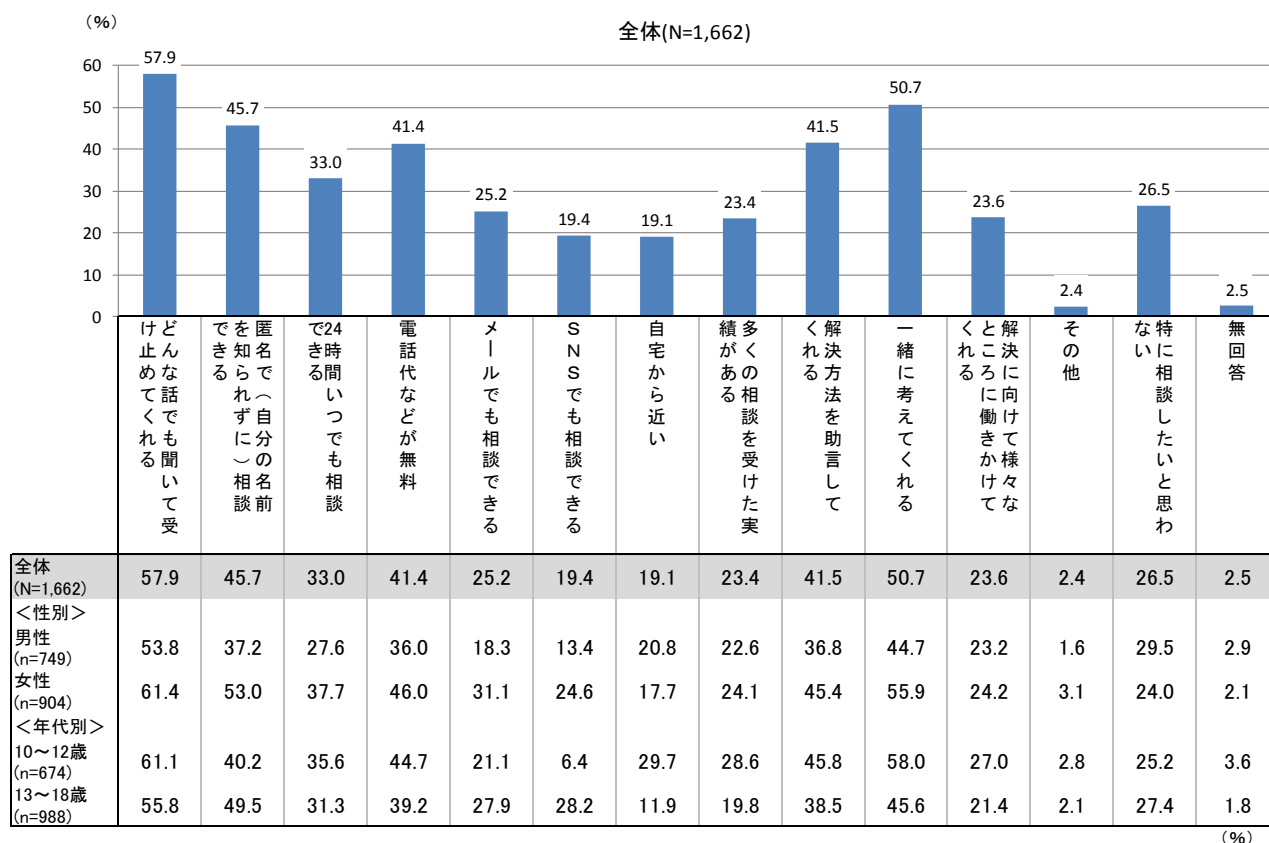


全体では、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』（「利用したことがある」＋「知っているが利用したことはない」＋「名前だけ聞いたことがある」）が60.8%となっている。

年代別で見ると、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』の割合は13～18歳（68.4%）が10～12歳（49.6%）より高くなっている。

<相談機関に望むこと>

問17 あなたはどのようなところであれば、相談してみようと思いますか。あてはまるものにもいくつかつけてください。（複数回答）

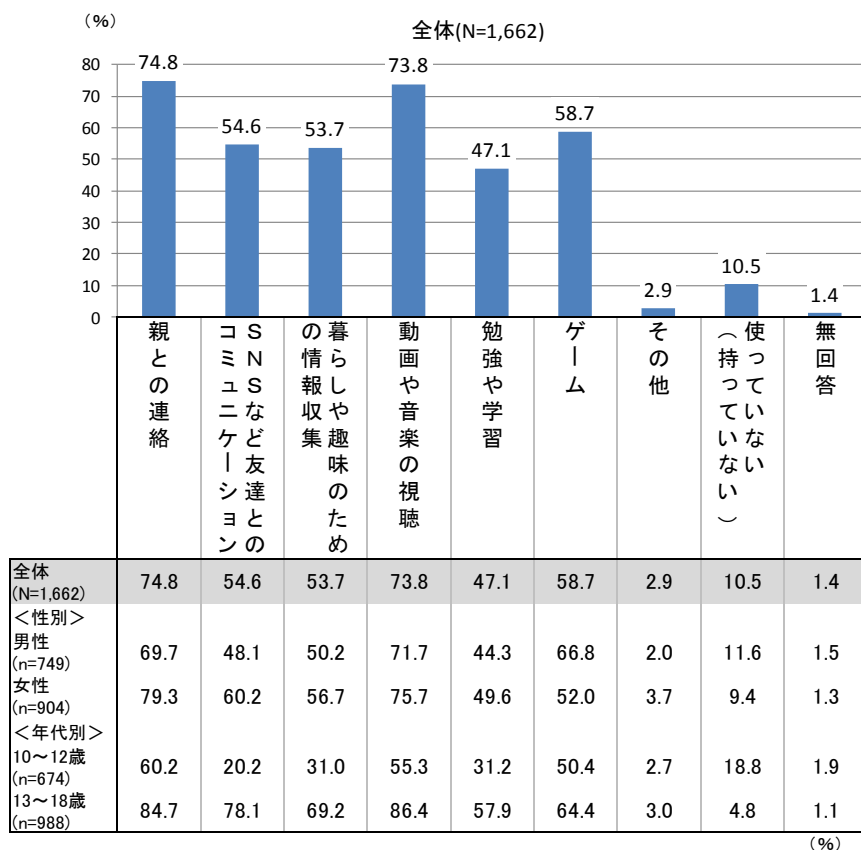


全体では、「どんな話でも聞いて受け止めてくれる」（57.9%）が最も多く、次いで「一緒に考えてくれる」（50.7%）、「匿名で（自分の名前を知られずに）相談できる」（45.7%）、「解決方法を助言してくれる」（41.5%）、「電話代などが無料」（41.4%）となっている。なお、「特に相談したいと思わない」は26.5%となっている。

年代別で見ると、10～12歳では「どんな話でも聞いて受け止めてくれる」（61.1%）が最も多く、次いで「一緒に考えてくれる」（58.0%）、「解決方法を助言してくれる」（45.8%）となっている一方、13～18歳では「どんな話でも聞いて受け止めてくれる」（55.8%）が最も多く、次いで「匿名で（自分の名前を知られずに）相談できる」（49.5%）、「一緒に考えてくれる」（45.6%）となっている。

<スマートフォン・携帯電話・パソコンの利用のしかた>

問18 あなたのスマートフォンや携帯電話、パソコンの利用のしかたについて、あてはまるものについででも○をつけてください。（複数回答）



全体では、「親との連絡」（74.8%）が最も多く、次いで「動画や音楽の視聴」（73.8%）、「ゲーム」（58.7%）、「SNSなど友達とのコミュニケーション」（54.6%）、「暮らしや趣味のための情報収集」（53.7%）となっている。なお、「使っていない(持っていない)」は10.5%となっている。

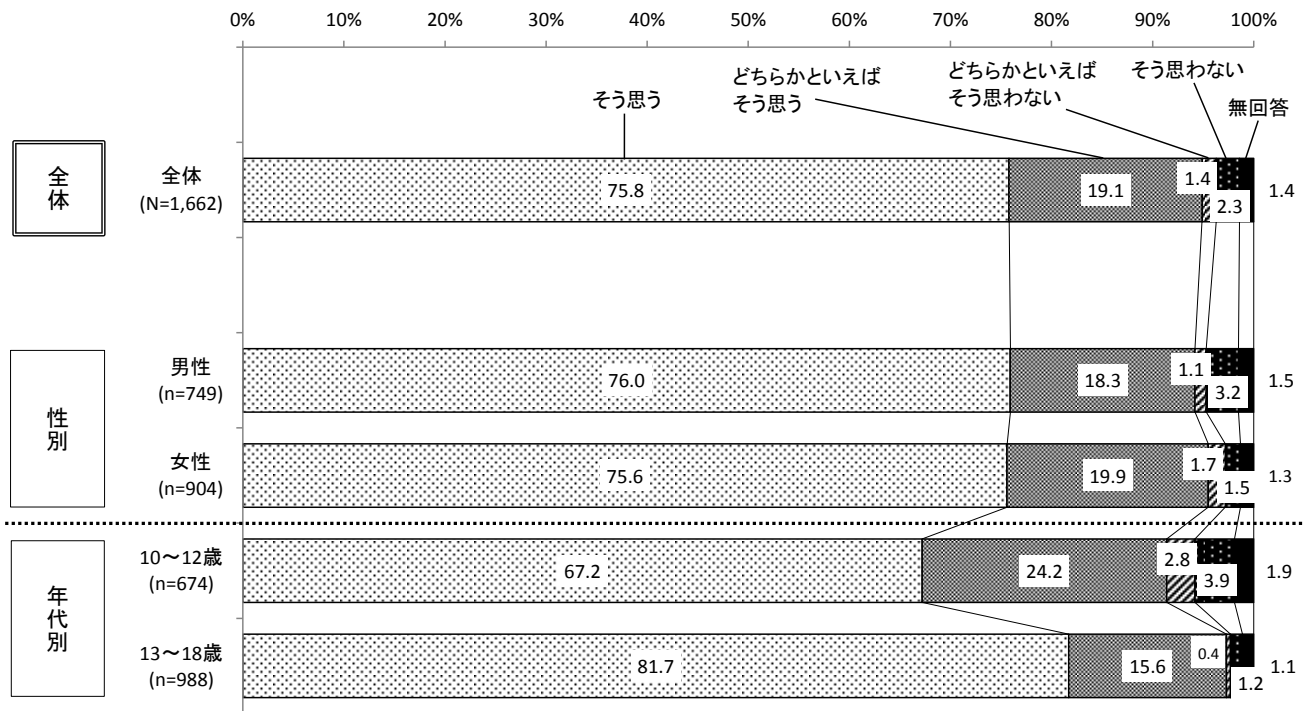
性別で見ると、男性では「動画や音楽の視聴」（71.7%）が最も多く、次いで「親との連絡」（69.7%）、「ゲーム」（66.8%）となっている一方、女性では「親との連絡」（79.3%）が最も多く、次いで「動画や音楽の視聴」（75.7%）、「SNSなど友達とのコミュニケーション」（60.2%）となっている。

年代別で見ると、10~12歳では「親との連絡」（60.2%）が最も多く、次いで「動画や音楽の視聴」（55.3%）、「ゲーム」（50.4%）となっている一方、13~18歳では「動画や音楽の視聴」（86.4%）が最も多く、次いで「親との連絡」（84.7%）、「SNSなど友達とのコミュニケーション」（78.1%）となっている。

<スマートフォン・携帯電話・パソコンの利用について> ①

問19 あなたは、スマートフォンや携帯電話、パソコンについて、どのように思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

①情報収集しやすく、暮らしや趣味、勉強などに役立つ便利なもの

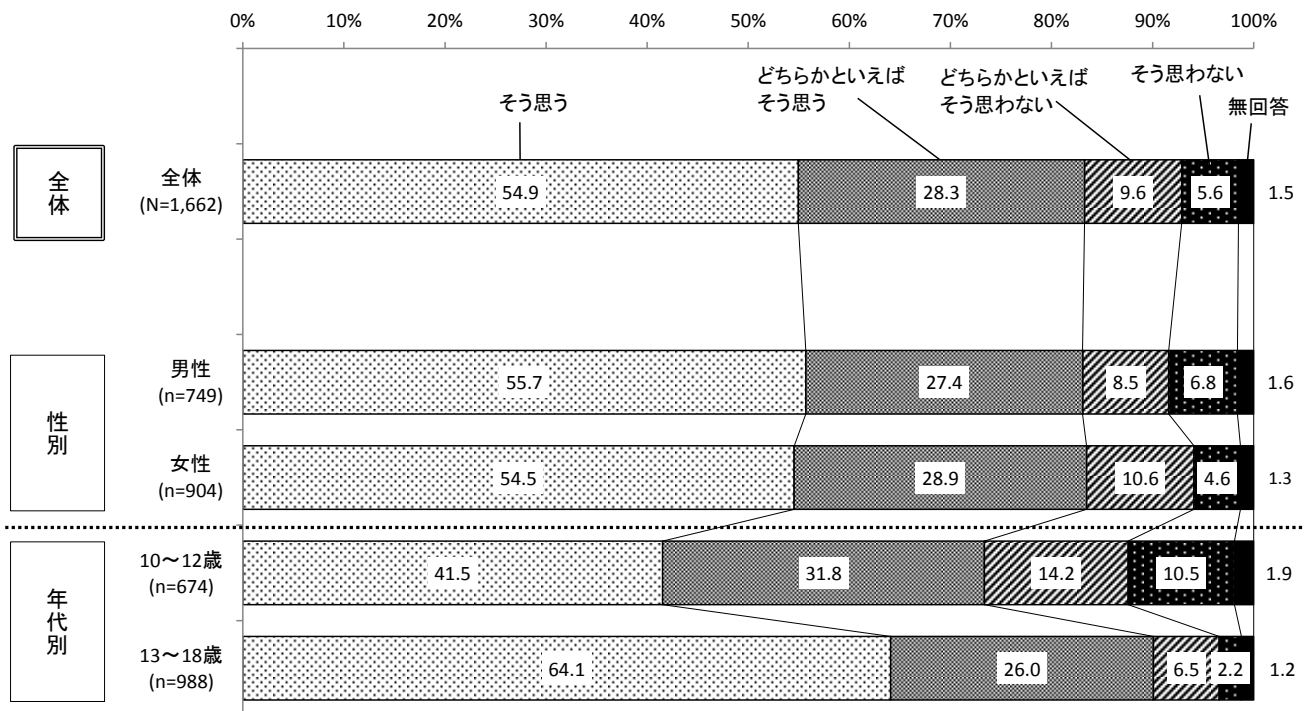


全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が94.9%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が3.7%となっている。

<スマートフォン・携帯電話・パソコンの利用について> ②

問19 あなたは、スマートフォンや携帯電話、パソコンについて、どのように思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

②発信やコミュニケーションをしやすく、友達同士など人と人をつなぐ大事なもの

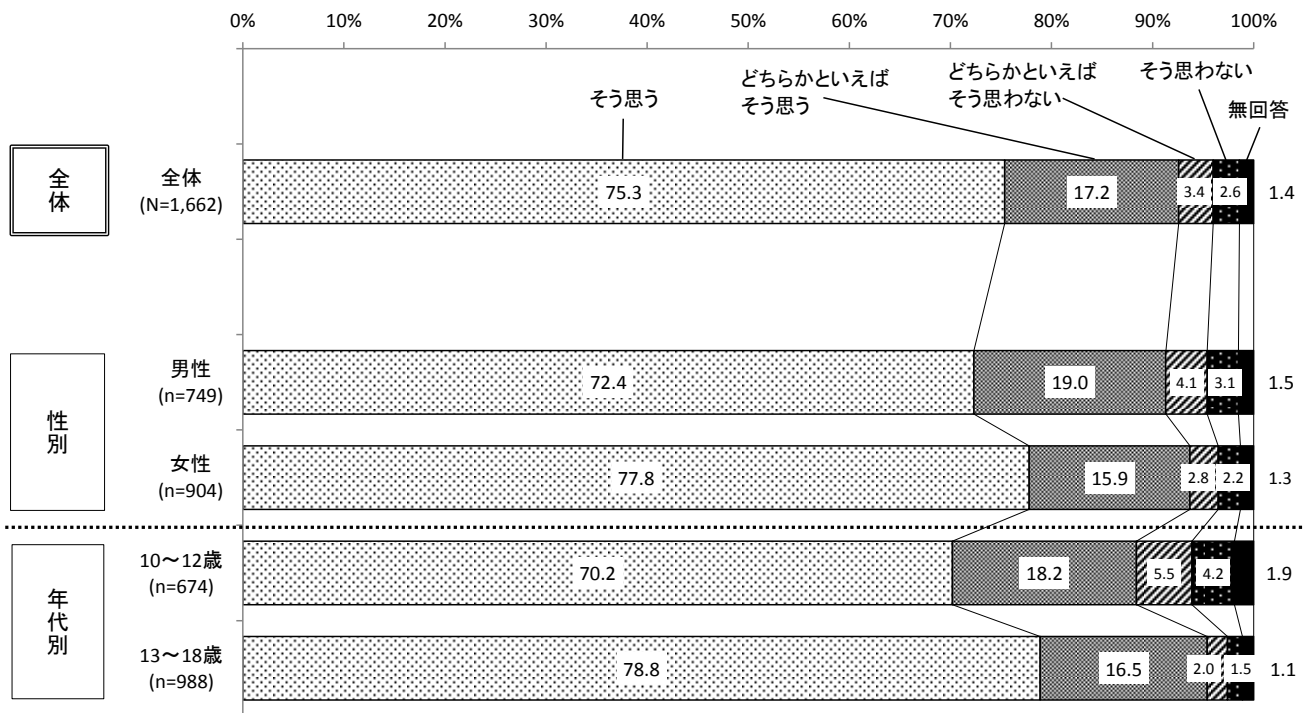


全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が83.2%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が15.2%となっている。

<スマートフォン・携帯電話・パソコンの利用について> ③

問19 あなたは、スマートフォンや携帯電話、パソコンについて、どのように思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

③ネットのしすぎや友達同士のトラブルにならないように使い方を考える必要があるもの

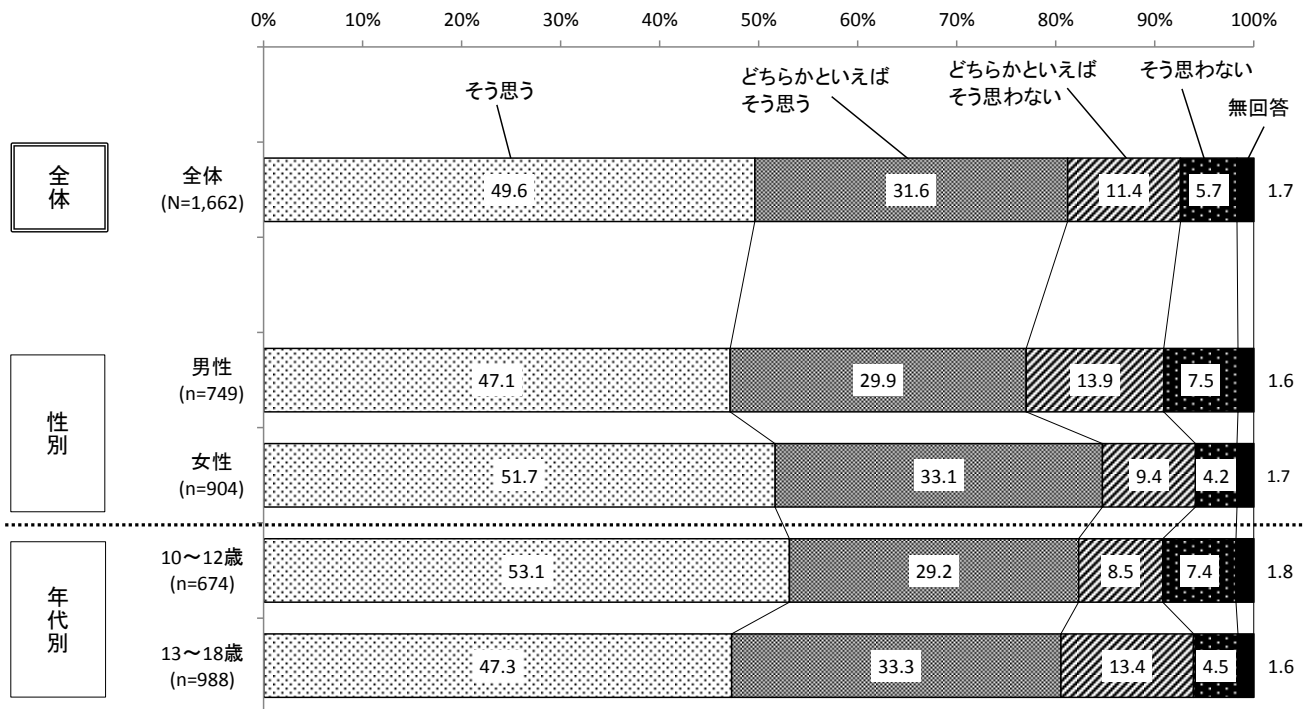


全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が92.5%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が6.0%となっている。

<スマートフォン・携帯電話・パソコンの利用について> ④

問19 あなたは、スマートフォンや携帯電話、パソコンについて、どのように思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

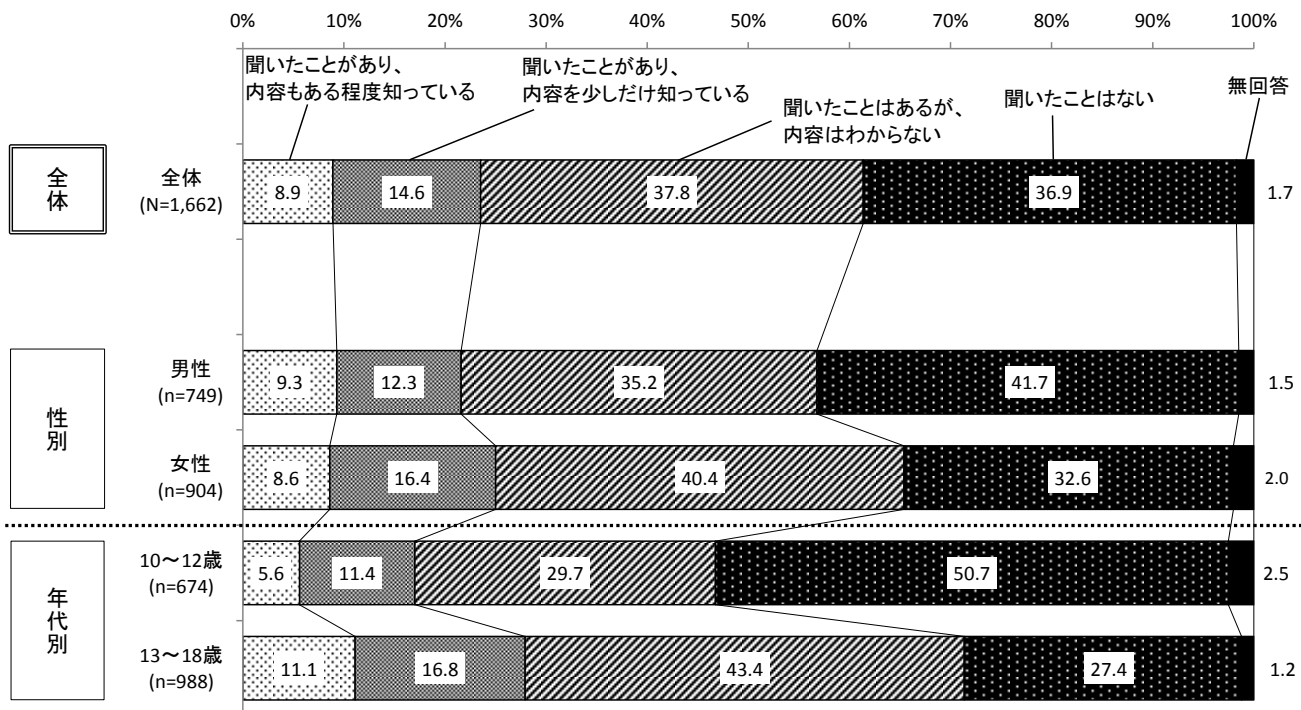
④いじめや有害情報につながる危険なもの



全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が81.3%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が17.0%となっている。

<子どもの権利の認知度>

問20 あなたは「子どもの権利」について聞いたことがありますか。また、内容についてどのくらい知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。（単一回答）



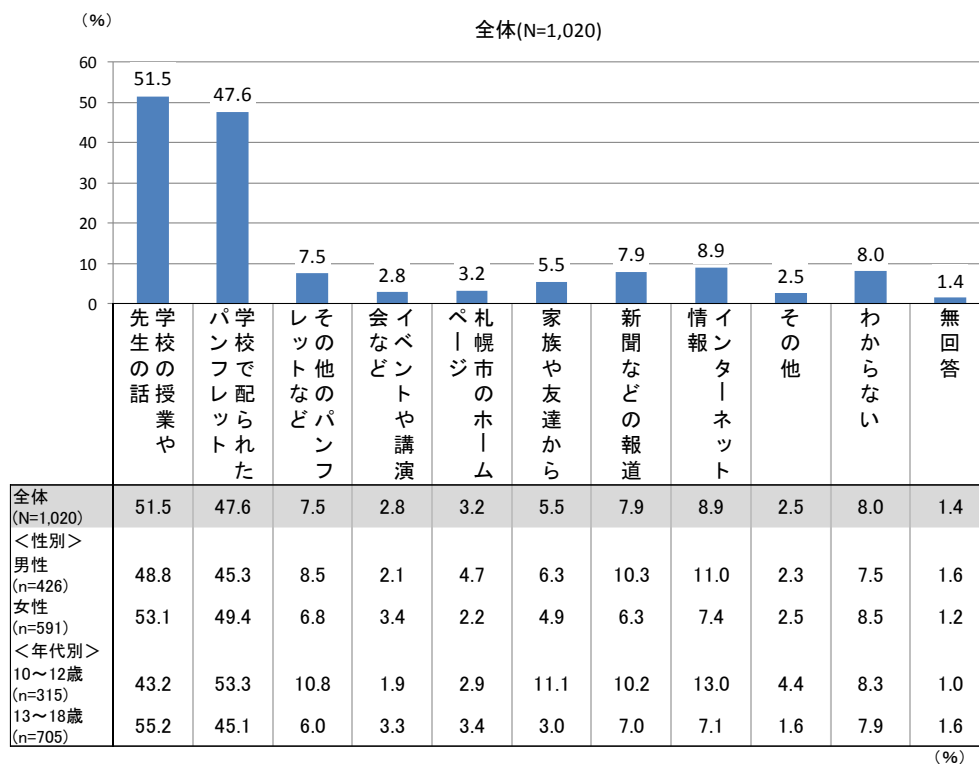
全体では、「聞いたことがあります、内容もある程度知っている」が8.9%、『聞いたことがある』（「聞いたことがあります、内容もある程度知っている」＋「聞いたことがあります、内容を少しだけ知っている」＋「聞いたことはあるが、内容はわからない」）が61.4%となっている。

性別で見ると、『聞いたことがある』の割合は女性（65.4%）が男性（56.8%）より高くなっている。
年代別で見ると、『聞いたことがある』の割合は13～18歳（71.4%）が10～12歳（46.7%）より高くなっている。

<子どもの権利を何で知ったか>

問21 何で知ったり聞いたりしましたか。あてはまるものいくつかでも○をつけてください。

【問20で「聞いたことがあり、内容もある程度知っている」「聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている」「聞いたことはあるが、内容はわからない」に○をつけた方のみ】（複数回答）

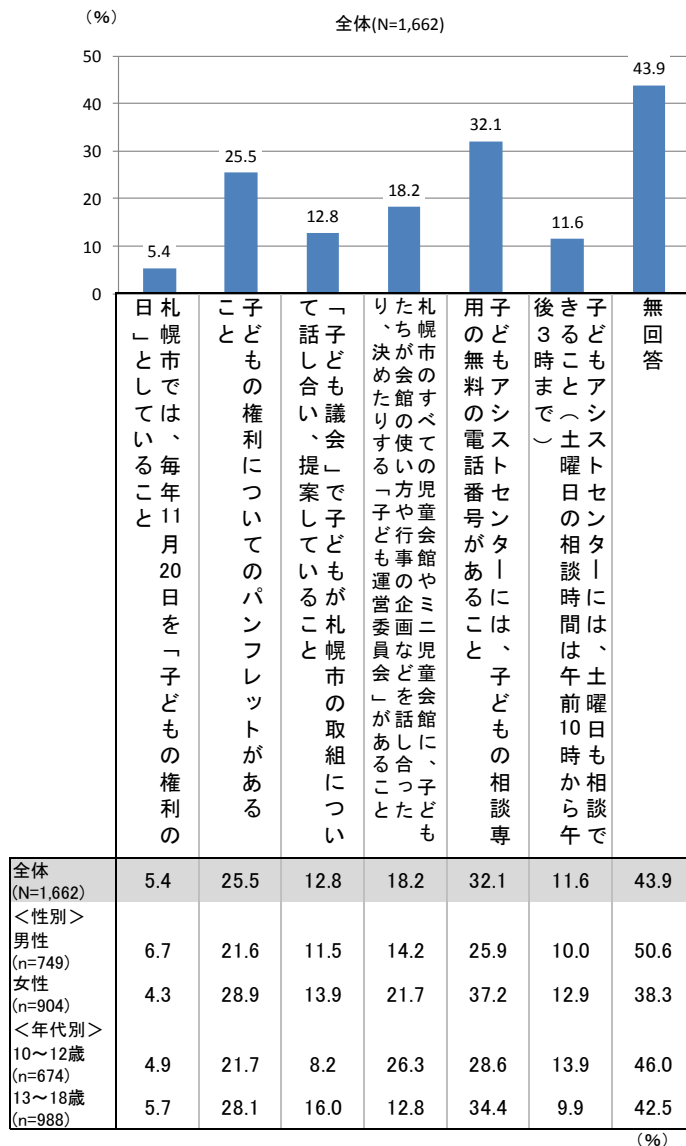


全体では、「学校の授業や先生の話」（51.5%）が最も多く、次いで「学校で配られたパンフレット」（47.6%）となっている。

年代別で見ると、「学校の授業や先生の話」の割合は13～18歳（55.2%）が10～12歳（43.2%）より高くなっている一方、「学校で配られたパンフレット」の割合は10～12歳（53.3%）が13～18歳（45.1%）より高くなっている。

<子どもの権利に関して知っていること>

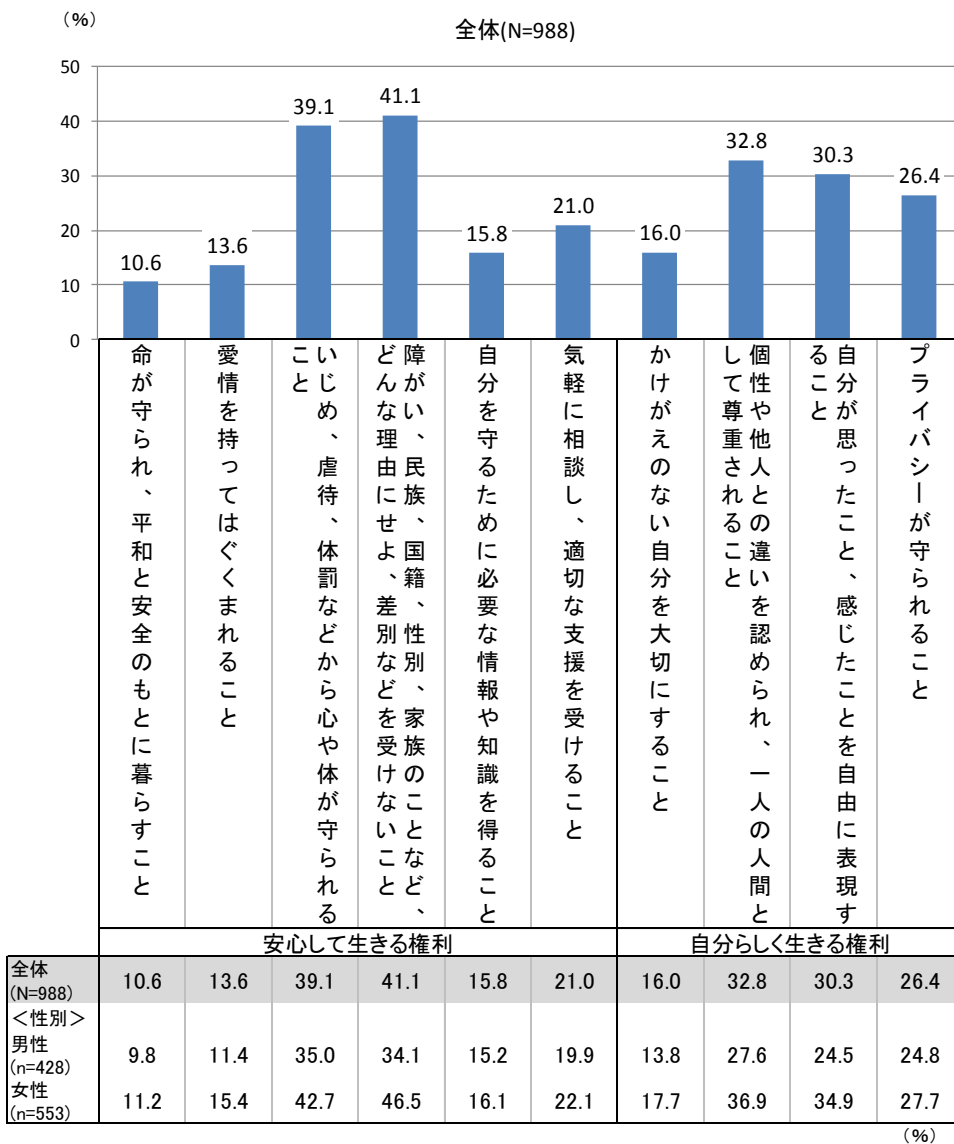
問22 あなたは、次のことを知っていますか。知っているものにいくつでも○をつけてください。
(複数回答)

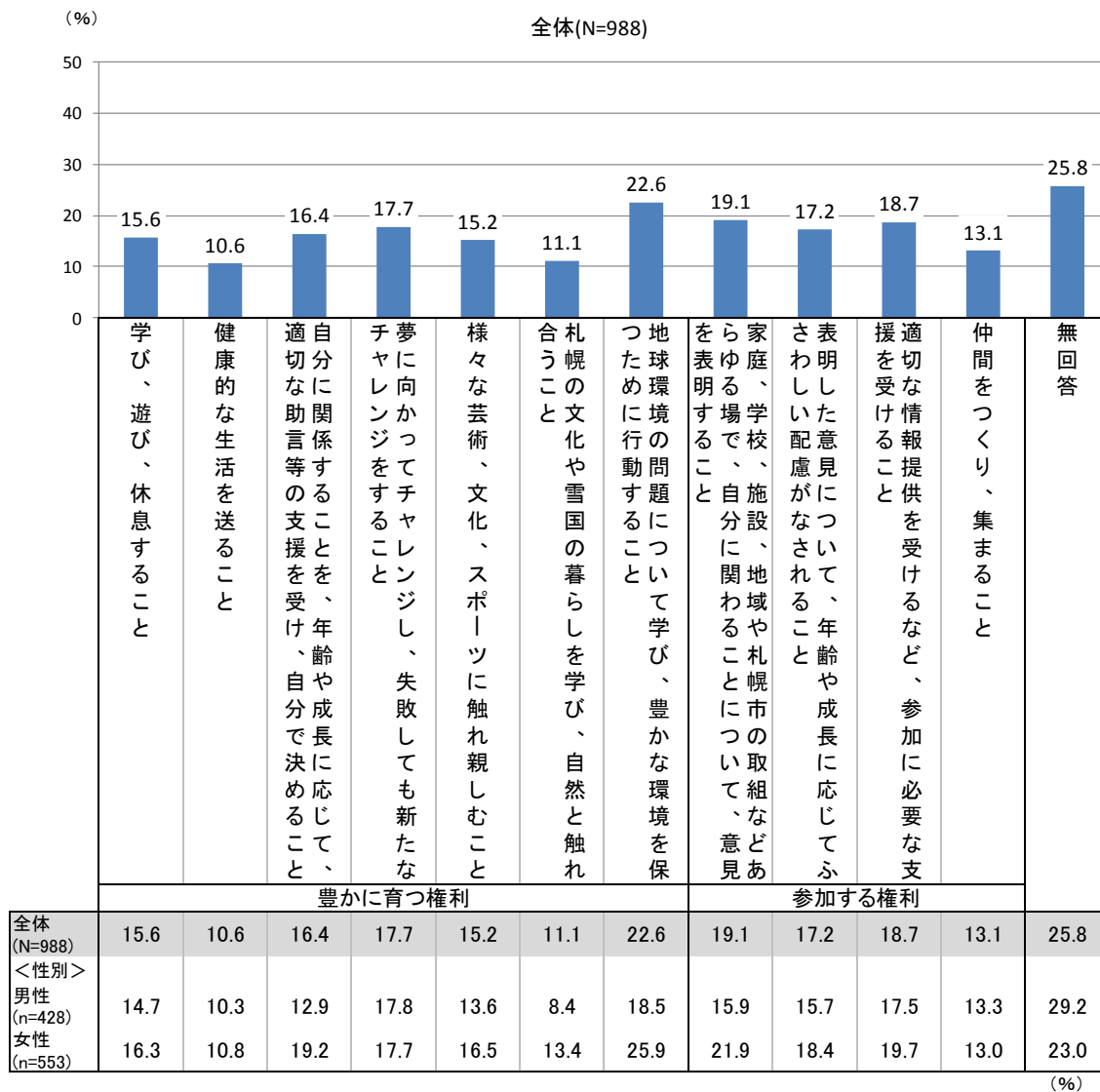


全体では、「子どもアシストセンターには、子どもの相談専用の無料の電話番号があること」(32.1%)が最も多く、次いで「子どもの権利についてのパンフレットがあること」(25.5%)、「札幌市のすべての児童会館やミニ児童会館に、子どもたちが会館の使い方や行事の企画などを話し合ったり、決めたりする「子ども運営委員会」があること」(18.2%)となっている。

<子どもの権利で大切にされていないもの>

問23 子どもの権利条例では、子どもの権利を「安心して生きる権利」「自分らしく生きる権利」「豊かに育つ権利」「参加する権利」に大きく分け、21の権利を挙げています。あなたは、子どもの権利の中で、大切にされていないと思うものはありますか。大切にされていないと思う項目にいくつでも○をつけてください。【13～18歳のみ】（複数回答）

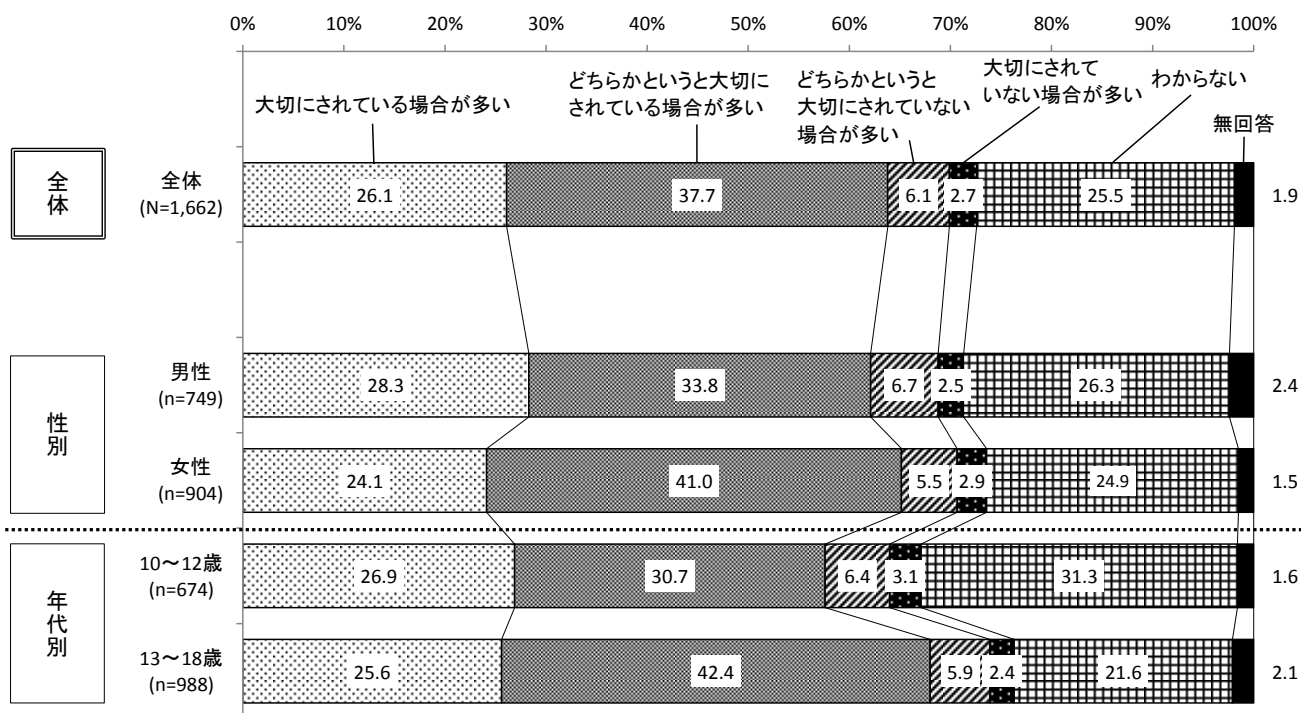




全体では、「障がい、民族、国籍、性別、家族のことなど、どんな理由にせよ、差別などを受けないこと」(41.1%)が最も多く、次いで「いじめ、虐待、体罰などから心や体が守られること」(39.1%)、「個性や他人との違いを認められ、一人の人間として尊重されること」(32.8%)となっている。

<子どもの権利が大切にされているか>

問24 生活全体を考えたとき、札幌市では、子どもの権利が大切にされていると思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。【10～12歳：問23】（単一回答）



全体では、『大切にされている』（「大切にされている場合が多い」＋「どちらかという大切にされている場合が多い」）が63.8%、『大切にされていない』（「どちらかという大切にされていない場合が多い」＋「大切にされていない場合が多い」）が8.8%となっている。

年代別で見ると、『大切にされている』の割合は13～18歳（68.0%）が10～12歳（57.6%）より高くなっている。